整理番号 決算書頁 (会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)03農業振興費(大事業)17担い手確保・経営強化支 297 援事業

		コード	名称		事業期間		会計-	款-項-目-大事業-中事業	
基	施策	321	自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	H16	年度~	R2 年	隻 0	1-06-01-03-17-01	
个情	基本事業	2	担い手農家・集落営農等への支援	担当	部	・課名等	F	評価責任者·連絡先	
報	事務事	<b>坐</b> 夕	名 担い手確保・経営強化支援事業		産業振興部農林振興課		長嗣 課	課長 小林 康志	
	子切子	<b>未</b> 乜					0595-22-9712		

259

作	基本事業 ②	担い手農家・集落営農等への支援		TD 714	部・課名 等	評価責任者·連絡先				
<b>本情報</b>	事務事業名	担い手確保・経営強化支援事業		担当部署	産業振興部農林振興課	課長 小林 康志 0595-22-9712				
	対 象	「人・農地プラン」に位置付けられ、	農地中間管理機構を活	用している	6中心経営体					
	目的	農業者の高齢化、後継者不足、荒原	廃農地の増加等「人と♬	農地の問題	1」の解決を図る					
事務事業の概要	内 容	適切な「人・農地プラン」が作成されており、かつ農地中間管理機構を活用している地区において、国の基準を満たして中心経営体が、売上高の拡大や経営コストの縮減など意欲的に取り組む目標を定め、目標達成の手段として融資を活して農業用機械、施設等を導入する際、融資残について補助金を交付します。令和2年度は1経営体が国の承認を得て、補助金を交付しました。								
要		<u> </u>	金額		摘要					
	事業に要した	負担金、補助及び交付金	7,455,000円 ‡	旦い手確保	<b>₹・</b> 経営強化支援事業費補即	<b>力金</b>				

主な経費 など 計 7,455,000円

			項目		R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	出金	22,861	0	7,455	0	担い手確保・経営強化支援事業補助金
		接	地方債	ŧ	0	0	0 0		7,455,000円
		事	その他	<del>p</del>	0	0	0	0	
全体	事業費	業費	一般財	源	0	0	0	0	
体コ		貝	合計(A	)	22,861	0	7,455	0	
ス			正規職員	業務量	0.05 人	人	0.05 人	人	
7		人	正沉帜只	人件費	390	0	391	0	
Ŧ	賀		再任用職員	業務量	人	人	人	人	
H		件		人件費	0	0	0	0	
)		費	会計年度任	業務量	人	人	人	人	
			用職員	人件費		0	0	0	
			小計(B	)	390	0	391	0	
			合計(A+B)	)	23,251	0	7,846	0	
	市月	民1人	、当たりのコス	ト(円)	254	0	87	0	

	指標名	指標の説明	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指				目標				_
標		_	_	実績	_	_	_	_
	指標化できない成果 実	が補正予算として行う事業であるた 施するのか確実ではない	−め、後年	達成		_	_	_

方 完了 向

地域農業の中心となる農業経営体の育成を目的として国の施策に基づき実施しますが、毎年度要件等が変更されることが予想され、また、ポイント制による採択となることから、審査に通ることも年々難しくなってきています。 課題及び改善

整理番号(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)03農業振興費(大事業)18強い農業・担い手づくり298 -総合支援交付金事業

決算書頁 259

		Ī	() () () () () () () () () () () () () (					-
		コード	名称		事業期間		会計一	款-項-目-大事業-中事業
基	施策	321	自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	H16	年度~	R2 年度	0	1-06-01-03-18-01
个情	基本事業	2	担い手農家・集落営農等への支援	担当	部・課名 等			評価責任者•連絡先
報	事務事業名		強い農業・担い手づくり総合支援交付金事業		産業振興	部農林振	興課	課長 小林 康志
	1 322 7 514 12							0595-22-9712
	対	象	「人・農地プラン」で位置付けられ、農地中間管理機構を活	用している	る中心経営は	<b></b>		

対 象 「人・農地プラン」で位置付けられ、農地中間管理機構を活用している中心経営体
目 的 農業者の高齢化、後継者不足、荒廃農地の増加等「人と農地の問題」の解決を図る
適切な「人・農地プラン」が作成されており、かつ農地中間管理機構を活用している地区において、国の基準を満たしている中心経営体が、売上高の拡大や経営コストの縮減など意欲的に取り組む目標を定め、目標達成の手段として融資を活用して農業用機械、施設等を導入する際、融資残について補助金を交付します。令和2年度は3経営体が国の承認を得て、補助金を交付しました。

事業に要した 主な経費 など 
 経費
 金額
 摘要

 負担金、補助及び交付金
 2,072,000円 強い農業・担い手づくり総合支援交付金事業補助金

 計
 2,072,000円

			項目		R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		古	国県支出	出金	0	0	2,072	U	強い農業・担い手づくり総合支援交付金
		直接事	地方債	ŧ	0	0	0	0	2,072,000円
		事	その化	<u> </u>	0	0	0	0	
全 体		業典	一般財	源	0	0	0	0	
体コ	事業費	費	合計(A	)	0	0	2,072	0	
コス			正規職員	業務量	人	人	0.05 人	人	
7				人件費	0	0	391	0	
<b>+</b>	費	人	再任用職員	業務量	人	人	人	人	
H		件	丹口用嘅貝	人件費	0	0	0	0	
: )		費	会計年度任	業務量	人	人	人	人	
			用職員	人件費		0	0	0	
			小計(B	)	0	0	391	0	
			合計(A+B	)	0	0	2,463	0	
	市民1人当たりのコスト(円)				0	0	28	0	

	指標名	指標の説明	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指				目標			1	1
標		_	_	実績	_		_	_
		イント制による国の採択となるため しく採択の確実性がない	、審査が	達成		_	_	_

<sub>方</sub> 完了 向 課 地域農業の中心となる農業経営体の育成を目的として国の施策に基づき実施していますが、毎年度要件等が変更され 題 ることが予想され、また、ポイント制による採択となることから、審査に通ることも年々難しくなってきています。 及 び

(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)04農業生産対策費(大事業)01集落営農支援事業

決算書頁 259

会計-款-項-目-大事業-中事業 コード 事業期間 名称 施策 321 自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする H16 年度~ R2 年度 01-06-01-04-01-01 本情報 担い手農家・集落営農等への支援 部・課名 等 評価責任者•連絡先

至 十	上		10.46	HI IN H						
事務事業名	集落営農支援事業		担当部署	産業振興部農林振興課	課長 小林 康志 0595-22-9712					
対 象	営農活動のための農業用機械器具または、建物の新設及び改修を必要としている集落営農組織									
目的	集落営農組織を支援し、地域農業の	の安定的発展と集落環境	竟及び機能	能を維持する						
内 容	・集落営農支援事業 集落営農組織を対象に農業用機械 ました。	<b>は器具の購入費の助成</b> ま	きたは、営	農組織等に必要な建物の新	築・改修費の助成を行い					
	経費	金額		摘要						

事業に要した 主な経費 など

負担金、補助及び交付金 11.000.000円 集落営農支援事業補助金 (※機械15件) 計 11,000,000円

			項目		R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	出金	0	0	0	0	
		接	地方值	責	0	0	0	0	
		接事	その他	<u>t</u>	0	0	0	0	
全 体		業費	一般財	源	9,638	11,000	11,000	10,600	
	事業費	貝	合計(A	)	9,638	11,000	11,000	10,600	
コス			正規職員	業務量	0.20 人	0.20 人	0.20 人	0.20 人	
7		人		人件費	1,560	1,563	1,563	1,553	
Ŧ	費		再任用職員	業務量	人	人	人	人	
H		件		人件費	0	0	0	0	
)		費	会計年度任	業務量	人	人	人	人	
			用職員	人件費		0	0	0	
			小計(B	()	1,560	1,563	1,563	1,553	
			合計(A+B)		11,198	12,563	12,563	12,153	
	市民1人当たりのコスト(円)				123	139	139	137	

	指標名	指標の説明	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	対象者適用比率(助成者	補助金の助成件数	件	目標		10	13	10
標	/申請者)	作り並の別及什致	1+	実績	17	10	13	15
	指標化できない成果			達成		100.0%	100.0%	150.0%

方

向

継続

集落営農組織については、組織化・法人化ともに行政の支援が必要であり、関係部局(三重県、JA等)と連携を密にしな ければなりません。 及び改:

高齢化による離農により、集落営農組織に対するニーズは高まっています。組織の作業量も増えていることから省力化技術の導入により作業負担の軽減に取り組む組織を育成していく必要があります。令和4年度以降は、スマート農業機 械の導入をさらに強化していきます。

 整理番号
 決算書頁

 300 (会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)04農業生産対策費(大事業)01集落営農支援事業

		コード	名称		事業期間		会計-	款-項-目-大事業-中事業
基	施策	321	自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	H16	年度~	R2 年度	0	1-06-01-04-01-02
个特	基本事業	1	高付加価値化の促進		評価責任者·連絡先			
報	事務事業名 農林業公社		農林業公社及び生産組合支援事業	担当 部署	産業振興部農林		組建	課長 小林 康志
			る   長州耒公任及ひ生産組合文振事業		<b>性未派共即展外派共</b> 体		0595-22-9712	

情	基本事業 (1)	高付加価値化の促進		TEL 714	部・課名 等	評価責任者·連絡先			
報	事務事業名	農林業公社及び生産組合支援事業	:	担当部署	産業振興部農林振興課	課長 小林 康志 0595-22-9712			
	対 象	(一社)大山田農林業公社及び会員							
	目的	地域の農家の住環境向上や営農継	続を支援し、公社自体	の運営体	制の強化充実を図る				
事務事業の概要	内 容	農用地等の保全事業等を行うとともに農業経営の合理化を図るため、農地保有合理化の促進、生産性の高い近代的農の確立を目的に大山田農林業公社に対し運営助成を実施しました。大山田農林業公社が主体となり遊休農地の解消、い手への農地集積、農作業の受委託斡旋などに取り組みました。							
要		経費	金額		摘要				
	事業に要した 主な経費 など	負担金、補助及び交付金			林業公社負担金 林業公社運営助成金				

			項目		R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	金比	0	0	0	0	
		接	地方侵	Ę	0	0	0	0	
		事	その他		0	0	0	0	
全		業費	一般財源		4,500	4,500	4,500	4,500	
全 体 コ		貝	合計(A	)	4,500	4,500	4,500	4,500	
ス	事業費	入	正規職員	業務量	0.20 人	0.20 人	0.20 人	0.20 人	
7				人件費	1,560	1,563	1,563	1,553	
<u>∓</u>			再任用職員	業務量	人	人	人	人	
千円		件		人件費	0	0	0	0	
)		費	会計年度任	業務量	人	人	人	人	
			用職員	人件費		0	0	0	
			小計(B	)	1,560	1,563	1,563	1,553	
			合計(A+B)	)	6,060	6,063	6,063	6,053	
	市民1人当たりのコスト(円)				67	67	67	68	

4,500,000円

	指標名	指標の説明	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	性亲口贩李宣	大山田農林業公社で販売し	千円	目標		25,000	22,000	17,400
標	特産品販売高	た特産品販売高	TO	実績	22,114	20,161	16,022	16,295
	指標化できない成果	とできない成果		達成		80.6%	72.8%	93.6%

継続向

公社運営の改善については、公社を取り巻く状況と経営状態等の情報収集を早急に行って、関係者間で今後の改善方針を決めた上で改善に向けて指導を行っていきます。

<u>整理番号</u>
(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)05土地改良事業費(大事業)02土地改良事業管理
経費

 決算書頁

 259

		コード	名称		事業期間			会計-款-項-目-大事業-中事業	
基	施策	321	自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	H16	年度~	R2 年度	0	1-06-01-05-02-01	
平信	基本事業	5	農業・農村の多面的機能維持向上への支援	10 V/	部・課名 等			評価責任者·連絡先	
報	事務事	業名	土地改良事業管理経費	担当部署	産業振興部農村整備課			課長 岩野 庄司 0595-22-9718	

45	(A)	及木 及口のノ田で成品をごう	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	TI 717	ני בו אמן יום	计画夹工口 处何20
情報	事務事業名	土地改良事業管理経費		担当部署	産業振興部農村整備課	課長 岩野 庄司 0595-22-9718
	対 象	三重県土地改良事業団体連合会及	ひご土地改良区			
	目 的	対象となる団体の活動が円滑となる	3			
		三重県土地改良事業団体連合会の	対は課金と市内の土地	改良区へか	K路等施設管理業務委託料を	支出しました。
		·水路等施設管理業務委託 N=	2件(伊賀町土地改良	区•阿山町	土地改良区)	
	内 容					
事						
務事						
務事業の概要						
概更			金額			
<u> </u>						
		一般賦課金	110,000円		,	
		  特別賦課金			割:100,000円(7,350ha) 地改良団体連合会賦課金	
	事業に要した主な経費	1373776014 212	· ·		度農道台帳特別賦課金	
	など	    水路等施設管理業務委託料	980 000円	伊賀町十十	地改良区·阿山町土地改良	3.区
			555,5501 ]	/ Je-1 11		`-

			項目		R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	出金	0	0	0	0	
		接	地方債	Ę	0	0	0	0	
		接事業費	その他		0	0	0	0	
全体			一般財源		2,172	2,225	1,831	2,505	
			合計(A	)	2,172	2,225	1,831	2,505	
コス	事業費		正規職員	業務量	0.15 人	0.15 人	0.15 人	0.15 人	
7		人	正沉帜只	人件費	1,170	1,172	1,172	1,165	
Ŷ Ŧ	賀		再任用職員	業務量	人	人	人	人	
H		件		人件費	0	0	0	0	
)		費	会計年度任	業務量	人	人	人	人	
			用職員	人件費		0	0	0	
			小計(B	)	1,170	1,172	1,172	1,165	
			合計(A+B)	)	3,342	3,397	3,003	3,670	
	市国	民1人	、当たりのコス	ト(円)	37	38	34	42	

1,831,000円

	指標名	指標の説明	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	施設・用水の維持管理・	事業計画に対する達成団体	団体	目標		2	2	2
標	実績	数	四本	実績	2	2	2	2
	指標化できない成果			達成		100.0%	100.0%	100.0%

方 継続 向 課題及び改善

引き続き土地改良区へ施設維持管理を目的とした業務委託が必要である。

<u>整理番号</u> (会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)05土地改良事業費(大事業)02土地改良事業管理 経費

**決算書頁** 259

		1270						
		<u>ئے</u> ا	名称		事業期間		会計一	款-項-目-大事業-中事業
基	施策 321		自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする		年度~	R2 年度	0	1-06-01-05-02-02
个情	基本事業 ⑤		農業・農村の多面的機能維持向上への支援	+0.1/	部・課名 等			評価責任者·連絡先
報	事務事	業名	土地改良施設維持管理適正化事業	担当 部署	産業振興部農村整備課			課長 岩野 庄司
								0595-22-9718
	対	象	過去に造成された土地改良施設の施設及び受益者					

	<b>√</b> .1	<b>外</b>	公に追及された工地以及他設及が交通日									
	目	的	土地改良施設の老朽化部分を更新	fして施設機能の回復	を図る							
事務事業の概要	内	容	費30%を5年間均等に県土地連合 【補助率】国:30%、県:30%、市:2 ・高樋水利深井戸ポンプが故障し りました。	会に拠出し工事を実施 0%、地元:20% 、農地耕作に支障を	備補修を行う事業で、施設管理者が補修を要 施する事業です。 きたす状況であったため、井戸ポンプの更新を により、張りブロックの崩壊及び斜樋ゲートのき	行い機能回復を図						
斑			<b>経費</b>	金額	摘要							
女			工事請負費		高樋揚水機場改修工事 樋之谷池護岸改修工事	3,014,000円						
	業に 主な約 なる		負担金、補助及び交付金	7,930,000円	土地改良施設維持管理適正化事業特別賦課金							

			項目		R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	性記事項記 3 棚/建筑甘林 性中間流の女狂ない			
					R兀平及沃昇	R2年度ヨ彻卫昇	RZ年及沃昇					
		直	国県支出	出金	0	0	0	0	土地改良施設維持管理適正化事業交付金 農業関係土木事業分担金			
		接	地方債	ŧ	0	0	0	0	辰未闵馀工个争未万担立   			
全体コス		接事	その他	<u> </u>	18,753	22,595	22,047	64,527				
		業費	一般財	源	5,307	5,675	5,047	9,967				
	事業費		合計(A	)	24,060	28,270	27,094	74,494				
		人	正規職員	業務量	0.45 人	0.45 人	0.45 人	0.45 人				
۲			止况嘅貝	人件費	3,509	3,515	3,515	3,494				
(F	費		再任用職員	業務量	人	人	人	人				
一円		件		人件費	0	0	0	0				
· ·		費	会計年度任	業務量	人	人	人	人				
			用職員	人件費		0	0	0				
			小計(B	)	3,509	3,515	3,515	3,494				
			合計(A+B	)	27,569	31,785	30,609	77,988				
	市	<b>民</b> 1人	、当たりのコス	ト(円)	301	351	338	874				

27,093,100円

計

	指標名	指標の説明	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	更新工事の実施地区数	当該年度に実施する地区数	地区	目標		2	2	2
標	更新工事の美胞地区数	ヨ談牛及に美施する地區数	7662	実績	3	2	2	2
	指標化できない成果			達成		100.0%	100.0%	100.0%

方 継続 向 課題及び改善

農業用施設の補修等の要望は多く、本事業での対応箇所が増加しており計画的整備が必要である。(事業費の財政負担:国30%県30%地元40%で事業採択後5年間で事業費を分割負担)

整理番号 決算書頁 303 259 (会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)05土地改良事業費(大事業)03市単土地改良事業

		コード	名称		事業期間		会計一	款-項-目-大事業-中事業
基	施策	321	自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	H16	年度~	R2 年度	0	1-06-01-05-03-01
个情	基本事業	<b>⑤</b>	農業・農村の多面的機能維持向上への支援	1m vi	部・	・課名 等		評価責任者·連絡先
報	事務事	<b>坐</b> 夕	市畄土地改自主業	担当 部署	<b>安業拒</b> 翻:	如典址敕	(帯理)	課長 岩野 庄司
	争伤争	未有	市単土地改良事業 		産業振興部農村整備課			0595-22-9718

本情	基本事業 ⑤	農業・農村の多面的機能維持向上	への支援	+0.1/	部・課名 等	評価責任者·連絡先				
報	事務事業名	市単土地改良事業		担当部署	産業振興部農村整備課	課長 岩野 庄司 0595-22-9718				
	対 象	国・県等の補助対象とならない、受	益者2戸以上の小規模	莫な土地改良事業を行おうとする受益者						
	目 的	農業用施設のきめ細やかな整備を	行い農業生産性の向	上と施設維	上と施設維持管理費の軽減を図る					
事務事業の概要	内 容	現在実施中の広域農道整備事業が 以降の事業計画策定を行いました。 ・広域農道整備(保全対策型)事業 小規模土地改良事業等補助金に ・工事費補助:22件 ・材料費補助:9件	1業務		であるため、令和4年度					
要		経費	金額		摘要					
		委託料	7,062,000円	広域農道整備	情(保全対策型)事業計画策定業務	委託				
		使用料及び賃借料	218,470円	システム等	ンステム等使用料					
	事業に要した 主な経費 など	負担金、補助及び交付金	7,670,999円	小規模土地改良事業等補助金 工事費22件、材料費9件						

			項目		R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	出金	0	0	0	0	農道長寿命化計画策定業務負担金
		接	地方值	ŧ	0	0	0	0	
		事業費	その化	<u>t</u>	0	2,767	1,653	13,180	
全体			一般財	源	6,763	13,696	13,299	5,361	
体コ		負	合計(A)		6,763	16,463	14,952	18,541	
コス	事		正規職員	業務量	0.40 人	0.40 人	0.40 人	0.40 人	
7	事業費		止况嘅貝	人件費	3,119	3,125	3,125	3,106	
<b>+</b>	費	人	再任用職員	業務量	人	人	人	人	
H		件	丹江川嶼貝	人件費	0	0	0	0	
: )		費	会計年度任	業務量	人	人	人	人	
			用職員	人件費		0	0	0	
			小計(B	)	3,119	3,125	3,125	3,106	
			合計(A+B)		9,882	19,588	18,077	21,647	
	市民1人当たりのコスト(円)			ト 田	108	217	200	243	

14,951,469円

計

	指標名	指標の説明	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	最終予算の執行率	<b>左</b> 目似又答点共仁如人		目標		100	100	100
標	取於了昇の執行卒	最終予算の執行割合	%	実績	100	98.8	100	100
	指標化できない成果			達成		98.8%	100.0%	100.0%

方 継続 課題及び改

大規模土地改良事業は国・県等の補助対象となるが、小規模土地改良事業については他に支援施策がないため、優良 な農地の維持を行ううえでは必要不可欠である。

整理番号 304 - (会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)05土地改良事業費(大事業)06多面的機能支払交付金事業

**決算書頁** 261

		コード	名称		事業期間会			款-項-目-大事業-中事業
基	施策	321	自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	H26	年度~	R2 年度	0	1-06-01-05-06-01
平信	基本事業 ⑤		農業・農村の多面的機能維持向上への支援	担当	部	・課名 等		評価責任者·連絡先
報	報 事務事業名		業名 多面的機能支払交付金事業		産業振興	部農村整	備課	課長 岩野 庄司
	. 155 1	-1.			121(11)(1)(	HF/JC 1711	I IVII HAIN	0595-22-9718

拟	事務事業名	多面的機能支払交付金事業		部署	産業振興部農村整備課	0595-22-9718
	対 象	多面的機能支払交付金を活用する	活動組織			
	目的	農地及び農村資源(農道・水路等)	保全のための共同活動	かを支援する	る。	
		多面的機能支払交付金の交付を受り、農村地域が有する多面的機能を 多面的機能支払取組地区 10		取組を行い	いました。	全と農村資源の保全を図
	内 容		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	,,,,,,		
事務事業の概要						
概要		経費	金額		摘要	
	事業に要した 主な経費 など	職員手当等 需用費 役務費 使用料及び賃借料 備品購入費 負担金、補助及び交付金	104,126円: 897,600円 297,000円	消耗品費 通信運機借 電算機借 ドローン 多面的機 資源向上 農地維持	·印刷製本費 費 上料	B区) 11,253,402円 113,981,200円 70,759,822円

			項目		R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	金比	152,989	160,907	152,296	158,162	多面的機能支払推進交付金
		接	地方值	Ę	0	0	0	0	※会計年度任用職員人件費(01-06-01-05-
		事	その他		0	0	0		13-01)を含む事業費 201,325千円
全 体		業費	一般財	源	50,112	53,041	46,134	52,300	
体コ		貝	合計(A	)	203,101	213,948	198,430	210,462	
ス	事業費		正規職員	業務量	1.20 人	1.20 人	1.20 人	1.20 人	
7				人件費	9,356	9,374	9,374	9,317	
Ŷ Ŧ	賀	人	再任用職員 再任用職員	業務量	人	人	人	人	
H		件	竹口川柳貝	人件費	0	0	0	0	
)		費	会計年度任	業務量	人	人	1.50 人	人	
			用職員	人件費		0	2,861	0	
			小計(B	)	9,356	9,374	12,235	9,317	
			合計(A+B	)	212,457	223,322	210,665	219,779	
	市民1人当たりのコスト(円)				2,318	2,466	2,326	2,463	

198,429,202円

	指標名	指標の説明	単位	/	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	最終予算の執行率	最終予算の執行割合	%	目標		100	100	100
標	取称ア昇の執行卒	取称『昇の採川司口	70	実績	100	100	100	100
	指標化できない成果			達成		100.0%	100.0%	100.0%

方 継続 向 課 平成27年度から法律に基づき実施されることとなり、安定的に取組めることとなった。一方で近年では高齢化や人口減 題 少に伴い地域での共同活動がこれまでと同じ規模での実施が難しくなってきている。又、本事業での活動組織での事務 及 作業が多い為、事業の継続を心配している組織も多い。この課題を軽減すべく令和元年よりシステムを導入し活動組織 び 及び市の事務の効率化を図っている。 改 

 整理番号
 決算書頁

 305 (会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)05土地改良事業費(大事業)07県営土地改良事業

		100			, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	, ,,,,	· /			
		<u>ا</u> ا	名称		事業期間		会	計−款−項⋅	-目-大事業-中事	業
基	施策	321	自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	H16	年度~	R2 <sup>4</sup>	F度	01-06-	-01-05-07-01	
个信	基本事業	5	農業・農村の多面的機能維持向上への支援	担当	部・課名 等			評	価責任者·連絡先	ŧ
報	事務事業名		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		产業 振 嗣	敕借	理	果長 岩野 庄司		
	子切子	未扣	宗呂争未貝担並 		産業振興部農村整備			(	0595-22-9718	

						0090-22-9/16
	対	象	県営土地改良事業を行う受益範囲	の受益者		
	目	的	国・県の補助を受けて行う大規模な	は土地改良事業の受益	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
事務事業の概						
要			<b>経費</b>	金額	摘要	
			負担金、補助及び交付金	105,626,550円	基幹農道整備保全対策事業負担金 伊賀地区:舗装、法面整備(石川·柘植)	12,901,800円
					県営農村振興総合整備事業負担金 伊賀2期地区:水路、取水施設整備等	41,202,000円
	主な	要した経費			農業競争力強化基盤整備事業負担金 青蓮寺用水第2期地区·3期地区	4,522,750円
	な	ع			農業水利施設保全合理化事業負担金	25,200,000円
					<ul><li>滝谷用水地区:測量業務(槙山~東湯舟)ほか2件</li><li>農村地域防災減災事業負担金</li><li>高倉大橋地区・猿野大池地区</li></ul>	21,800,000円
			計	105,626,550円		

			項目		R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	金比	0	0	0	0	県営土地改良事業分担金
		接	地方債	Ē	32,500	43,700	71,300	60,800	
		事	その他	p	17,114	14,558	16,327	20,612	
全		業費	一般財	源	29,246	20,503	18,000	4,782	
全体コ		貝	合計(A)		78,860	78,761	105,627	86,194	
コス	事業費	人	正規職員	業務量	0.35 人	0.35 人	0.35 人	0.35 人	
۲			止炕帜只	人件費	2,729	2,734	2,734	2,718	
<u></u>	費		再任用職員	業務量	人	人	人	人	
千円		件	丹山川城县	人件費	0	0	0	0	
		費	会計年度任	業務量	人	人	人	人	
			用職員	人件費		0	0	0	
			小計(B	)	2,729	2,734	2,734	2,718	
			合計(A+B)	)	81,589	81,495	108,361	88,912	
	市民1人当たりのコスト(円)				890	900	1,197	997	

	指標名	指標の説明	単位	/	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	最終予算の執行率	最終予算の執行割合	%	目標		100	100	100
標	取於『昇の執门卒	取称 『昇の秋1] 剖口	70	実績	100	79.4	74.2	100
	指標化できない成果			達成		79.4%	74.3%	100.0%

方 継続 向 課題及び改善

農業基盤整備の進捗を図るため継続実施する。

計

決算書頁

261

(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)05土地改良事業費(大事業)09農道台帳整備事業 会計-款-項-目-大事業-中事業 コード 事業期間 名称 施策 年度~ R2 年度 321 自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする H16 01-06-01-05-09-01 基本事業 **(5)** 農業・農村の多面的機能維持向上への支援 部・課名 等 評価責任者·連絡先 担当 課長 岩野 庄司

報	事務事業名	農	<u>递</u> 道台帳整備事業		部署	産業振興部農村整備課	課長 岩野 庄司 0595-22-9718
	対 象	戊	は農道、農免道路等の幹線農道	の利用者			
	目的	幹	線農道の効率的な整備と、円滑な	な管理のため			
事務事業の概要	内 容	位た	5域農道槙山工区(延長1,107m)に -。	こついて、現地測量のう	え、農道台	☆帳データを作成し、農道台帳	システムに搭載しまし
要			経費	金額		摘要	
			農道台帳システム構築業務委託料	1,155,000円 /	農道台帳修	正業務委託(広域農道槙山工	区)
	事業に要した	5	システム等使用料	105,600円)	農道台帳	システム クラウド使用料	
	主な経費 など		事務機器保守点検委託料	792円 :	指ハイブリ	リッド認証クライアント保守契	2約

			項目		R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	出金	0	0	0	0	
		接	地方債	į	0	0	0	0	
		接事	その化	<u> </u>	0	0	0	0	
全 体		業費	一般財	源	408	1,263	1,262	1,349	
体コ	事業費	貝	合計(A	)	408	1,263	1,262	1,349	
コス			正規職員	業務量	0.05 人	0.05 人	0.05 人	0.05 人	
7			止戍嶼貝	人件費	390	391	391	389	
<b>+</b>	費	人	再任用職員	業務量	人	人	人	人	
H		件	丹山川嶼貝	人件費	0	0	0	0	
. )		費	会計年度任	業務量	人	人	人	人	
			用職員	人件費		0	0	0	
			小計(B	)	390	391	391	389	
			合計(A+B	)	798	1,654	1,653	1,738	
	市	民1人	、当たりのコス	ト(円)	9	19	19	20	

1,261,392円

	指標名	指標の説明	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	台帳整備農道延長	台帳整備(更新)計画に対す る実際に台帳を整備(更新)し	km	目標		6.53	0.40	1.10
標	口恢罡佣辰坦延衣	た農道の延長	km	実績	_	6.53	0.40	1.10
	指標化できない成果			達成		100.0%	100.0%	100.0%

方 継続 向

農道の維持管理経費を交付税措置するためには、農道台帳を作成していることが要件となる。

広域農道、農免道路等の幹線農道において、改良工事や一部区間の市道認定などで、農道の実延長が変更となった農 及び改 道台帳の更新を行っている。

また、幹線農道以外についても、費用対効果を見極めて、農道台帳を新規で作成していく必要がある。

<u>整理番号</u>
(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)05土地改良事業費(大事業)10農業水路等長寿命化・防災減災事業

計

決算書頁 261

28,536,700円

		1- 177	3 C 1 / 3 / C						
		コード	名称		事業期間		会計一	款-項-目-大事業-中事業	
基	施策	321	自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	H16	年度~	R2 年度	0	1-06-01-05-10-01	
个情	基本事業	<b>⑤</b>	農業・農村の多面的機能維持向上への支援	1m vi	部	・課名 等		評価責任者·連絡先	
報	事務事	車業夕 典業 小吸竿 巨 丰 会 ル・		担当 部署	产業 振 翩	立 典 壮 敕	(供理)	課長 岩野 庄司	
	事物事	未口	農業水路等長寿命化・防災減災事業		産業振興部農村整備課		0595-22-9718		

ŦX	事務事業名	農業水路等長寿命化•防災減災事	業 		産業振興部農村整備課	0595-22-9718
	対 象	農地及び農業用施設の受益者				
	目的	農地及び農業用施設のきめ細やか	な整備を行う			
事務事業の概要	内 容	農業水路等長寿命化・防災減災事 南沢池廃池工事 ・南沢池(瀧地内)はかつては地域 いる。このことから廃池を要望してが 池田井堰改修工事、新堂用水路改 ・東高倉、新堂、佐那具、千歳の農 ら、各施設の改修工事を実施しまし 丸山池他5池廃止設計業務委託 ・ため池廃止要望のあった、防災重	農業を支える重要な水 おり今年度はため池の 修工事、佐那具地区力 業用施設(水路・井堰・ た。	廃池工事を K利施設改 取水ゲート	至実施しました。 修工事、千歳地区農業用水設 〜)の老朽化に伴い、本来の樹	路改修工事
要		経費	金額		摘要	
		需用費			<b>紫料費・修繕料</b>	
		<b>设務費</b>	I		費•手数料	
		委託料	, , , , , ,		整備事業測量設計業務委訂	モ料
	事業に要した 主な経費 など	工事請負費		ため池等 南沢池原	5池廃止設計業務委託 整備事業工事費 廃池工事 R池廃池工事	17,265,600円 8,684,600円 8,581,000円

			<del>-</del> =-		5-5-6	50 F F V 17 F F	50左方法/左	50 C C V 12 Z C	₩ == + = T == 1 188 / 1+ / M + T + W + + D   MT = 0 17 M \
			項目		R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	出金	7,989	15,000	39,052	92,078	農業水路等長寿命化·防災減災事業農業補助金 農業関係土木事業費分担金
		接	地方債	ŧ	2,200	6,800	5,300	8,500	金 農業関係土木事業費分担金
		事	その化	<u> </u>	2,532	7,600	4,567	9,252	
全 体		業費	一般財源		873	1,450	902	8,011	
体コ		貝	合計(A	)	13,594	30,850	49,821	117,841	
コス	事		正規職員	業務量	0.55 人	0.55 人	人	人	
7	· 業 費		正况啾貝	人件費	4,288	4,297	0	0	
<b>+</b>	費	人	· ■ 再任用職員	業務量	人	人	人	人	
H		件	中江川嶼貝	人件費	0	0	0	0	
: )		費	会計年度任	業務量	人	人	人	人	
			用職員	人件費		0	0	0	
			小計(B	)	4,288	4,297	0	0	
			合計(A+B	)	17,882	35,147	49,821	117,841	
市民1人当たりのコスト(円)					196	389	551	1,321	

49,820,251円

農業水路等長寿命化,防災減災事業工事費

池田井堰改修工事 ほか3件

	指標名	指標の説明	単位	/	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	整備工事の実施地区数	事業により恩恵を受ける地域	地区	目標		3	4	5
標	空哺工事の 天 旭 地	数	십	実績	3	3	3	5
	指標化できない成果			達成		100.0%	75.0%	100.0%

方 継続 向 課 伊賀市では約1,400箇所のため池を保有しており、三重県内のため池のおよそ半数が伊賀市内に存在する。この内、既 に利用がないため池も多く、それらの多くは維持管理がなされていない。これら維持管理不足から老朽化が著しい池は 及 危険施設になり得る。したがって、この中から廃止すべきため池を抽出し、所有者の特定地域の合意形成等が図られ、 び 実施条件が整ったため池から順次工事を実施し、市民の安全安心の生活を確保する。 ひ

<u>整理番号</u> 308 - (会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)05土地改良事業費(大事業)12団体営ため池等整備事業

<u>決算書頁</u> 261

		コード	名称		事業期間		会計-	款-項-目-大事業-中事業
基	施策	321	自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	H16 年度~ R2 年度			0	1-06-01-05-12-01
一件	基本事業	5	農業・農村の多面的機能維持向上への支援	TD 71	部	・課名 等		評価責任者·連絡先
報	事務事	業名	団体営ため池等整備事業	担当 部署	産業振興部農村整		備課	課長 岩野 庄司 0595-22-9718
	対:	象	団体営ため池等整備事業を行う受益者					

	対	象	団体営ため池等整備事業を行う受	益者		
	目	的	農業用ため池のきめ細やかな整備			
事務事業の概要	内:		・ため池調査業務により、廃止ため	池調査業務委託(長導	事業計画策定業務に伴う測量業務(L=153m 製山池他39池)の調査を行いました。 浸水想定区域図作成(276池)及びため池ハザ	
概要			経費	金額	摘要	
^			委託料	1,423,400円	ため池等整備事業測量設計業務委託料	
					千歳大池地区事業計画策定業務に伴う測量業務委託	
	事業に発	圣費		1,188,000円	ため池調査業務委託料 廃止ため池調査業務委託(長楽山池他)ほか3件	
	なと			79,501,400円	【繰】ため池氾濫解析・ハザードマップ作成業務委託料 浸水想定区域図作成業務委託 ため池ハザードマップ作成業務委託	79,501,400円 44,315,700円 35,185,700円
			計	82,112,800円		

			項目		R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			国県支出	H.金		88.530	80,820		震災対策農業水利施設整備事業補助金
		直	地方債			00,000	00,020	· · ·	団体営ため池等整備事業補助金
		接事	その他			0 0		0	
		サ				U	U	U	
全 体		業費	一般財	源		100	1,293	1,362	
		貝	合計(A	)	0	88,630	82,113	558,646	
コス	事		正規職員	業務量	人	人	0.55 人	0.55 人	
۲	事業費		止况嘅貝	人件費	0	0	4,297	4,271	
<b>1</b>	費	人	再任用職員	業務量	人	人	人	人	
一円		件	中江川嶼貝	人件費	0	0	0	0	
)		費	会計年度任	業務量	人	人	人	人	
			用職員	人件費		0	0	0	
			小計(B	()	0	0	4,297	4,271	
			合計(A+B	)	0	88,630	86,410	562,917	
	市	民1人	、当たりのコス	ト(円)	0	979	955	6,307	

	指標名	指標の説明	単位	/	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	最終予算の執行率	最終予算の執行割合		目標				100
標	取於了昇の執行卒	取於了昇の執行司司		実績				100
	指標化できない成果			達成				100.0%

方 継続 向

整理番号 309 - (会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)05土地改良事業費(大事業)15農地中間管理機構 関連農地整備事業

決算書頁 263

		コード	名称		事業期間		会計一	款-項-目-大事業-中事業
基	施策	321	自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	H16 年度~		R2 年度	0	1-06-01-05-15-01
平信	基本事業	5	農業・農村の多面的機能維持向上への支援	TD 717	部・課名 等			評価責任者·連絡先
報	事務事	業名	農地中間管理機構関連農地整備事業	担当部署	産業振興	部農村整	備課	課長 岩野 庄司 0595-22-9718

牧	事務事業名	農地中間管理機構関連農地整備事	<b>≨業</b> ————————————————————————————————————	部署	産業振興部農村整備課	0595-22-9718
	対 象	諏訪地内ほ場整備対象の受益者				
	目的	ほ場整備計画の策定				
事務事業の概	内 容	ことから農業者の離農と農地 ル』が作成された。 担い手を確保するため農地の ました。				
要		<b>経費</b>	金額		摘要	
		委託料	23,130,800円 征	<b>芷前地測</b> 量	量業務委託料	7,002,600円
	事業に要した 主な経費 など	負担金、補助及び交付金	Ę	事業計画第 一筆高但	策定業務委託料 策定業務委託 弘測量業務委託 理機構関連農地整備事業負抗	16,128,200円 11,955,900円 4,172,300円

			項目		R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		古	国県支出	出金		24,375	4,375		団体営農地中間管理機構関連農地整備事業
		直接	地方債	į		0	0	0	補助金 農地中間管理機構関連農地整備事業委託金
		事	その化	Ţ.		0	0	150	
全体		業費	一般財	源		5,613	20,756	1,534	
体コ		貝	合計(A	)	0	29,988	25,131	15,556	
コス	事		正規職員	業務量	人	0.50 人	0.50 人	0.50 人	
7	事業費		止炕帜只	人件費	0	3,906	3,906	3,882	
<b>+</b>	費	人	再任用職員	業務量	人	人	人	人	
占		件	行江川帜貝	人件費	0	0	0	0	
)		費	会計年度任	業務量	人	人	人	人	
			用職員	人件費		0	0	0	
			小計(B	)	0	3,906	3,906	3,882	
			合計(A+B)		0	33,894	29,037	19,438	
	市民1人当たりのコスト(円)			0	375	321	218		

25,130,800円

	指標名	指標の説明	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	最終予算の執行率	最終予算の執行割合		目標				100
標	取於卫昇の執行卒	取於了昇の執行制占		実績				100
	指標化できない成果			達成				100.0%

継続向

課 農地中間管理機構関連農地整備事業を継続し、本整備に合わせて、一部施設を改修、整備を行う必要があることから 題 令和3年度では、農業競争力強化農地整備事業を行う必要があるため本事業を継続実施する。 及び 改 改

計

決算書頁 263

(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)06国土調査費(大事業)01国土調査事業 事業期間 会計-款-項-目-大事業-中事業 コード 名称 施策 321 自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする H16 年度~ R2 年度 01-06-01-06-01-01 基本事業 **⑤** 農業・農村の多面的機能維持向上への支援 部・課名 等 評価責任者•連絡先 担当 課長 岩野 庄司

報	事務事業名	対象 地籍調査にかかる地権者及びその関係団体 目的 国・県の連携を密にし、国土調査業務を円滑に・・国・東海ブロック・県との連携をとり、地籍調査・中村 I - ①地区の地籍調査成果について、地・中村 I - ①地区の成果について、三重県検査・石谷広地区の地籍調査成果について、国の承・摺見 V - ①、V - ②地区の地籍調査成果につて修正しました。			産業振興部農村整備課	謀長 岩野 圧司 0595-22-9718
	対 象	地籍調査にかかる地権者及びその	関係団体			
	目的	国・県の連携を密にし、国土調査業	務を円滑に推進させる	)		
事務事業の概要	内 容	・中村 I -①地区の地籍調査成果に ・中村 I -①地区の成果について、 ・石谷広地区の地籍調査成果につ ・摺見 V -①、V -②地区の地籍	こついて、地権者の閲覧 三重県検査を受検し、1 いて、国の承認を受け、	憶を行い、月 合格しまし <i>†</i> 、地籍調査	申し出のあった箇所を修正しま と。 の成果として効力があるもの	ました。
要		<b>経費</b>	金額		摘要	
		認証申請に伴う成果等修正業務委託	_,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	<b>⇒村Ⅰ</b> (		1,210,000円 249,700円 99,000円
	事業に要した 主な経費 など	三重県国土調査推進協議会負担金	44,000円 3	習見Ⅴ一(	①、V - ②地区 海ブロック協議会	1,045,000円 29,000円 15,000円
		システム等借上料	374,000円 月	地籍調査	ンステム(成果管理分)	

			項目		R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	出金	0	0	0	0	
		接	地方債	Ę	0	0	0	0	
全体コスト		接事	その化	<u>þ</u>	0	0	0	0	
		業費	一般財源		646	2,234	3,022	10,693	
	事業費		合計(A	)	646	2,234	3,022	10,693	
			正規職員	業務量	0.20 人	0.20 人	0.20 人	0.40 人	
		人		人件費	1,560	1,563	1,563	3,106	
<b>+</b>	費		<b>東任田職員</b>	業務量	人	人	人	人	
H		件	再任用職員	人件費	0	0	0	0	
)		費	会計年度任	業務量	人	人	0.40 人	0.40 人	
			用職員	人件費		0	763	639	
			小計(B	)	1,560	1,563	2,326	3,745	
			合計(A+B)		2,206	3,797	5,348	14,438	
	市民1人当たりのコスト(円)				25	42	60	162	

3,021,700円

	指標名	指標の説明	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	地籍調査が完成した面	地籍調査の全工程が終了し、 三重県の検査に合格した面	km³	目標		0.12	0.11	0.11
標	積	積	KIII	実績	0.17	0.23	0.09	0.94
	指標化できない成果調	査業務の習熟度、及び地籍調査へ	の理解	達成		192.0%	82.0%	854.5%

継続向

課題及び改

南海トラフ地震で甚大な被害が想定されるが、東海地方の国土調査の進捗率は低い。県及び周辺市町との連携や情報 共有を行うことにより、滞りなく地籍調査を推進していく必要がある。 整理番号 311 - (A=1)

その他の経費

(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)06国土調查費(大事業)01国土調查事業

決算書頁 263

		\ \ \	701 版玄前、旅700及作术员、资701及术员、百700百	<u>— µ7</u>	<u> </u>	A 1. N/A/	· I — #	747/	
		디	名称		事	業期間		会計一	款-項-目-大事業-中事業
基	施策 321 自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする			H16 年	₮度~	R2 年度	0	1-06-01-06-01-02	
一件	基本事業	<b>⑤</b>	農業・農村の多面的機能維持向上への支援	10.		部•	課名 等		評価責任者·連絡先
報	報 事務事業		国土調査事業	担当部署		<b>坐振</b> 風音	8農村整	備課	課長 岩野 庄司
	チッカチ	<i>ж</i> п			_ /生/	~ JM <del>&gt; -</del> 1		. I/HI I/N	0595-22-9718

基本事業 3	辰耒 - 辰州の多山的饿能維持向上	への文法	TEL 717	部 * 誄名 寺	評個貝性有"建裕尤			
事務事業名	国土調査事業		担当部署	産業振興部農村整備課	課長 岩野 庄司 0595-22-9718			
対 象	地籍調査にかかる地権者及びその	関係団体						
目的	地籍の明確化を図り、土地利用の	高度化に役立てる。						
内 容	・中村 I -③地区(0.10k㎡)で基準点・中村 I -②地区(0.11k㎡)で地積測・中村 I -①地区(0.11k㎡)で地籍図・中村 I -①地区(0.11k㎡)	量、地籍簿案を作成しる	ました。	を実施しました。				
	経費	金額		摘要				
	地籍調査委託料			委託(中村I-②·I-③地区) 作成業務委託(中村I-①地[	<ul><li>㈱共同技術コンサルタント</li><li>▼ ) ㈱共同技術コンサルタント</li></ul>			
事業に要した主な経費	作業員賃金	88,200円 均	也籍調査	推進委員の日当(12名分)				
など	スの他の奴弗	220 641 111 1	を弗 治事	千口弗 燃料弗笙				

230,641円 旅費、消耗品費、燃料費等

					計	5,16	55,841円		
			項目		R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	出金	5,256	12,666	4,542	8,116	社会資本整備円滑化地籍整備交付金
		接	地方信	ŧ	0	0	0	0	※会計年度任用職員人件費(01-06-01-06-
		接事	その他		0	0	0		02-0)を含む事業費 6,066千円
全 体		業典	一般財	源	2,258	4,212	624	2,705	
体コ		費	合計(A)		7,514	16,878	5,166	10,821	
コス	事		正規職員	業務量	1.20 人	1.20 人	1.20 人	1.20 人	
7	事業費		正况喊貝	人件費	9,356	9,374	9,374	9,317	
<b>1 1</b>	費	人	再任用職員	業務量	人	人	人	人	
一一一		件	中江川嶼貝	人件費	0	0	0	0	
· ·		費	会計年度任	業務量	人	人	0.50 人	人	
			用職員	人件費		0	954	0	
			小計(B	)	9,356	9,374	10,328	9,317	
			合計(A+B	)	16,870	26,252	15,494	20,138	
	市月	民1人	、当たりのコス	ト(円)	185	290	172	226	

	指標名	指標の説明	単位	/	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	地籍調査の実施面積	地籍調査を新規に実施した面	l. m²	目標		0.12	0.15	0.15
標	地緒調査の美胞面積	積	kmî	実績	0.23	0.11	0.11	0.1
	指標化できない成果 着	着手中の地区の進捗状況		達成		91.7%	73.3%	66.7%

充 充実 向

脳及び改:

土地の境界立会に際して、地権者間の協議が不調で境界が決まらなかった等の理由により、当初の予定から遅れている地区が見受けられる。現年度の新規着手面積の拡張を三重県に要望していくとともに、予定から遅れている地区についても、粘り強く地権者と交渉して、事業を完成させる必要がある。

(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)07畜産業費(大事業)01畜産振興事務経費

決算書頁 263

事業期間 名称 会計-款-項-目-大事業-中事業 施策 自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする 年度~ R2 年度 321 H16 01-06-01-07-01-01 基本事業 4 部・課名 等 畜産振興事業 評価責任者·連絡先 担当 課長 小林 康志 部署 **产業振嗣部農林振嗣**理 

112	対象			<b>司者</b>	<b>産業振興</b> 部農杯振興課	0595-22-9712
	対 象	畜産農家、銘柄牛「伊賀牛」				
	目的	口蹄疫病などの伝染病の予防及び	畜産農家の経営安定側	2、銘柄牛	の優良化を図る	
事務事業の概要	内 容	・伝染病予防接種薬剤費に対して补 ・振興団体への補助及び協議会負	輔助しました。 担金(単年度事業)を支	出しました	:。 5牛舎建設のため、補助金を	交付しました。
概要		経費	金額		摘要	
<b>X</b>	事業に要した 主な経費 など	負担金、補助及び交付金	333,884円 家 7,500,000円 個 371,308円 禾	マンス   高保健行動   を表生する   を表生する   のである   である   のである   である   のである   である   のである   である   のである   である   のである   である   のである   のではなる   のである   のである   のである   のである   のである   のではなる   のではな	牛生産振興協議会負担金 衛生対策事業費補助金	
		計	8,775,192円			

	/		項目		R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)				
		直	国県支出	出金	96,636	0	0	0	ふるさと応援基金 7,500,000円				
		接	地方侵	責	0	0	0	0					
		接事	その他	<u>t</u>	7,500	7,500	7,500	7,500					
全体	事業費	業	一般財源		1,360	1,480	1,276	1,480					
		費	合計(A	)	105,496	8,980	8,776	8,980					
コス			正規職員	業務量	0.25 人	0.25 人	0.25 人	0.25 人					
7		人		人件費	1,949	1,953	1,953	1,941					
(F	費		再任用職員	業務量	人	人	人	人					
H		件	中江川県貝	人件費	0	0	0	0					
· ·		費	会計年度任	業務量	人	人	人	人					
			用職員	人件費		0	0	0					
			小計(B	)	1,949	1,953	1,953	1,941					
			合計(A+B)		107,445	10,933	10,729	10,921					
	市	民1人	、当たりのコス	ト(円)	1,172	121	119	123					

	指標名	指標の説明	単位	/	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	原白丰什道、丽粉	いがほくぶ和牛肥育部会の	頭	目標		465	500	500
標	優良素牛導入頭数	優良素牛の導入頭数	珙	実績	466	467	502	505
	指標化できない成果			達成		100.0%	100.0%	101.0%

方 継続 向 課題及び改

伊賀牛の生産が年々減少してきているので、増頭に向けた施策が必要です。平成29年度において、優良素牛の単価を引き上げ、平成31年度には優良素牛の導入頭数を引き上げました。今後も引き続き畜産振興に向けた取組を行います。

(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)07畜産業費(大事業)02畜産振興事業費

決算書頁 263

		コード	名称		事業期間		会計一	款-項-目-大事業-中事業
基	施策	321	自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	H16	年度~	R2 年度	0	1-06-01-07-02-01
个信	基本事業	4	畜産振興事業	担当	部	・課名 等		評価責任者·連絡先
報			畜産振興事業費		産業振興	部農林振	興課	課長 小林 康志 0595-22-9712

				0000 22 0712
	対 象	伊賀牛の生産関係者		
	目的	伊賀牛の振興および飼養頭数の増	頭を目指す	
事務事業の場	内 容	市長に対し提言を行いました。令和設(CS(キャトルステーション)、CE 牛生産に関する技術・知見を獲得るル事業」を開始しました。令和3年月り日:初した。 ②伊賀牛振興の拠点であった伊賀て建設した「伊賀肉冷蔵センター」の	記元年度については、するにめの検討を行いまた。(キャトルブリーディするための検討を行いまの試験的な素牛生産子牛誕生)また、素牛苗食肉センターが平原の運営に対し支援を行外のと畜場を利用する	ることとなった市内の食肉事業者に対し、生体輸送費について、一
要		経費	金額	摘要
$\sim$		需用費	10,800円	消耗品
		委託料	978,738円	伊賀牛地域内一貫肥育モデル事業業務委託料
			65,395円	旧食肉センター草刈委託料
	古光に正した		46,200円	樹木剪定伐採等委託料
	事業に要した主な経費	工事請負費	1,045,000円	旧食肉センター管理小屋撤去工事
	エな柱貝など	負担金、補助及び交付金	3,172,000円	伊賀牛振興補助金(伊賀肉冷蔵センター運営助成) 1,000,000円
	J			伊賀牛振興補助金(生体輸送費助成) 2,172,000円
		積立金	57,260円	
		計	5,375,393円	

			項目		R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	金出	0	500	490	500	①地方創生推進交付金(経費1/2) 伊賀牛地域内一貫肥育モデル事業業務委託
		接	地方債	į	0	0	0	0	伊貞千地域内一貞肥育モアル事業業務委託 料 978,738円
		事	その他	<u> </u>	2,045	0	291	53	②その他
全		業費	一般財	源	14,092	3,951	4,594	3,253	食肉センター負担金(名張市) 291,849円
体コ		貝	合計(A	)	16,137	4,451	5,375	3,806	, . <del>.</del>
コス	事		正規職員	業務量	0.60 人	0.25 人	0.25 人	0.25 人	
7	事業費		正烷碱貝	人件費	4,678	1,953	1,953	1,941	
(F	費	人	再任用職員	業務量	人	人	人	人	
Ä		件	丹山川城县	人件費	0	0	0	0	
)		費	会計年度任	業務量	人	人	人	人	
			用職員	人件費		0	0	0	
			小計(B	)	4,678	1,953	1,953	1,941	
			合計(A+B	)	20,815	6,404	7,328	5,747	
	市月	民1人	、当たりのコス	ト(円)	228	71	81	65	

	指標名	指標の説明	単位	/	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指				目標			_	_
標		_	_	実績	_	_	_	_
		デル事業開始年度で仔牛が誕生しめ、令和2年度の指標化は困難	ていない	達成			_	_

方 継続 向 課題及び改

引き続き伊賀牛の増頭に関する検討と伊賀地域内で素牛生産技術・知見を獲得するため「伊賀牛地域内一貫肥育モデル事業」を実施していきます。安定した和牛素牛確保に向けた施設(CS、CBS)整備に向けた検討も引き続き実施します。

 整理番号

 314 (会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)07畜産業費(大事業)03豚熱緊急対応事業

名称

計

決算書頁 265

会計-款-項-目-大事業-中事業

李	施策	321	自然と共存し、人と人がつながる農	業を元気にする	H16	年度~ R2 年度	01-06-01-07-03-01				
个 桂	基本事業	4	畜産振興事業		I TO A LE	部・課名 等	評価責任者·連絡先				
基本情報	事務事	<b>举</b> 夕	下熱緊急対応事業 下熱緊急対応事業		担当部署	産業振興部農林振興課	課長 小林 康志				
	尹仍尹	未扣	<b>协</b> 然来心外心争未		HP-B	<b>庄未派共印展</b> 你派共称	0595-22-9712				
	対	象	市内豚熱発生養豚場(令和2年12)	月29日)							
	目:	的	豚熱発生養豚場の防疫措置を速やかに行い、家畜伝染病予防と食の安全確保に資する								
事務事業の概要	内:		令和2年12月29日に伊賀市内の養防疫業務を行いました。(出動職員なお、防疫措置は、翌年1月7日に	数:延べ146人)	が発生し、信	尹賀市は県の防疫措置を支	を接するため職員を派遣し、				
概要			経費	金額		摘要					
			職員手当等	I I	寺間外勤和	<b></b>	54,500円 1,916,111円				
	事業に要主な私	¥費	需用費			于当 寺別勤務手当	523,493円 167,000円 32,924円				

事業期間

			ゼロ		D二左座边签	DOケムツカマダ	DO左连边签	DOケーツカマケ	바리束쥬리 기배(珠笠甘珠 사이라도 이수자쑈)
			項目		R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度ヨ初ア昇	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	金出金		0	0	0	
		接	地方侵	Ę		0	0	0	
		事	その他	F G		0	0	0	
全		業費	一般財	源		0	2,694	0	
全体コス		貝	合計(A	)	0	0	2,694	0	
コス	事		正規職員	業務量	人	人	0.50 人	人	
۲	事業費		工机械员	人件費	0	0	3,906	0	
<u>+</u>	費	人	再任用職員	業務量	人	人	人	人	
千円		件	中江川嶼貝	人件費	0	0	0	0	
)		費	会計年度任	業務量	人	人	人	人	
			用職員	人件費		0	0	0	
			小計(B	)	0	0	3,906	0	
			合計(A+B	)	0	0	6,600	0	
	市	旲1人	、当たりのコス	ト(円)	0	0	73	0	

2,694,028円

	指標名	指標の説明	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指				目標				_
標	_	_	_	実績	_	_	_	_
		「熱発生時の緊急防疫対応であり、」 可能である。	指標化は	達成		_	_	_

方 完了 向 伊賀市独自に豚熱防疫対応マニュアルを策定し、豚熱発生時の防疫体制づくりを進めます。

<u>整理番号</u> (会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)08新型感染症対策費(大事業)01新型感染症対策 事業

決算書頁 265

		コード	名称		事業期間		会計一	款-項-目-大事業-中事業
基	施策	321	自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	H16	年度~	R2 年度	0	1-06-01-08-01-01
个信	基本事業	4	畜産振興事業	10 V/	部	・課名 等		評価責任者•連絡先
報	事務事	業名	畜産振興事業費	担当部署	産業振興	部農林振	興課	課長 小林 康志 0595-22-9712

100				TILL 1/17		
報	事務事業名	畜産振興事業費		担当部署	産業振興部農林振興課	課長 小林 康志 0595-22-9712
	対 象	牛マルキン制度に加入する伊賀牛	肥育農家			
	目的	伊賀牛の販売価格低下の影響を受	- そけている伊賀牛肥育農	と 家の経営	安定を図り、伊賀牛振興に資	資する
事務事業の概要	内 容	新型コロナウイルス感染症の影響ました。牛肉は肉用牛肥育経営安 農家等の経営安定を図るため、免	定特別対策事業(牛マル	レキン)で、	損失額の9割が補填されます	すが、伊賀牛振興と飼養
要		<b>経費</b>	金額		摘要	
	事業に要した 主な経費 など	負担金、補助及び交付金	7,406,279円 信	尹賀牛販売	<b>売価格低下対策事業費補</b> 題	<b>协金</b>
			1			

			項目		R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	金比		0	0	0	
		接	地方侵	⁄шπ		0	0	0	
		事	その他	Ā		0	0	0	
全		業費	一般財	源		0	7,406	0	
体		負	合計(A	)	0	0	7,406	0	
全体コス	事		正規職員	業務量	人	人	0.10 人	人	
۲	事業費		正况顺兵	人件費	0	0	782	0	
<u> </u>	費	人	再任用職員	業務量	人	人	人	人	
千円		件	丹口用蝦貝	人件費	0	0	0	0	
· ·		費	会計年度任	業務量	人	人	人	人	
			用職員	人件費		0	0	0	
			小計(B	)	0	0	782	0	
			合計(A+B	)	0	0	8,188	0	
	市	市民1人当たりのコスト(円)			0	0	91	0	

7,406,279円

	指標名	指標の説明	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	市内伊賀牛肥育農家戸	市内の伊賀牛肥育農家の経	П	目標				22
標	数	営継続を図る。	F	実績	_	_	_	22
	指標化できない成果			達成		_	_	100.0%

方 完了 向 課題及び改

令和2年度当初は伊賀牛の販売価格の低下が見受けられましたが、徐々に食肉市場の牛肉販売価格は回復し、11月には牛マルキン交付金の支給が無くなりました。牛肉価格が低迷した期間に廃業した肥育農家はなく、当事業の目的は達成されたと思われます。

整理番号 (会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)08新型感染症対策費(大事業)01新型感染症対策 316

決算書頁 265

	<del>                                  </del>	名称		事業期間会	
基	施策 321	自然と共存し、人と人がつながる農業を元気に	する H16		01-06-01-08-01-02
本	基本事業 ①	高付加価値化の促進		部・課名 等	評価責任者·連絡先
基本情報	<b>本 次 古 米 ク</b>	<b>业</b>	担当部署	ᅔᄴᄹᅃᇷᇸᄟᄔᄹᅃ	課長 小林 康志
TIA	事務事業名	特産農産物等振興事業	即有	産業振興部農林振興	0595-22-9712
	対 象	市内小中学校給食、農協共済の収入保険に加	入(加入を確約)する	市内園芸農業者	
	目的	市内小中学校給食での地元食材の利用促進、	市内園芸農家の農業	〔経営の維持・向上を図る	3
事務事業の概要	内 容	①新型コロナウイルス感染症の影響により販売供することにより、地産地消・食育推進を促しま②農業共済の収入保険に加入する市内園芸農対象となった者に対して、収入保険の自己免責した。併せて収入保険に加入していない園芸農	した。 業者で、新型コロナ「 部分の9割を上限に	ウイルス感染症の影響で 「農産物販売価格低下対	で収入減となり収入保険の交付
要		経費金額	Į į	摘要	
	事業に要した 主な経費 など		· ·	給食伊賀産食材利用仮 物販売価格低下対策事業	
		計 17,53	4,140円		
		百日 P元年度決策 P2年度兴知予第	D0左连边签 D0	노프 사 체 국 설	、燜/痔質其磁 特定財源の名称等)

			項目		R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	金出		0	0	0	※小中学校給食伊賀産食材利用促進事業に
		接	地方信	Ę		0	0	0	ついては、令和3年度は(目)農業振興費-(大 事業)特産農作物等振興事業で計上・継続しま
		事	その化	<u>þ</u>		0	0		<del>す</del> 。
全		業費	一般財	源		24,030	17,534	0	
全体コ		貝	合計(A	)	0	24,030	17,534	0	
コス	事		正規職員	業務量	人	0.20 人	0.20 人	人	
7	事業費		止戍嶼貝	人件費	0	1,563	1,563	0	
<u> </u>	費	人	再任用職員	業務量	人	人	人	人	
千円		件	<b>节</b> 正用	人件費	0	0	0	0	
)		費	会計年度任	業務量	人	人	人	人	
			用職員	人件費		0	0	0	
			小計(B	)	0	1,563	1,563	0	
			合計(A+B)		0	25,593	19,097	0	
	市	民1人	、当たりのコス	ト(円)	0	283	211	0	

	指標名	指標の説明	単位	/	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	市内園芸農業者	市内園芸農業者の経営の維持と向上を図るとともに収入	П	目標			_	41
標	川內國云辰未有	保険への加入を促す。	Ĺ	実績	_		_	43
	指標化できない成果			達成				104.9%

方

向

完了

①「伊賀スマイル給食」として伊賀産食材を市内小中学校で提供し、学校側より児童・生徒の地元産食材に対する理解 を深めるとともに食育教育を推進することができたとの評価を得ました。今後も同事業を継続するとともに利用が少な 及び

かった地元産野菜・果物等も積極的に利用し、更なる地産地消・食育推進を進めます。
②令和2年度当初の農産物の販売不振により収入保険を受けた市内園芸農業者は27名となりました。しかし、農産物の 販売不振により廃業した農家は無く、また収入保険に加入する農家も増加したことから、当事業の目的は達成されたと 思われます。

整	理番号	1							決	學書頁
317	7 –					+ · · · · · · ·				265
011		-	)01一般会計(款)06農林業費(	項)02林業費(目)017	林業総務費		02事務管			
Ħ	$\rightarrow$	コード	名称			事業期間			項−目−大事業	
本	施策		森林や里山を大切にし、林業を元	気にする	H16		R2 年度		6-02-01-02	
基本情報	基本事業	1	間伐等の森林施業の促進		担当	部	・課名 等	I	評価責任者・追	車絡先
報	事務事	<b>学</b> 夕	事務管理経費		部署	産業振興	ᆥᄥᆉᇉ	6部 章甲	課長 小林	康志
	尹仍主	*未口	<b>事務自理性負</b>		HP-H	<b>庄未</b> 派央	印辰你派	央际	0595-22-9	712
	対	象	林業振興事業を実施するために必	・ 要な事務費用等						
				2011/2011/1						
	目	的	林業振興事業を円滑に実施する							
			経常経費です。							
	内	숬								
	1/3	谷								
==										
争										
事										
業										
Ø										
事務事業の概要			—————————————————————————————————————	金額			摘罗	<u> </u>		
女			1,250				31.32			
				13,395円	消耗品費				13,	395円
					光熱水費					982円
	NI			299,200円		委託料				200円
	事業に			· ·	林地台帳シス		認証システム	4保守委託料		188円
	主な組		使用料及び賃借料	280,080円	有料道路边	通行料				880円
	\A.	_			林地台帳		ラウド使月	月料		200円
			負担金、補助及び交付金	510,000円						000円
				1			_ ^			1

					計	1,10	6,845円						
			項目		R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)				
		直	国県支出	出金	0	0	0	0					
		接	地方信	責	0	0	0	0					
		接事業	その他	<u>†</u>	0	0	0	0					
全 体		業	一般財	源	734	1,241	1,107	1,241					
体コ	事業費	費	合計(A	)	734	1,241	1,107	1,241					
ス			正規職員	業務量	0.05 人	0.11 人	0.11 人	0.11 人					
7			止戍嶼貝	人件費	390	860	860	855					
(F	費	人	再任用職員	業務量	人	人	人	人					
H		件	丹山川嶼貝	人件費	0	0	0	0					
)		費	会計年度任	業務量	人	人	人	人					
			用職員	人件費		0	0	0					
			小計(B	()	390	860	860	855					
			合計(A+B	)	1,124	2,101	1,967	2,096					
	市月	民1人	、当たりのコス	ト(円)	13	24	22	24					

三重県森林協会負担金

480,000円

	指標名	指標の説明	単位	/	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指				目標		_	_	_
標			I	実績	_	_	_	_
	指標化できない成果事			達成		_	_	_

方 継続 向 課題及び改善

経常経費ではありますが、削減に努めます。

(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)02林業費(月)02林業振興費(大事業)02森林振興事業

決算書頁 265

		(太可	/01 报去引(孙/00辰怀未复(境/02怀未复(日/02怀	未派兴!	1(八尹禾/	UZ末木作小加	大学学	₹
		コード	名称		事業期間 会計-款-項-目-大事業-中事業			
基	施策	322	森林や里山を大切にし、林業を元気にする	H16	年度~	R2 年度	0	1-06-02-02-02-01
平信	基本事業	1	間伐等の森林施業の促進	TD 717	部	・課名 等		評価責任者·連絡先
報	事務事業名		森林環境創造事業	担当部署	産業振興	部農林振	興課	課長 小林 康志 0595-22-9712

						0595-22-9/12
	対 象	環境林整備計画に位置づけられた	森林			
	目的	環境林整備計画に基づき間伐等適	正管理を行うことで、	環境林の持つ多	<b>多面的機能を発揮できる</b>	
事務事業の概要	内 容	・環境林整備計画に位置付けられたるため、強度の間伐等を計画的にまました。 ・間伐 14.48ha				
概要		経費	金額		摘要	
	事業に要した 主な経費 など	報酬 旅費 委託料	6,993円	森林管理協議 森林環境創造	養会委員 報酬 養会委員 旅費 董事業委託料 資森林組合	

					計	4,13	80,993円									
			項目		R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)							
		直	国県支出	出金	3,118	3,590	3,596	美しい森林づくり基盤整備交付金 2								
		接	地方值	責	0	0	0	0	美しい森林で入り基盤登備文刊金 2,000,000円							
		接事	その他		0	0	0	0								
全 体		業	一般財	源	834	535	535	1,195								
体コ	事業費	費	合計(A)		3,952	4,125	4,131	4,652								
コス			正規職員	業務量	0.10 人	0.10 人	0.10 人	0.10 人								
۲			正况啾貝	人件費	780	782	782	777								
7	費	人	市が田酔品	業務量	人	人	人	人	森林環境創造事業費補助金 1,595,600円 美しい森林づくり基盤整備交付金 2,000,000F							
千円		件	再任用職員	人件費	0	0	0	0								
· ·		費	会計年度任	業務量	人	人	人	人								
			用職員	人件費		0	0	0								
			小計(B	)	780	782	782	777								
			合計(A+B	)	4,732	4,907	4,913	5,429								
	市	民1人	、当たりのコス	ト(円)	52	55	55	61								

	指標名	指標の説明	単位	/	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	環境林整備面積	間伐により直接的に森林整	ha	目標		100	18.5	15
標	<b>泉境怀罡</b> 脯ഥ惧	備を行った面積	ha	実績	19.19	16.16	14.06	14.48
	指標化できない成果			達成		16.2%	75.7%	93.3%

継続

課題及び改善

環境林整備の必要性は高いのですが、県の施策に基づく事業であり年々事業量が減少しています。環境林整備を進めるため、令和元年度から森林環境譲与税事業においても環境林整備を行い、進捗を図っています。

(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)02林業費(目)02林業振興費(大事業)02森林振興事業

決算書頁 265

		\ A III	/01 股公司(款/00股件不負(項/02件不負(日/02件	- A 1W 2C 2	2 ( <b>/ )</b> T / / /		\ <i>7</i> \\ \	Τ			
		コード	名称		事業期間		会計一	款-項-目-大事業-中事業			
基	施策	322	森林や里山を大切にし、林業を元気にする	H16	年度~	R2 年度	0	1-06-02-02-02-05			
平信	基本事業	1	間伐等の森林施業の促進	担当	部	・課名 等		評価責任者・連絡先課長 小林 康志			
報	事務事	業名	緊急間伐·搬出間伐推進事業		産業振興	部農林振	興課	課長 小林 康志 0595-22-9712			

				0595-22-9712						
対 象	伊賀市内の森林									
目的	森林所有者の間伐作業を推進し森林	<b>  整備が適正に行われ</b>	るようにする							
市内に存在する森林の適正管理を推進するため、緊急に間伐すべき森林において間伐経費と搬出経費の一部を助成した。 搬出間伐に対して助成することにより、間伐材の有効利用と林業の活性化を促しました。 緊急間伐・搬出間伐推進事業補助金 申請件数 89件 間伐本数 28,728本 間伐面積 72.71ha										
	経費	金額	摘要							
事業に要した 主な経費 など	委託料 負担金、補助及び交付金 消耗品費	妻	聚急間伐対策完了検査委託料 軽託先:伊賀森林組合 緊急間伐・搬出間伐推進事業補助金	È						

			項目		R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	出金	2,480	2,850	2,094	2,750	美しい森林づくり基盤整備交付金 2,094,000円
		接	地方債	ŧ	0	0	0	0	
		その他							
全 体	事業費	業 費	一般財源		4,077	5,855	4,719	5,954	
体コ			合計(A	)	6,557	8,705	6,813	8,704	
ス			正規職員	業務量	0.20 人	0.20 人	0.20 人	0.20 人	
7			正烷碱貝	人件費	1,560	1,563	1,563		
<b>+</b>	費	人	再任用職員 再任用職員	業務量	人	人	人	人	
占		件	丹江川城兵	人件費	0	0	0	0	
)		費	会計年度任	業務量	人	人	人	人	
			用職員	人件費		0	0	0	
			小計(B	)	1,560	1,563	1,563	1,553	
			合計(A+B	)	8,117	10,268	8,376	10,257	
	市民1人当たりのコスト(円)				89	114	93	115	

6,812,859円

計

	指標名	指標の説明	単位	/	平成29年度	平成30年度 令和元年度		令和2年度
指	緊急間伐•搬出間伐補助	補助事業により間伐された本	*	目標		40,000	36,000	33,000
標	本数	数	本	実績	26,935	29,108	23,904	28,728
	指標化できない成果			達成		72.8%	66.4%	87.1%

方 継続 向

森林所有者等の高齢化により申請件数の低迷が見られますが、直接森林所有者に対して支援する伊賀市独自の事業 課題及び改善 でなので、事業の啓発に努めます。

国補財源の美しい森林づくり基盤整備交付金(補助率50/100)の交付期間が令和2年度までとなっていましたが、令和 12年度まで交付期間が延長されたため、国補財源が確保されました。

整理番号 320 -

(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)02林業費(目)02林業振興費(大事業)02森林振興事業

決算書頁 265

		コード	名称       事業期間         森林や里山を大切にし、林業を元気にする       H16 年度~ R				会計一	款-項-目-大事業-中事業		
基	施策 322 森林や里山を大切にし、		森林や里山を大切にし、林業を元気にする	林業を元気にする H16		R2 年度	0	01-06-02-02-02-07		
个信	基本事業	1	間伐等の森林施業の促進		部	・課名 等		評価責任者·連絡先		
報	事務事	業名	流域防災機能強化対策事業		産業振興部農林振興		興課	課長 小林 康志 0595-22-9712		

	対 象	浸	<b>渓流沿い等の森林整備</b>			
	目的	j	流域における防災機能を強化する <i>。</i>	為、土砂流出の危険性	生が高く、早急な整備が必要とされる箇所	fの森林整備を行う
事務事業の押	内容	- 様 【 元	幾能をより強化する森林 環境林・特定水源地域】 伊賀市森林整備計画に定める県 ≧されている森林 上記の森林において、水源のかん	ゾーニングが環境林、 し養機能を始めとした 日的とした強度の間	林整備事業の整備範囲の森林と一体的 又は三重県水源地域の保全に関する条 多様な公益的機能の持続的かつ高度な 伐を継続的に行うことで、多様で力強い系 源地域)22.41ha	例で特定水源地域に指発揮を目指す新たな取組
概要			経費	金額	摘要	
	事業に要した 主な経費 など	.:	委託料	7,810,000円	流域防災機能強化対策事業業務委 委託先:伊賀森林組合	託

			項目		R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	出金	19,987	11,000	7,810	47,500	みえ森と緑の県民税市町交付金 7,810,000円
		接	地方債	責	0 0 0				
		事	その化	पि	0	0	0	0	
全体		業費	一般財	源	0	0	0	0	
体コ			合計(A	)	19,987	11,000	7,810	47,500	
ス	事業費	人	正規職員	業務量	0.10 人	0.10 人	0.10 人	0.10 人	
7			正观视员	人件費	780	782	782	777	
<b>+</b>			再任用職員	業務量	人	人	人	人	
H		件	竹口川柳貝	人件費	0	0	0	0	
)		費	会計年度任	業務量	0.10 人	人	人	人	
			用職員	人件費		0	0	0	
			小計(B	)	780	782	782	777	
			合計(A+B	)	20,767	11,782	8,592	48,277	
	市民1人当たりのコスト(円)				227	131	95	541	

7,810,000円

計

	指標名	指標の説明	単位	/	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	間伐面積	事業において間伐を実施した	la a	目標			55	44
標	间发曲使	直積			_	67.34	25.15	
	指標化できない成果			達成			121.8%	56.8%

継続

課題及び改善

「土砂災害防止機能」「水源かん養機能」など森林の有する多面的機能を守ることは森林所有者だけでなく、市民全員の 生活環境を守る意味でも重要です。 (会計)01一般会計(款)06農林業費(項)02林業費(目)02林業振興費(大事業)03山村振興事業

決算書頁 267

		コード	名称		事業期間		会計一	款-項-目-大事業-中事業
基	施策	311	観光客を呼び込み、もてなす	H16	年度~	R2 年度	0	1-06-02-02-03-01
个信	基本事業 ②		地域全体で観光客を受け入れる態勢づくり	担当	部・課名 等			評価責任者·連絡先
報	事務事	業名	ハーモニー・フォレスト維持管理経費		青山支所振興課			課長 稲森 真一 0595-52-1112

	対 象	市	民及び市外(都市)住民			
	目的	都	3市と川上ダム上流域の地域資源	を活用した山村の交流	<b>流を促進し、地元地区の地域活性化に努める</b>	
事務事業の関	内容	め・脈・・・さ・・・いい	ました。 指定管理者は、施設利用者を増く 売、パークゴルフ大会、珈琲焙煎 パークゴルフ ラウンドし放題500F ナートキャンプ場やバーベキューサ	らすための自主事業を 「ワークショップ、アイス 円キャンペーンを開始 場は例年、春から秋に 「により、4/9~5/19 パークゴルフ場休憩室 :1,645人 H31(R1):	:かけての休日、特にゴールデンウィークや夏f まで、有料施設の営業を停止しました。 Eのウッドデッキを修繕しました。 1,664人 R2:2,732人 :1,044人 R2:494人	マの虫よけスプレー う)
要			経費	金額	摘要	
			委託料	5,092,592円	ハーモニー・フォレスト指定管理料	
			<b>高</b> 中典	457.000	(指定管理者:種生区)	000 000 I
			需用費	457,823円	月耗品質 修繕料	308,380円 149,443円
	事業に要した 主な経費 など		備品管理費	54,780円	管理用備品(ソーラー付電柵器)	143,443[]
			計	5.605.195円		

			項目		R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	出金	0	0			
		接	地方債	責	0	0			
		接事	その化	<u>†</u>	0	0			
全体		業費	一般財	源	5,274	5,313	5,606	6,882	
			合計(A	)	5,274	5,313	5,606	6,882	
コス	事業費		正規職員	業務量	0.27 人	0.31 人	0.24 人	0.10 人	
7			正烷碱貝	人件費	2,105	2,422	1,875	777	
<b>1</b>	費	人	再任用職員	業務量	人	人	人	人	
H		件	丹口川嶼貝	人件費	0	0	0	0	
)		費	会計年度任	業務量	人	人	人	人	
			用職員	人件費		0	0	0	
			小計(B	()	2,105	2,422	1,875	777	
			合計(A+B	)	7,379	7,735	7,481	7,659	
	市民1人当たりのコスト(円)				81	86	83	86	

	指標名	指標の説明	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	施設年間利用者数	指定管理者が、前年度利用		目標		9,500	11,000	7,000
標	<b>旭</b> 故牛间机用有数	者数を下回らないようイベント 内容の検討を行っている。		実績	9,531	10,481	10,963	9,973
	指標化できない成果			達成		110.3%	99.7%	142.4%

継続

向

当該施設は、川上ダム建設を契機に青山地域の振興を図るべく、ダムの上流地域と下流地域を結ぶ拠点施設として開 設されました。しかし、開設後14年が経過し、敷地内の樹木は繁茂密集し、また施設設備自体も経年に伴う劣化が現れ 起及び改

てきました。 今後も指定管理者等と協働し、施設の良好な維持管理に努めるとともに、地域の観光資源を活用した仕組みづくりや新たな事業の構築により、施設利用者の拡大を目指します。

整理番号
322 - (会計)01一般会計(款)06農林業費(項)02林業費(目)02林業振興費(大事業)04治山林道維持経費

決算書頁 267

		\ A III	/01 股公司(款/00股件未負(項/02件未負(日/02件		R (7) + A/	O I/LI PLIT		712 9
		コード	名称		事業期間		会計-	款-項-目-大事業-中事業
基	施策	322	森林や里山を大切にし、林業を元気にする	H16	年度~	R2 年度	0	1-06-02-02-04-01
个信	基本事業	1	間伐等の森林施業の促進	担当	部	・課名 等		評価責任者·連絡先
報			治山林道維持経費		産業振興部農村整備課			課長 岩野 庄司 0595-22-9718

	対	象	市管理の広域基幹林道の利用者								
	目	的	林道の正常な通行を確保するため	 維持管理を行 <b>う</b>							
事務事業の概要	内		市が直轄管理する基幹林道総延長L=29,234mの維持管理を行いました。 ・路肩除草 N=8件 A=52,947m2 ・舗装補修 N=4件 ・原材料費(道路補修材購入) N=1式  地餅管理林道関係の維持管理を行いました。     小規模土地改良事業等補助金     工事費補助 N=1件     材料費補助 N=3件								
<b>恢</b>			経費	金額	摘要						
_			修繕料	1,695,100円	林道霊山線舗装補修工事 ほか3件	708,400円					
					支所執行分(大山田986,700円・島ケ原0円)	986,700円					
	事業に主な		委託料	3,105,400円	草刈業務委託料 8箇所 うちシルバー委託1箇所 地元委託7箇所	2,896,400円					
	森林管理巡視業務委託(大山田支所) 施設補修材料費	209,000円 70,000円									
原材料費 70,000円 施設補修材料費 70,000円 施設補修材料費   1,066,040円 小規模土地改良事業等補助金											
			民担立、補助及い入門並	1,000,040		1,066,040円					
			計	5,936,540円							

			項目		R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	出金	0	0	0	0	
		接	地方債	ŧ	0	0	0	0	
		接事	その化	<u> </u>	0	0	0	0	
全 体		業費	一般財	源	5,604	5,213	5,937	4,882	
体コ		貧	合計(A	)	5,604	5,213	5,937	4,882	
コス	事業費		正規職員	業務量	0.20 人	0.20 人	0.20 人	0.20 人	
7			止戍嶼貝	人件費	1,560	1,563	1,563	1,553	
<b>+</b>	費	人	再任用職員	業務量	人	人	人	人	
H		件	丹口川嶼貝	人件費	0	0	0	0	
)		費	会計年度任	業務量	人	人	人	人	
			用職員	人件費		0	0	0	
			小計(B	)	1,560	1,563	1,563	1,553	
			合計(A+B	)	7,164	6,776	7,500	6,435	
	市民1人当たりのコスト(円)				79	75	83	73	

	指標名	指標の説明	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	最終予算の執行率	見約3質の執行割合	終予算の執行割合 % 目標 100 実績 100 99		100	100	100	
標	取於了昇の執行卒	取於了好以刊刊			99	110	90.9	
	指標化できない成果			達成		99.0%	110.0%	90.9%

发 継続 向 課題及び改善

林道機能を維持し森林作業者や一般通行者の利便性を維持するために必要である。

整理番号 決算書頁 323 267 (会計)01一般会計(款)06農林業費(項)02林業費(目)02林業振興費(大事業)05森林基盤整備事業 事業期間 会計-款-項-目-大事業-中事業 コード 名称 施策 322 森林や里山を大切にし、林業を元気にする H16 年度~ R2 年度 01-06-02-02-05-01 基本事業 1 間伐等の森林施業の促進 部・課名 等 評価責任者•連絡先 担当 課長 岩野 庄司

報	事務事業名	森林環境保全整備事業		部署	産業振興部農村整備課	誅長 右野 庄司 0595-22-9718
	対 象	伊賀市の直轄林道に架かる橋梁				
	目 的	伊賀市直轄林道橋の点検・機能を調				
	内 容	橋梁長寿命化計画策定業務におい ・個別施設計画策定業務(その1) ・個別施設計画策定業務(その2) ・個別施設計画策定業務(その3) 【繰】橋梁点検診断業務委託(その2)	N=16橋 N=107橋 N=26橋		橋梁点検N=26橋を行いまし	,t≥.。
事務事業の概要						
概		経費	金額			
安		需用費	136,290円 浏	肖耗品費	New Year	
	事業に要した	委託料			命化計画策定業務委託料 诊断業務委託に伴 <b>う</b>	5,494,500円
	主な経費				†画策定等業務委託その1〜そ ₹点検診断業務委託(その2	, , ,
	など				- MN   A   I   A   M   A   B   C   C   V   I	2, 3,000,0001
		計	5,630,790円			

			項目		R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		古	国県支出	金	6,133	3,367	1,785	0	農山漁村地域整備交付金
		直接	地方債	Ę	0	0	0	0	
		事	その他		0	0	0	0	
全		業費	一般財源		6,334	11,919	3,847	0	
全体コス	事業費		合計(A	)	12,467	15,286	5,632	0	
ス			正規職員	業務量	0.30 人	0.30 人	0.30 人	人	
7				人件費	2,339	2,344	2,344	0	
( <del>I</del>	賀	人	再任用職員	業務量	人	人	人	人	
千円		件	竹江川帆貝	人件費	0	0	0	0	
)		費	会計年度任	業務量	人	人	人	人	
			用職員	人件費		0	0	0	
			小計(B	)	2,339	2,344	2,344	0	
			合計(A+B)		14,806	17,630	7,976	0	
	市	民1人	、当たりのコス	ト(円)	162	195	89	0	

	指標名	指標の説明	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	事業の進捗率	橋梁点検による作業進捗	橋	目標		16	89	26
標	事業の進捗学	備采点快ICよるTF未進抄	作	実績		16	107	26
	指標化できない成果			達成		100.0%	120.0%	100.0%

方 完了 向 の 改 改善 善 <u>整理番号</u> 324 - (会計)01一般会計(款)06農林業費(項)02林業費(目)02林業振興費(大事業)06みえ森と緑の県民税市 町交付金事業

決算書頁 267

		.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,						
		니	名称		事業期間		会計一	款-項-目-大事業-中事業
基	施策	322	森林や里山を大切にし、林業を元気にする	H16	年度~	R2 年度	0	1-06-02-02-06-02
一件	基本事業	1	間伐等の森林施業の促進	+n v/	部	・課名 等		評価責任者·連絡先
報	事務事	事業名 みんなの里山整備活動推進事業		担当 部署	  産業振興部農林振		興課	課長 小林 康志
								0595-22-9712

事務事業名	みんなの里山整備活動推進事業		部署	産業振興部農林振興課	課長 小林 康志 0595-22-9712		
対 象	地域の暮らしに身近な森林						
目的	災害に強い森林づくりとして、地域の	住民による暮らしに身近	な森林整	備の体制づくり			
交付しました。     交付自治会数:28自治会(区)       補助金交付金額:5,800,000円       内容       事務事業のの概要     経費     金額     摘要							
	経費	金額		摘要			
事業に要した 主な経費 など	負担金、補助及び交付金	5,800,000円 ð		里山整備活動推進事業補助	力金		
	対 家 目 内 容 に経費	対象 地域の暮らしに身近な森林 目的 災害に強い森林づくりとして、地域、緑の環境づくりや生活に密着した目交付しました。 交付自治会数:28自治会(区)補助金交付金額:5,800,000円  内容  経費  負担金、補助及び交付金  事業に要した主な経費	対 象 地域の暮らしに身近な森林 目 的 災害に強い森林づくりとして、地域住民による暮らしに身近緑の環境づくりや生活に密着した里山・竹林の再生のため交付しました。 交付自治会数:28自治会(区)補助金交付金額:5,800,000円  内 容 <u>経費</u> 金額 負担金、補助及び交付金 5,800,000円	新客事業名   みんなの里山整備活動推進事業   部署   対 象	事務事業名 みんなの里山整備活動推進事業		

			項目		R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	出金	6,071	6,500	5,800	6,840	みえ森と緑の県民税市町交付金 5,800,000円
		接	地方債	ŧ	0	0	0	0	
全体コスト		接事	その化	<u>t</u>	0	0	0	0	
		業費	一般財源		0	0	0	0	
			合計(A	)	6,071	6,500	5,800	6,840	
	事業費		正規職員	業務量	0.10 人	0.10 人	0.10 人	0.10 人	
		人	正况聊貝	人件費	780	782	782	777	
( H			再任用職員	業務量	人	人	人	人	
千円)		件	丹江川城兵	人件費	0	0	0	0	
		費	会計年度任	業務量	人	人	人	人	
			用職員	人件費		0	0	0	
			小計(B)		780	782	782	777	
			合計(A+B	)	6,851	7,282	6,582	7,617	
	市	民1人	、当たりのコス	ト(円)	75	81	73	86	

5,800,000円

計

	指標名	指標の説明	単位	/	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	活動参加人数	里山・森林の再生のためボラ	ı	目標		1,500	1,500	1,500
標	<b>心到</b> 参加入致	ンティアに参加した人員	<	実績	1,289	1,023	1,023	1,077
	指標化できない成果			達成		68.2%	68.2%	71.8%

方 充実 向 身近な森林とそれを支える社会づくりのために、さらに取組を広げて行く必要があります。

<u>整理番号</u> 325 - (会計)01一般会計(款)06農林業費(項)02林業費(目)02林業振興費(大事業)06みえ森と緑の県民税市町交付金事業

決算書頁 267

-		<u>-</u>						
		コード	名称		事業期間		会計-	款-項-目-大事業-中事業
基	施策	322	森林や里山を大切にし、林業を元気にする	H16	年度~	R2 年	度 0	1-06-02-02-06-03
个信	基本事業	2	木材の利用促進	担当	部	・課名等	F	評価責任者·連絡先
報	事務事	業名	伊賀の森っこ育成推進事業		産業振興部農林振興課			課長 小林 康志 0595-22-9712
								0000 EE 071E

							0393-22-9712
	対	象	市内小中学生				
	目	的	次世代を担う子どもたちの森林環境	竟への理解と関心を深	める		
			1学級あたり10万円を上限として、	森林環境・林業等に関	する学習活	・動・体験活動などに対して補	i助を行いました。
			12団体 1,782,037円				
	内	容					
==							
務							
事業							
事務事業の概要							
概要			経費	金額		摘要	
			   負担金、補助及び交付金	1 782 037円	伊賀の森を	っこ育成推進事業補助金	
				1,702,007	D 52 07 AA	20日次正定于太阳30亚	
	事業に	要した					
	主なな	経費 ビ					
	رم	۷					
			計	1,782,037円			

			項目		R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	出金	2,392	3,500	1,782	3,000	みえ森と緑の県民税市町交付金 1,782,037円
全体コスト		接	地方債	責	0	0	0	0	
		接事	その化	<del>p</del>	0	0	0	0	
		業費	一般財源		0	0	0	0	
			合計(A	)	2,392	3,500	1,782	3,000	
	事業費		正規職員	業務量	0.15 人	0.15 人	0.15 人	0.15 人	
		人	正况聊貝	人件費	1,170	1,172	1,172	1,165	
( H	賀		再任用職員	業務量	人	人	人	人	
千円)		件	丹江川城兵	人件費	0	0	0	0	
		費	会計年度任	業務量	人	人	人	人	
			用職員	人件費		0	0	0	
			小計(B)		1,170	1,172	1,172	1,165	
			合計(A+B	)	3,562	4,672	2,954	4,165	
	市	民1人	、当たりのコス	ト(円)	39	52	33	47	

	指標名	指標の説明	単位	/	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	補助金申請団体数	当該補助金の申請団体数	団体	目標		35	35	35
標	<b>開</b> 切並中 <b>謂</b> 凹体致	国該開助並の中間団体数	ᆁိ	実績	16	19	16	12
	指標化できない成果			達成		54.2%	45.7%	34.3%

継続向

課題及び改善

平成26年度から始まった制度で、今後の申請状況や社会情勢等を反映して、より使い勝手が良く効果の高い補助金制度にする必要があります。

<u>整理番号</u> (会計)01一般会計(款)06農林業費(項)02林業費(目)02林業振興費(大事業)06みえ森と緑の県民税市 町交付金事業

決算書頁 267

		コード	名称		事業期間		会計一	款-項-目-大事業-中事業
基	施策	322	森林や里山を大切にし、林業を元気にする	H16	年度~	R2 年度	0	1-06-02-02-06-04
平信	基本事業	2	木材の利用促進	TD 717	部	・課名 等		評価責任者·連絡先
報	事務事	業名	地域の森と緑のつながり支援事業	担当部署	産業振興	部農林振	興課	課長 小林 康志 0595-22-9712

				0000 == 07.1=	
	対 象	住民自治協議会等			
	目的	次世代を担う子どもたちの森林環境	これ できな できな でんり でいない でんしょ しょう はんしょ しょう はんしょ しょう はんしょ しょう はんしょ しょう はんしょ しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう し	そめる	
事務事業の概	内 容	う事業ですが、新型コロナウィルス原申請団体無し 伊賀市の森林・林業の現状把握と構成しました。 三重大研究委託 500,000円	ト環境・林業等に関する学習活動・体験活動などに対して補助を 申請がありませんでした。 出コスト及び木質バイオマスの搬出促進に寄与する報告書を作 けるPR活動を実施出来なかったため、三重県伊賀庁舎及び伊賀 なを設置する期間を設けて周知を行いました。	乍	
要要		経費	金額	摘要	
	事業に要した 主な経費 など	負担金、補助及び交付金 委託料	500,000円	地域の森と緑のつながり支援事業補助金 三重大研究委託	
		計	500,000円		

			項目		R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	金出	800	975	500	981	みえ森と緑の県民税市町交付金
		接	地方侵	Ę	0	0	0	0	500, 000円
		接事	その他	<u>ի</u>	0	0	0	0	
全 体		業費	一般財	源	0	0	0	0	
体コ		貝	合計(A)		800	975	500	981	
ス	事業費		正規職員	業務量	0.15 人	0.15 人	0.15 人	0.15 人	
7				人件費	1,170	1,172	1,172	1,165	
<b>1</b>	費	人	再任用職員	業務量	人	人	人	人	
H		件	<b>丹</b> 位用噸貝	人件費	0	0	0	0	
)		費	会計年度任	業務量	人	人	人	人	
			用職員	人件費		0	0	0	
			小計(B	)	1,170	1,172	1,172	1,165	
			合計(A+B)		1,970	2,147	1,672	2,146	
	市民1人当たりのコスト(円)				22	24	19	25	

	指標名	指標の説明	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	補助金申請団体数	当該補助金の申請団体数	団体	目標		10	10	8
標	<b>開助並中</b> 調凹体数	ヨ該補助並の中間団体数	四件	実績	6	6	6	0
	指標化できない成果			達成		60.0%	60.0%	0.0%

方 継続 向 課 地域住民が森林・林業にふれ合う機会が少なくなってきており、地域における森林環境・林業に関する教育活動を支援 題 することで、地域住民や子どもたちが共に森林・林業等への関心を持ち、身近な生活における森と緑のつながりを感じら 及 れるように今後も事業を推進します。 び 改

整理番号 決算書頁 (会計)01一般会計(款)06農林業費(項)02林業費(目)02林業振興費(大事業)06みえ森と緑の県民税市 327 267 町交付金事業 名称 事業期間 会計-款-項-目-大事業-中事業 コード 施策 322 森林や里山を大切にし、林業を元気にする H16 年度~ R2 年度 01-06-02-02-06-05 基本事業 2 木材の利用促進 部・課名 等 評価責任者•連絡先 担当 課長 小林 康志 事務事業名 みえ森と緑の県民税市町交付金基金事業 部署 産業振興部農林振興課 0595-22-9712 対 象 みえ森と緑の県民税市町交付金のうち、一般会計歳入歳出予算で定める額 目 的 災害に強い森林づくり及び市民全体で森林を支える社会づくりを推進する施策に要する経費の財源に充てる みえ森と緑の県民税市町交付金 2, 345, 503円 みえ森と緑の県民税市町交付金基金運用益 42,775円 内容 経費 金額 摘要 積立金 2,388,278円 みえ森と緑の県民税基金積立金 事業に要した 主な経費 など 計 2,388,278円

			項目		R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	金出	5,554	0	2,345	0	みえ森と緑の県民税市町交付金
		接	地方債	Ę	0	0	0	0	2, 345, 503円 みえ森と緑の県民税市町交付金基金運用益
		事	その他	<u>þ</u>	0	1	43	12	
全体		業費	一般財	源	0	0	0	0	
体コ		貝	合計(A)		5,554	1	2,388	12	
コス	事業費		正規職員	業務量	0.01 人	0.01 人	0.01 人	0.01 人	
7			止况삓貝	人件費	78	79	79	78	
( <del>H</del>	費	人		業務量	人	人	人	人	
千円		件		人件費	0	0	0	0	
)		費	会計年度任	業務量	人	人	人	人	
			用職員	人件費		0	0	0	
			小計(B	)	78	79	79	78	
			合計(A+B)		5,632	80	2,467	90	
	市民1人当たりのコスト(円)			ト(円)	62	1	28	2	

	指標名	指標の説明	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指				目標				
標	<del>_</del>	_	_	実績	_	_	_	_
	指標化できない成果 基	金積立金は指標化不可		達成		_	_	_

方 継続 向

題及び改

森林環境譲与税基金への積立金です。

整理番号(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)02林業費(目)02林業振興費(大事業)06みえ森と緑の県民税市328 -町交付金事業

決算書頁 267

		, , ,	1並 千 木					
		コード	名称			会計-款-項-目-大事業-中事業		
基	施策	322	森林や里山を大切にし、林業を元気にする	H16	年度~	R2 年度	0	1-06-02-02-06-06
个情	基本事業	2	木材の利用促進	担当	部。	・課名 等		評価責任者·連絡先
報	事務事	丵夂	未利用間伐材バイオマス利用推進事業		産業振興	ᅉᄬᅓᄬ	三郎 钽	課長 小林 康志
	尹仂尹	未口	小利用間及物が17、八利用推進事業	部署		叩炭イヤイル	水央杯	0595-22-9712

報	事務事業名	未利用間伐材バイオマス利用推進	事業	部署	産業振興部農林振興課	課長 小林 康志 0595-22-9712		
	対 象	未利用間伐材搬出者						
	目的	未利用間伐材利用を促進して林地	残材の減少を図り、森	林所有者等	等による森林整備につなげる			
発電用チップに係る間伐材等由来の木質バイオマス証明材を、市内の木質バイオマス発電証明ガイドライン 買い取ってもらうために必要な搬出、及び運搬に要する経費の一部を助成しました。 間伐材等由来の木質バイオマス証明材:1t当たり 2,500円 搬出量:2332.54t								
概要		経費	金額		摘要			
		負担金、補助及び交付金	5,831,350円	未利用間伐	材バイオマス利用推進事業補助	助金 		
	事業に要した 主な経費 など	役務費	5,460円 🗄	事業推進に	こ係るアンケートの返信用や	刀手		

			項目		R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	出金	3,883	5,000	5,837	5,000	みえ森と緑の県民税市町交付金
		接	地方債	ŧ	0	0	0	0	5, 836, 810円
		事	その化	<u> </u>	0	0	0	1,000	
全 体		業費	一般財源		0	0	0	0	
	事業費		合計(A	)	3,883	5,000	5,837	6,000	
コス			正規職員	業務量	0.15 人	0.15 人	0.15 人	0.15 人	
7		人		人件費	1,170	1,172	1,172	1,165	
<b>1</b>	費		再任用職員	業務量	人	人	人	人	
H		件		人件費	0	0	0	0	
)		費	会計年度任	業務量	人	人	人	人	
			用職員	人件費		0	0	0	
			小計(B	)	1,170	1,172	1,172	1,165	
			合計(A+B)		5,053	6,172	7,009	7,165	
	市民1人当たりのコスト(円)				56	69	78	81	

5,836,810円

計

	指標名	指標の説明	単位	/	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	搬出量	補助対象となった未利用間伐		目標		2,000	3,000	2,000
標	加山 里	材の搬出量	,	実績	874	1,062	1,553	2,333
	指標化できない成果			達成		53.1%	51.8%	116.7%

充 充実 向 課 森林資源の活用方法の検討及び材木搬出コスト等の検証結果と、マルタピア出荷協力会からの要望内容を踏まえて、 題 令和3年度の補助金単価を1トン当たり3,000円で設定しました。森林の適正な管理及び未利用間伐材の有効な利活用 及 を更に促進していく為に、搬出量及び林業従事者の増加を図ります。 び 改 幸 整理番号 (会計)01一般会計(款)06農林業費(項)02林業費(目)02林業振興費(大事業)06みえ森と緑の県民税市町交付金事業

決算書頁 267

		-, _	1 = 7 ×					
		コード	名称		事業期間		会計一	款-項-目-大事業-中事業
基	施策	322	森林や里山を大切にし、林業を元気にする	H16	年度~	R2 年度	0	1-06-02-02-06-07
个信	基本事業	2	木材の利用促進	±0.714	部	・課名 等		評価責任者·連絡先
報	事務事			担当 部署	産業振興	部農林振	興課	課長 小林 康志 0595-22-9712
								0393-22-9712

報	事務事業名	森のやすらぎ空間整備事業		部署	産業振興部農林振興課	課長 小林 康志 0595-22-9712					
	対 象	市民が木とふれあい、やすらげる空	≧間を創出する。								
	目的	木の薫るやすらぎの街づくりのため	の薫るやすらぎの街づくりのため、伊賀市産木材を利用し街中にやすらげる空間をつくる								
事務事業の概要	内容	事業実施主体(三重とこわか国体信 市内の高校生(白鳳高校工芸部)か 木製カウントダウンだんじり開発に 事業実施主体:三重とこわか国体 箇所:1箇所(ハイトピア伊賀)	「木製カウントダウンだ 半う原材料費・需用費等	んじりを開	発することに対する助成を行	いました。					
要		経費	金額		摘要						
	事業に要した	負担金、補助及び交付金	700,000円 🧃	森のやすら	らぎ空間整備事業補助金						
	主な経費										

					計	70	00,000円		
			項目		R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	出金	578	700	700	700	みえ森と緑の県民税市町交付金 700,000円
		接	地方債	ŧ	0	0	0	0	
		事	その他	<del>p</del>	0	0	0	0	
全 体		業	一般財源		0	0	0	0	
体コ	事	費	合計(A	)	578	700	700	700	
コス			正規職員	業務量	0.10 人	0.10 人	0.10 人	0.10 人	
7	事業費			人件費	780	782	782	777	
(F	費	人	再任用職員	業務量	人	人	人	人	
円		件	丹江川嶼貝	人件費	0	0	0	0	
: )		費	会計年度任	業務量	人	人	人	人	
			用職員	人件費		0	0	0	
			小計(B	)	780	782	782	777	
			合計(A+B	3) 1,358		1,482	1,482	1,477	
	市民1人当たりのコスト(円			ト(田)	15	17	17	17	

	指標名	指標の説明	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	整備箇所数	森のやすらぎ空間を整備した	箇所	目標		10	3	3
標	金 佣 固 別 致	箇所数 	固別	実績	10	11	3	1
	指標化できない成果			達成		100.0%	100.0%	33.3%

方 継続 向

など

課 人に安らぎを与えるなど森林が持っている多面的機能を市民の方に周知して森林整備の重要性を認識してもらうこと、題 及び伊賀産材を使用するなどして木製品を高校生と共同で開発するなど、森を育む社会づくりを進めるための事業の継及 続を行います。 び 改 <u>整理番号</u> (会計)01一般会計(款)06農林業費(項)02林業費(目)02林業振興費(大事業)06みえ森と緑の県民税市 町交付金事業

決算書頁 267

		コード	名称		事業期間		会計一	款-項-目-大事業-中事業
基	施策	322	森林や里山を大切にし、林業を元気にする	H16	年度~	R2 年度	0	1-06-02-02-06-09
个信	基本事業	2	木材の利用促進	TD 717	部	課名 等		評価責任者·連絡先
報	事務事	業名	親子ではじめる木育推進事業	担当部署	産業振興部農林振興課		興課	課長 小林 康志 0595-22-9712

報	事務事業名	親子ではじめる木育推進事業		部署	産業振興部農林振興課	課長 小林 康志 0595-22-9712
	対 象	伊賀市に住む幼児				
	目的	幼児期から木のぬくもりに触れる機	会をあたえることで、「ス	木育」のき	つかけを作る	
事務事業の概要		健やかな子どもの成長と地球環境のました。 ・出生届提出時、保健師による1歳で地域材の木製のスプーンもしくは出生届提出時(木製フォトフ1歳6ヶ月児健診(木製スプー:3歳児健診 (木製子ども、※ 平成30年度より「親子ではじん	6ヶ月児の健診と3歳児 、子ども用の箸をプレセ レーム) ン) 用箸)	きの健診に ダントしまし	あわせて、親子ともに木のぬ た。	くもりを共有できる物とし
要		<b>経費</b>	金額		摘要	
		需用費			木製フォトフレーム 520本	
					木製スプーン 540本	
			· ·		木製子ども用箸 600膳 -ム表示ラベル、送付用封	· <del>///</del>
	事業に要した 主な経費 など			,	一厶衣小グベル、医刊用到	同
		計	2,334,650円			

			項目		R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	出金	2,330	2,624	2,335	2,778	みえ森と緑の県民税市町交付金 2,334,650円
		接	地方債	ŧ	0	0	0	0	
		事	その化	<u>t</u>	0	0	0	0	
全体		業費	一般財	源	0	0	0	0	
			合計(A	)	2,330	2,624	2,335	2,778	
コスト	事業費		正規職員	業務量	0.10 人	0.10 人	0.10 人	0.10 人	
		人	正烷碱貝	人件費	780	782	782	777	
<b>+</b>	費			業務量	人	人	人	人	
H		件		人件費	0	0	0	0	
)		費	会計年度任	業務量	人	人	人	人	
			用職員	人件費		0	0	0	
			小計(B	)	780	782	782	777	
			合計(A+B)		3,110	3,406	3,117	3,555	
	市民1人当たりのコスト(円)				34	38	35	40	

	指標名	指標の説明	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	木育の推進			目標				_
標	不自の推進	_	_	実績	_	_	_	_
	指標化できない成果木	育の広まりは数値化できない。		達成		_	_	_

方 継続 向 「木育」は森を育む人づくりの基礎であるので、継続して行っていく必要があります。

(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)02林業費(目)02林業振興費(大事業)07森林環境讓与税事業

決算書頁 267

		\ A III	/01 版本面 (奶/00展中不良(克/02中不良(百/02中	~ M > C 3	~ \/ \ T /\/	0 1 10/4 1 1 22	ペラレロス	
		コード	名称		事業期間		会計一	款-項-目-大事業-中事業
基	施策	322	森林や里山を大切にし、林業を元気にする	H16	年度~	R2 年度	0	1-06-02-02-07-01
个信	基本事業	1	間伐等の森林施業の促進	担当	部	課名 等		評価責任者·連絡先
報	<u> </u>		森林環境譲与税事業		産業振興	部農林振	興課	課長 小林 康志 0595-22-9712

報	事務事業名	森林環境譲与税事業		部署	産業振興部農林振興課	誅長 小林 康志 0595-22-9712
	対 象	伊賀市内の森林				
	目的	間伐や人材育成・担い手の確保、ス	k材利用の促進や普及	啓発等の	森林整備及びその促進を行う	j
事務事業の概	内容	れまで手入れが十分に行われ 明確化事業を実施したことにたい がいこより伊賀市未来の山づく	加えて、伊賀市の山の管			
概要		経費	金額		摘要	
		委託料	4,609,000円 え		定林整備調査業務委託料 伊賀森林組合	
	事業に要した		3,020,848円 信		来の山づくり業務委託料	
	主な経費など		7,480,000円 月	<b>卡整備協</b>	伊賀市未来の山づくり協譲 定林整備業務委託 伊賀森林組合	会
		負担金、補助及び交付金			明確化事業補助金	
		積立金	31,489,039円 🕏	森林環境	譲与税基金積立金	
		計	56,228,887円			

			項目		R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	金出金	26,445	56,194	56,196	56,194	森林環境譲与税
		接	地方債	Ę	0	0	0	0	56,196,000円 森林環境譲与税基金利子
		事	その他	<u> </u>	0	1	33	9	8,615円
全		業費	一般財	源	0	0	0	0	森林環境譲与税基金運用収入 24.272円
体コ		貧	合計(A	)	26,445	56,195	56,229	56,203	,
ス	事業費		正規職員	業務量	0.10 人	0.40 人	0.70 人	0.70 人	
7			工况	人件費	780	3,125	5,468	5,435	
Ŷ Ŧ	賀	人	再任用職員	業務量	人	人	人	人	
H		件		人件費	0	0	0	0	
)		費	会計年度任	業務量	人	人	人	人	
			用職員	人件費		0	0	0	
			小計(B	)	780	3,125	5,468	5,435	
			合計(A+B)		27,225	59,320	61,697	61,638	
	市民1人当たりのコスト(円) 297						682	691	

	指標名	指標の説明	単位	/	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	環境林整備面積	間伐により直接的に森林整	L	目標			30	30
標	<sup>杲垷怀</sup> 罡	備を行った面積	ha	実績			38	21
	指標化できない成果			達成			126.6%	70.0%

方 充実 向

令和3年度も継続して未整備協定林の整備と境界明確化を推進していくとともに、伊賀市の森林整備方針を策定し、森 課題及び改

林経営管理制度のモデル地区で制度推進を進めます。 また、伊賀市未来の山づくり協議会において、森林整備・人材育成・担い手の確保・木材利用の促進や普及啓発の取組 を進めるための各部会事業を行います。

整	理番	号	1								決算書頁
332	2 –		(소計	\01 <u></u> — 飢~	計(款)06農林業績	患 / T百 \ ∩ 2 tt 柴 恵	最(日)の対共業値	■ 弗 / + 車	秦/00次川井	★送敕は	= ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ±
			コード	/01一放云	·副 (叔/00辰/休呆) 名称		[[日][[四][[]][[]][[]][[]][[]][[]][[]][[]]	事業其			# <del>                                    </del>
基	施	<del>)</del> 策		森林や里山	」を大切にし、林業を				~ R2 年度		-06-02-02-08-01
本		事業			■ 本施業の促進				部・課名 等		評価責任者•連絡先
基本情報	事	務事		治山林道	-		担部	.当	興部農村整		課長 岩野 庄司 0595-22-9718
		対	象	対象林道の	)受益者						
		目	的	緊急自然災	<b>〔</b> 害防止対策事業債	により、林道の多	安全対策を行う				
事務事業の概要		市が管理する山林への重要な路線であるシデノ木原線について、近年の豪雨等の影響通行不能となる恐れがある事から緊急対策が必要な施設の保全工事を実施した。 ・林道シデノ木原線道路整備測量設計業務 N=2箇所 ・緊急自然災害防止対策事業で林道シデノ木原線道路整備工事で橋台根固め工N=2箇内 容				<b>込た。</b>					
概					奴弗	全分	百			# <b>F</b>	
		<b>美に</b> 要なを なと		委託料 工事請:	負費 計	17,43	5,000円 林道塾	ンデノ木原線道 を備工事費	業測量設計 資路整備測量記 業 林道シデノ木原	計業務委	熊託 2,002,000円
•			Т	頁目	R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	D3年度当初	名質 性記車項	冒入增/结	算基礎、特定財源の名称等)
		_,		県支出金	TOU FIXING	0	0		0 大山田財		
		直接		地方債		0	17,600		0		
		事		その他		0	1,818		0		
全		業		一般財源		0	19		0		
体		費		合計(A)	0	0	19,437		0		
全体コスト	#			業務		人	0.20 人		<del>_</del> <del>_</del> <del>_</del>		
<u>۲</u>	事業費		正規	職員 人件		0	1,563		0		
•	費	ı		業務		人	人		<del>_</del>		
(千円		件	再任用	月職員 人件		0	0		0		
H		費	会計年		_	人 人	人		<del>_</del>		
			田耶	- / L		0	0		0		
				<u>が</u> 小計(B)	0	0	1,563		0		
				(A+B)	0	0	21,000		0		
	市月	<u> </u>		<u>(ス・B)</u> のコスト(円		0	232		0		
	٦ ١١٠		ヒー		/   ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	- 1			では20年度		

	П III (/ ( 1 D /	J	Ŭ		21,000	J		
	市民1人当たりのコスト	(円) 0	0		232	0		
	指標名	指標の説明	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
推	数件ですの字板地区数	当該年度に実施する地区数	地区	目標				1
標		当該年度に美肥りる地区数	地区	実績				1
	指標化できない成果			達成				100.0%

方 完了	課 題 及 び · 改		
	善 案		

整理番号 333 -

(会計)01一般会計(款)07商工費(項)01商工費(目)02商工振興費(大事業)01商工業振興経費

決算書頁 269

		\ <u> </u>	70. 从五日(杨(70)日二支(天)01日二支(日70日日二	PLAT 454 .		1. 5	~ ~ ~ ~ ~ ~	
		디	名称		事業期間		会計一	款-項-目-大事業-中事業
基	施策	332	商工業活動を盛んにする	H16	年度~ R2 年度		0	1-07-01-02-01-01
个信	基本事業	1	商工業活性化支援事業	担当	部・課名 等			評価責任者·連絡先
報	事務事	業名	商工振興経費		産業振興	部商工労	·働課	課長 前川 博善 0595-22-9669
								0090-22-9009

	対 象	関	係団体及び事業者			
	目的	伊	賀市の商工業の振興・発展のた	め、関係団体や事業	者に対し支援を行う	
事務事業の	内 容	実日に 【1中担業	施する事業に対し補助金を交付本政策金融公庫経営改善貸付制対し、三重県信用保証協会へ支 到担金、補助事業等】 小企業相談業務負担金(上野商金、三重県産業支援センター負担を	しました。 制度の設備資金利用 払った保証料の補助 工会議所)、三重県計 日金、商工会議所事業	業者に対して、商工業の育成と発展を図ることを目 者への利子補給補助や小規模事業資金金融制度を行いました。 計量協会負担金、日本貿易振興会三重県情報セニ 業費負担金、中小企業振興事業資金利子補給補 起業・事業承継促進事業補助金、地域総合整備	きの資金利用者 ンター事業運営負 助金、小規模事
概更			経費	金額	摘要	
*			需用費	223,619円	消耗品費	32,274円
					印刷製本費	191,345円
			役務費	17,976円	通信運搬費	
	事業に要した		委託料	,	商業後継者育成事業委託料(委託先:上野商工会議所)	
	主な経費		使用料及び賃借料	· ·	事業所情報発信支援サイト利用料	
	など		負担金、補助及び交付金	49,166,808円	中小企業相談業務負担金 他9件	
			<u>ā</u> †	50,429,603円		

			項目		R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	出金	2,345	3,000	3,000	1,500	地方創生推進交付金 3,000円
		接	地方債	ŧ	0	0	0 0		
		接事	その他	<u>t</u>	0	0	0	5,800	
全 体	事業費	業費	一般財	源	48,111	50,085	47,430	43,000	
体コ		貝	合計(A)		50,456	53,085	50,430	50,300	
コス		入	正規職員	業務量	1.00 人	1.00 人	1.00 人	0.32 人	
7				人件費	7,796	7,811	7,811	2,485	
Ŧ			再任用職員	業務量	人	人	人	人	
H		件		人件費	0	0	0	0	
)		費	会計年度任	業務量	人	人	人	人	
			用職員	人件費		0	0	0	
			小計(B	)	7,796	7,811	7,811	2,485	
			合計(A+B)	)	58,252	60,896	58,241	52,785	
	市民1人当たりのコスト(円)				636	673	644	592	

	指標名	指標の説明	単位	/	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	商工会議所•商工会会員	商工会議所・商工会会員数	企業	目標		2,250	2,250	2,250
標	数		止未	実績	2,118	2,098	2,160	2,195
	指標化できない成果			達成		93.2%	96.0%	97.5%

改善

上野商工会議所や伊賀市商工会等、関係団体とともに、中小商工業者の育成支援を行う。 また、起業支援などの各種補助制度についても、適宜、社会情勢等を踏まえた見直しを図っていく。 課題及び改善

整理番号
334 - (会計)01一般会計(款)07商工費(項)01商工費(目)02商工振興費(大事業)01商工業振興経費

計

決算書頁 269

		コード	名称	,,,,,	事業期間会計·					-款-項-目-大事業-中事業		
基		- 1	*									
李	施策	311	観光客を呼び込み、もてなす		H16	年度~	R2	年度	0	1-07-01-02-01-0	ევ	
平	基本事業	2	地域全体で観光客を受け入れる態勢づくり	10	N/	部・課名 等				評価責任者·連	絡先	
報	報 事務事業		地場産業振興事業		当 署	産業振興部商工労働課			働锂	課長 前川 博	善	
	デカデ	未也	记 <b>勿</b> 在未派 <del>兴</del> 事未	н		<b>庄未派</b> 积	마마.	<u> </u>	助坏	0595-22-96	69	

報	事務事業名	地場産業振興事業		部署	産業振興部商工労働課	課長 前川 博善 0595-22-9669						
	対 象	特産品生産者、物産振興団体										
	目的	g域物産のPRを行い、販売実績の向上により、業績安定及び地域の雇用増を図る										
事務事業の概要	内 容	・伊賀焼振興協同組合に伊賀焼伝 つりはコロナ禍で中止しましたが、付 に努めました。 ・地場産業の振興を図るため、伊賀 トが全て中止したため委託料の返む	他の伝統的工芸品展イ 『市物産協会へ地場産!	ベントや年	間を通じて陶芸教室を開催す	するなど、伊賀焼の普及						
更		<b>経費</b>	金額		摘要							
		需用費	871,748円 🦻			85,248円						
		伊賀焼伝統産業会館指定管理料	4,248,000円		ン取替・消防設備修繕、伝統伝承館排煙窓・浄化槽ポンプリ	786,500円						
1	事業に要した	伝統的工芸品産業振興協会負担金	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		<b>为工芸品産業振興協会</b>							
	<del>事業に安した</del> 主な経費 など	伝統的工芸品産業振興補助金	560,000円 3	三重県組紐	±協同組合•伊賀焼振興協同線	組合						

	/		項目		R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	出金	0	0	0	0	
		接	地方債	責	0	0	0	0	
		接事	その化	<u>t</u>	0	0	0	0	
全体		業費	一般財	源	8,231	6,352	5,730	6,901	
体コ		負	合計(A)		8,231	6,352	5,730	6,901	
コス	事業費	人	正規職員	業務量	0.45 人	0.45 人	0.45 人	0.45 人	
۲				人件費	3,509	3,515	3,515	3,494	
<b>1 1</b>			再任用職員	業務量	人	人	人	人	
H		件		人件費	0	0	0	0	
· ·		費	会計年度任	業務量	人	人	人	人	
			用職員	人件費		0	0	0	
			小計(B	)	3,509	3,515	3,515	3,494	
			合計(A+B	)	11,740	9,867	9,245	10,395	
	市	民1人	、当たりのコス	ト(円)	129	109	103	117	

5,729,748円

	指標名	指標の説明	単位	/	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	物産展・催事の売上高	物産展等での売上高	千円	目標		3,800	5,000	5,000
標	初度版・惟争の元工同	初度展帯での元工商	713	実績	4,295	5,448	2,060	0
	指標化できない成果物	上	達成		143.4%	41.2%	0.0%	

改善改善

課 コロナ禍で出席予定していた物産展・催事等のイベントが全て中止した。未だ新型コロナウイルスの終息の目途が立た 題 ない状況であるが、地場産振興に係る事業取組みを検討したい。 及 び 改 改 整理番号
335 - (会計)01一般会計(款)07商工費(項)01商工費(目)02商工振興費(大事業)02企業立地促進経費

計

決算書頁 271

=		\ A III	/01 股公司(款/0/周工员(资/01周工员(日/02周工			<u> </u>	<u>ا نام تت</u>		154	
		コード	名称		事業期間		至	会計一詩	次-項-目-大事業-	中事業
基	施策	341	地域の特性を活かした新たな産業を創出する	H16	年度~	R2	年度	01	-07-01-02-02-	01
个情	基本事業	1	企業立地促進事業 部・課名等 担当						評価責任者•連	絡先
報	事務事	<b>坐</b> 夕	3 企業立地促進経費		産業振興	业 25 −	丁学俑	課長 前川		善
	子切于	<b>本</b> 石	正术工作人是性负		産業振興部商工党			*/ I/A	0595-22-96	69

報	事務事	業名	企業立地促進経費		部署	産業振興部商工労働課	課長 前川 博善 0595-22-9669
	対	象	伊賀市に新規立地もしくは増設した	-企業			
	目	的	企業の立地を促進し、地域雇用の	拡大を図る			
事務事業の概要	内	容	伊賀市工場誘致条例に規定する紫 しました。	経励措置により、民間遊	休地等への	の企業誘致並びに既存施設で	での増設等について支援
概要			<b>経費</b>	金額		摘要	
$\sim$			旅費			等職員旅費	
			需用費	143,029円			
			役務費	,		(企業誘致アンケート調査後納郵係)	,
	事業に	要した	14 - 41 - 48 - 114			ンケート調査対象抽出業務手	数料 217,250円
	主な紀		使用料及び賃借料	· ·	有料道路		
	- なる		負担金、補助及び交付金	· · · ·		O特別会員負担金	300,000円
						助成金(3件)	19,182,500円
					立地奨励:		72,069,050円
					准用促進:	奨励金(9件、61名)	7,320,000円

			項目		R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	出金	0	0	0	0	
		接	地方債	ŧ	0	0	0	0	
		接事	その化	<u>t</u>	0	0	0	0	
全 体	事業費	業費	一般財源		89,716	109,388	99,280	90,772	
体コ		貝	合計(A)		89,716	109,388	99,280	90,772	
コス			正規職員	業務量	0.70 人	0.70 人	0.70 人	0.70 人	
7				人件費	5,458	5,468	5,468	5,435	
Ŧ		人	再任用職員	業務量	人	人	人	人	
H		件		人件費	0	0	0	0	
. )		費	会計年度任	業務量	人	人	人	人	
			用職員	人件費		0	0	0	
			小計(B	)	5,458	5,468	5,468	5,435	
			合計(A+B	)	95,174	114,856	104,748	96,207	
	市民1人当たりのコスト(円)				1,039	1,269	1,157	1,078	

99,279,062円

	指標名	指標の説明	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	雇用促進奨励金の対象	伊賀市工場誘致条例に規定する雇用促進奨励措置の適	1	目標		33	22	20
標	人数	用人数	^	実績	58	31	19	61
	指標化できない成果			達成		93.9%	86.3%	305.0%

方 維続 向 課題及び改

市税の増収や若者の雇用拡大につながるよう、積極的な情報提供等により企業誘致を進める。 そのためにも民間遊休地を含め誘致に適した用地の確保が必要である。 <u>整理番号</u> (会計)01一般会計(款)07商工費(項)01商工費(目)02商工振興費(大事業)03中心市街地等商店街活性 化事業

決算書頁 271

			<del>*</del>								
		コード	名称		事業期間				会計一	款-項-目-大事業-中事業	
基		332	商工業活動を盛んにする	H	H16	年度~	R2	年度	01-07-01-02-03-01		
本	基本事業		商工業活性化支援事業	担当	,	部・課名 等				評価責任者·連絡先	
報	事務事	業名	中心市街地等商店街活性化事業			産業振興部	部商	工労	働課	課長 前川 博善 0595-22-9669	
	対	象	中心市街地の商店及び商店街、上野商工会議所、まちづくり伊賀上野等								
	目	的	商店街などの誘客活動を支援することで、中心市街地にお	等の通行	量を	増加る	させ、に	ぎわい回復を目指します			

○各商店街等が実施するにぎわい創出に繋がる事業に対し支援を行いました。 1. 城下町の灯り事業

「伊賀上野灯りと忍びの城下町」イベントによる商店街の活性化、市街地店舗の集客支援

コロナ禍で例年実施事業を中止し、伊賀上野NINJAフェスタ実行委員会、お城の周りライトアップイベント実施委員会と合同で当イベントを実施。(来場者数:約3,000人)

2. 伊賀上野まちなかゼミナール開催事業

商店主の持つ専門知識を伝えることによる商店街(商店主)の魅力向上と誘客による活性化参加(受講)者数:73人、開催店舗数:13事業所(16講座)

内 容 | 参加(支講) 看数: /3人、開催局 3. 銀座商店街賑わい創出事業

銀座七夕まつり、クリスマス、初えびす等のイベント開催による年間を通じた商店街の賑わい創出

4. 灯りの芭蕉路事業

コロナ禍で例年実施事業を中止。灯りをテーマにしたイベントの開催による商店会の活性化 (来場者数:約3,000人)

		金額	摘要	
	補助金	837,147円	城下町の灯り事業	220,911円
			まちゼミ開催事業	225,027円
			銀座商店街賑わい創出事業	365,000円
古光1-五14			灯りの芭蕉路事業	26,209円
事業に要した主な経費				
エな柱負など				
.6.2				
	計	837,147円		

			項目		D二左由边答	R2年度当初予算	R2年度決算	DO左在少切圣符	性司事項引 1 棚/建筑甘林 性中間流の名がない
					R元年度決算	R2年及ヨ彻卫昇	RZ年及沃昇	R3年及ヨ彻丁昇	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	金出金	0	0	0	0	
		接	地方侵	Ę	0	0	0	0	
		事	その他	F G	0	1,300	0	1,150	
全		業費	一般財源		1,175	1,850	838	1,850	
全体コス			合計(A)		1,175	3,150	838	3,000	
コス	業費	人	正規職員	業務量	0.35 人	0.35 人	0.35 人	0.35 人	
۲				人件費	2,729	2,734	2,734	2,718	
<u>+</u>			再任用職員	業務量	人	人	人	人	
千円		件		人件費	0	0	0	0	
· ·		費	会計年度任	業務量	人	人	人	人	
			用職員	人件費		0	0	0	
			小計(B	)	2,729	2,734	2,734	2,718	
			合計(A+B	)	3,904	5,884	3,572	5,718	
	市民1人当たりのコスト(円)				43	65	40	65	

	指標名	指標の説明	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	歩行者通行量	中心市街地における歩行者、	ı	目標		4,450	4,525	4,200
標	少1] 有週1] 里	自転車の通行量	^	実績	5,003	4,055	5,269	3,853
	指標化できない成果			達成		91.1%	116.4%	91.7%

方 継続 向

及び

中心市街地のにぎわい創出のために必要な事業であるため、今後も継続して実施していく。

整理番号 337 - (会計)01一般会計(款)07商工費(項)01商工費(目)02商工振興費(大事業)04交流促進施設維持管理経費

決算書頁271

		~								
		コード	名称			事業期間			会計一	款-項-目-大事業-中事業
基	施策	721	健全な財政運営		H16	年度~	R2 4	年度	0	1-07-01-02-04-01
一件	基本事業	2	公有資産の有効活用	10	部·課 担当			等		評価責任者·連絡先
報	事務事業名		交流促進施設維持管理経費			产業 振 闘 :	如去っ	- 坐	<b>価</b> 理	課長 前川 博善
						産業振興部商工労			助坏	0595-22-9669
	<b>5</b> 4		<b>送の即ちりま利田孝</b>							

事務事業名	交流促進施設維持管理経費		部署	産業振興部商工労働課	課長 前川 博善 0595-22-9669							
対 象	道の駅あやま利用者											
目的	道の駅の利用者に対し、地域情報を	を提供するとともに、地	域産業の拡	<b>辰興を図る</b>								
	阿山交流促進施設(道の駅あやま)の運営、施設及び設備の維持管理を行うため、阿山物産振興協同組合へ指行いました。 【指定管理内容】 道の駅利用者に対し、地域情報や道路情報等を提供するとともに、トイレ等の休憩施設の提供を行いました。											
内 容												
	経費	金額		摘要								
事業に要した 主な経費 など	委託料 負担金、補助及び交付金	70,000円 🖪	中部ブロック	ケ「道の駅」連絡会会費	50,000円 20,000円							
	対 目 内 内容 に経費した	対 象 道の駅あやま利用者 目 的 道の駅の利用者に対し、地域情報を行いました。 【指定管理内容】 道の駅利用者に対し、地域情報や対 の駅利用者に対し、地域情報や対 を 経費 委託料 負担金、補助及び交付金 事業に要した 主な経費	対象 道の駅あやま利用者 目的 道の駅の利用者に対し、地域情報を提供するとともに、地阿山交流促進施設(道の駅あやま)の運営、施設及び設備行いました。 【指定管理内容】道の駅利用者に対し、地域情報や道路情報等を提供するの駅利用者に対し、地域情報や道路情報等を提供する場合を表記を表現して、対象を表現れて、対象を表現りでする。まれて、対象を表現して、対象を表現れて、対象を表現のでする。まれて、対象を表現を表現れて、対象を表現れて、対象を表現れて、対象を表現れて、対象を表現れて、対象を表現れて、対象を表現れて、まれて、対象を表現を表現を表現れて、まれて、	事務事業名 交流促進施設維持管理経費 部署  対 象 道の駅あやま利用者  目 的 道の駅の利用者に対し、地域情報を提供するとともに、地域産業の担所でいました。  「指定管理内容」 道の駅利用者に対し、地域情報や道路情報等を提供するとともに、対象を表現である。  「おったでは、地域情報や道路情報等を提供するとともに、対象を表現である。  「おったでは、地域情報や道路情報等を提供するとともに、対象を表現である。  「おったでは、地域情報や道路情報等を提供するとともに、対象を表現である。  「本書館では、地域情報や道路情報等を提供するとともに、対象を表現である。  「本書館では、地域情報を提供するとともに、地域産業の対象が表現である。  「おったでは、地域情報を提供するとともに、地域産業の対象が表現である。  「おったでは、地域産業の対象が表現である。」  「おったでは、対象が表現である。」  「本書館では、地域情報を提供するとともに、対象を表現である。」  「本書館では、対象が表現である。」  「本書館では、地域産業の対象が表現である。」  「本書館では、、地域産業の対象が表現である。」  「本書館では、、地域産業の対象が表現である。」  「本書館では、、地域産業の対象が表現である。」  「本書館では、、地域産業の対象が表現である。」  「本書館では、、地域産業の対象が表現である。」  「本書館では、、地域産業の対象が表現である。」  「本書館では、、地域産業の対象が表現である。」  「本書館では、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	対 象 道の駅あやま利用者 目 的 道の駅の利用者に対し、地域情報を提供するとともに、地域産業の振興を図る 阿山交流促進施設(道の駅あやま)の運営、施設及び設備の維持管理を行うため、阿山物産振興行いました。 【指定管理内容】 道の駅利用者に対し、地域情報や道路情報等を提供するとともに、トイレ等の休憩施設の提供を 内 容							

									al .
	/		項目		R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	出金	0	0	0	0	
		接	地方債	責	0	0	0	0	
		接事	その化	<u>t</u>	0	0	0	0	
全 体		業費	一般財	源	5,068	4,147	3,737	4,052	
体コ		負	合計(A	)	5,068	4,147	3,737	4,052	
コス	業費		正規職員	業務量	0.17 人	0.17 人	0.17 人	0.17 人	
F		人		人件費	1,326	1,328	1,328	1,320	
Ŧ			再任用職員	業務量	人	人	人	人	
H		件		人件費	0	0	0	0	
		費	会計年度任	業務量	人	人	人	人	
			用職員	人件費		0	0	0	
			小計(B	)	1,326	1,328	1,328	1,320	
			合計(A+B	)	6,394	5,475	5,065	5,372	
	市	民1人	、当たりのコス	ト(円)	70	61	56	61	

3,736,667円

	指標名	指標の説明	単位	/	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	施設利用者数	施設全体の利用者数(推計 値)	ı	目標		240,000	240,000	240,000
標	<b>心政利用有数</b>	※物産コーナー利用者×4人	<	実績	250,200	235,524	222,976	168,888
	指標化できない成果			達成		98.1%	92.9%	70.3%

方 改善 向 近隣の集客施設との連携を深めるとともに、周辺施設との機能的一体的な管理手法等の検討を進める。

整理番号 (会計)01一般会計(款)07商工費(項)01商工費(目)02商工振興費(大事業)05産学官連携研究開発拠点 338 運営経費

決算書頁 271

	//	コード	名称				会計-	款-項-目-大事業-中事業	
基	施策	341	地域の特性を活かした新たな産業を創出する		6 年度~	~ R2 年度 0		01-07-01-02-05-01	
平標	基本事業	2	産学官連携新産業創出事業	10.14	部	• 課名 等		評価責任者•連絡先	
報	事務事業名		産学官連携研究開発拠点運営経費	担当部署	産業振興	<b>郭商工学</b>	課長 前川 博善		
			连子日建榜研九册先拠点建呂莊賀 		/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /	中间工力	脚环	0595-22-9669	

報	事務事業名	産学官連携研究開発拠点運営経費	Ę	部署	産業振興部商工労働課	課長 前川 博善 0595-22-9669					
	対 象	伊賀地域で起業を考えている個人	及び2次創業を考えて	いる法人							
	目的	地域資源の活用による地域産業の	活性化と新産業の創む	H.							
事務事業の概	・市内外事業者等9件の共同研究・技術相談を実施したほか、理科教育振興のための出前授業実践など、地域産業の活性化とともに次世代の育成に取り組みました。 ・小学生を対象としたこども大学を年2回開催し、理科系人材育成に向けた理科実験授業を行いました。 第22回・第23回:参加人数ともに約40名 ・創業・起業等の相談・訪問を約150件行いました。 ・インキュベーション室への新規入居が1件あり、インキュベーションマネージャーによる経営アドバイスが随時行われています。  内容										
要		経費	金額		摘要	th shall					
		使用料及び賃借料 負担金、補助及び交付金	· ·		隽研究開発拠点駐車場賃俑 携研究開発拠点運営補助						
		貝担亚、州助及び文刊並	10,010,400	生于日廷1	厉则九洲九拠总建名ભ助	<u>sir</u>					
	事業に要した主な経費										

					計	17,60	00,406円		
			項目		R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		古	国県:	支出金	0	0	0	0	
		直接事	地	方債	0	0	0	0	
		事	そ(	の他	0	0	0	0	
全 体		業費	一般	財源	17,718	18,099	17,601	18,099	
体コ		貸	合計	(A)	17,718	18,099	17,601	18,099	
コス	事		正規職員	業務量	0.36 人	0.36 人	0.36 人	0.36 人	
7	· 業 費		工	人件費	2,807	2,812	2,812	2,796	
H)	費	人	再任用職	業務量	人	人	人	人	
千円		件	节江川戦	人件費	0	0	0	0	
)		費	会計年度	任業務量	人	人	人	人	
			用職員	人件費		0	0	0	
			小計	(B)	2,807	2,812	2,812	2,796	
			合計(A+	-B)	20,525	20,911	20,413	20,895	

	指標名	指標の説明	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	共同研究の成立数		件	目標		12	12	5
標	共同研究の成立数		1+	実績	10	9	3	3
	指標化できない成果			達成		75.0%	25.0%	60.0%

231

224

方 継続 向

市民1人当たりのコスト(円)

など

市内企業等への取組内容の周知とともに、市民(特に次世代を担うこどもや若者たち)へのPR、啓発活動に力を入れ る。 経費の抑制を図るとともに、当該施設における各種事業への参加者を増やし、施設利用の促進を図る。

226

235

【(会計)01一般会計(款)07商工費(項)01商工費(月)03観光費(大事業)01観光振興経費

決算書頁 271

		コード	名称							款-項-目-大事業-中事業
基	施策	311	観光客を呼び込み、もてなす		H16	年度~	R2	年度	0	1-07-01-03-01-01
个信	基本事業	1	地域ぐるみの観光誘客と情報発信	担旨	l)	部・課名 等				評価責任者·連絡先
報	事務事	丵夂	名 <b>観光戦略経費</b>			産業振興部観光戦略			吹鲤	課長 川部 千佳
	デカデ	未也			- ):				#I IA	0595-22-9670

				0090-22-9070
	対 象	市内、市外及び県外の観光客		
	目的	個人旅行に対応する、体験、交流メニ	ニューや、市内に滞在・バ	・周遊してもらえる商品の開発と情報発信を行い、観光客の増加を図る
事務事業の概	内 容	止となったことから、観光客や市民 23。入館者数1,105名) ・観光誘客促進事業として、KDDI( 実証実験を行いました。(6コンテン ・DMO形成支援負担金としてDMC 費並びに各観光資源の開発・保存 ・DMO事業推進負担金として、観分 ・地域おこし企業人を2名受け入れ	に向けて祭りの様子を 株)に委託し、新たなら ツ制作。「au XR Door」 この体制構築、マーケ と観光客誘致促進を と情報誌作成に係る終 、観光まちづくり企画! や伊賀上野城下町の	は協会に施設管理を委託しました。コロナ禍により上野天神祭が中を楽しんでいただくため、会館の無料開放を行いました。(10/17〜生活様式を踏まえたデジタルプロモーションコンテンツの制作及ひっ」アプリで公開。2/20〜23実証事業において516名が体験)アティングプロモーション、DMO登録課題対応に係る専門家派遣経過のため観光協会各支部事業を支援しました。経費を支援しました。(50,000部+特集版30,000部制作)回塾(参加者40名(観光コンテンツ開発5件、新しいお土産物開発8のまち歩き周遊観光プログラム構築(オリジナルアプリ「時のからく
要		<b>経費</b>	金額	摘要
		修繕料		円だんじり会館設備修繕2,401,080円ほか
		委託料	26,409,705円	円だんじり会館指定管理料 14,260,368円
				観光案内所業務委託料 7,036,217円
	事業に要した			観光誘客促進事業委託料 4,960,000円ほか
	主な経費	工事請負費	, , ,	<b>月上野公園観光食堂屋根防水等改修工事ほか</b>
	など	負担金、補助及び交付金	22,724,000円	PDMO形成支援負担金 5,000,000円
				DMO事業推進負担金 6,292,000円
		スのルタ曲	4.450.504.00	地域おこし企業人事業負担金 7,922,000円
		その他経費	4,153,521円	<b>]</b> 土地建物借上料615,516円、入場料551,100円、積立金1,836,807円ほか
		計	60,162,006円	a

			項目		R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)			
		直	国県支出	出金	8,326	6,962	6,626	1,415	【国県支出金】			
		接	地方債	ŧ		3,200			·地方創生推進交付金 6,626,000円 【その他】			
		事	その化	<del>p</del>	33,255	37,442						
全		業費	一般財源		10,424	17,020	51,620	25,479	・観光振興基金運用収入 1,355,653円 ・寄附金 79,608円			
体「		貝	合計(A)		52,005	64,624	60,162	59,477				
コス	事		正規職員	業務量	3.96 人	4.83 人	4.53 人	5.74 人	・特別交付税措置対象 8,422,000円			
7	業費		正况嶼貝	人件費	30,873	37,728	35,384	44,566				
<b>+</b>	費	人	再任用職員	業務量	人	人	人	人				
H		件	丹口川嶼貝	人件費	0	0	0	0				
)		費	会計年度任	業務量	1.35 人	1.35 人	1.35 人	1.35 人				
			用職員	人件費		2,575	2,575	2,155				
			小計(B	)	30,873	40,303	37,959	46,721				
			合計(A+B	)	82,878	104,927	98,121	106,198				
	市民1人当たりのコスト(円) 904					1,159	1,084	1,190				

	指標名	指標の説明	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	メディア応報実績	各メディアで伊賀市内の観光	件	目標		400	450	300
標	アナイア心報夫領	資源が取り上げられた回数	IT .	実績	441	488	506	318
	指標化できない成果 街	見光関連の経済効果		達成		122.0%	112.4%	106.0%

方

向

継続

・観光地域づくり法人(DMO)を中心とした「持続可能な観光まちづくり」の体制づくりを進めるため、公民連携による取組 体制を確立させます。また、外部人材を積極的に登用し、プロ人材の育成を行うとともに、観光まちづくり企画塾等による 及び改

地域の観光人材の育成を図ります。
・DMOが行うスマートフォンを活用したアンケート結果等に基づき効果的なプロモーションを行い、選ばれる観光地経営 を進めるほか、観光案内機能の充実を図ります。

・多様化する観光ニーズやコロナ禍における新しい生活様式、またDX社会に対応した受け入れ体制整備を進めていき ます。

(会計)01一般会計(款)07商工費(項)01商工費(月)03観光費(大事業)01観光振興経費

決算書頁 271

		「五三	/01 一放云司 (秋/0/尚工复(現/01尚工复(日/03観儿	貝(八字	未川明れ	加兴吐	₹	
		コード	名称		事業期間	款-項-目-大事業-中事業		
基	施策	311	観光客を呼び込み、もてなす	H16	年度~	R2 年度	0	1-07-01-03-01-04
个信	基本事業	1	地域ぐるみの観光誘客と情報発信	担当	部	・課名 等		評価責任者·連絡先
報			観光情報等発信経費		総務部秘	書課		課長 濵村 昭 0595-22-9600

	争伤争未石	宽兀IF		마伯	松份可炒香味	0595-22-9600
	対 象	国内・外の観光客、食材扱い業者				
	目的	伊賀市の観光地や特産品などの情	報を広く発信し、観光	客増加、特	産品の市外への販路を拡大	する
事務事業の概要	内 容	トップセールスによる誘客及び「伊賀 1. 観光誘客のためのPR活動 「伊賀流忍者」「伊賀上野城」「俳聖 ・首都圏(上野恩賜公園)及び大阪 ・伊賀流忍者のPR(日本忍者協調 止 ・テレビへの出演 2. 伊賀産(いがもの)の販売と販路 「伊賀牛」「伊賀米」「伊賀酒」「伊賀 ・首都圏における食材フェア・交流 ・市外イベントや市外・国外からの 3. 地域振興のためのトップセール ・省庁訪問	のPR 「伊賀上野 賀忍者協請 」 のPR →コロナ禍	NINJAフェスタ」への誘客活 養会、三重大学伊賀連携フィ- にて中止	動→コロナ禍にて中止 ールド)→コロナ禍にて中	
要		経費	金額		摘要	
		旅費	· ·		(東京、大阪、埼玉 計2件	)
		需用費	445,984円 🧦	肖耗品費	(記念品等購入)	
		備品購入費	61,600円	記者会見	等用バックパネル	
	事業に要した 主な経費 など					
		計	592,162円			

			項目		R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	金出					
		接	地方債	į					
		接事	その他	<u> </u>					
全 体		業費	一般財源		1,372	1,454	592	1,368	
体コ		貝	合計(A)		1,372	1,454	592	1,368	
ス	事		正規職員	業務量	0.02 人	0.02 人	0.02 人	0.02 人	
7	事業費			人件費	156	157	157	156	
<b>1</b>		人		業務量	人	人	人	人	
H		件		人件費	0	0	0	0	
)		費	会計年度任	業務量	人	人	人	人	
			用職員	人件費		0	0	0	
			小計(B	)	156	157	157	156	
			合計(A+B	)	1,528	1,611	749	1,524	
	市民1人当たりのコスト(円)				17	18	9	18	

	指標名	指標の説明	単位	/	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	パブリシティ回数	マスメディアを活用し、伊賀市と伊賀産品が取り上げられる		目標		30	35	35
標	ハフリンティ回数	ことで、PRされたことになる。	回	実績	34	37	46	34
	指標化できない成果			達成		123.3%	131.4%	97.1%

継続向

課 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、トップセールス等公務日程が大きく変更している状況である。今後、感染症の 題 収束状況に注視しながら、スケジュール調整を行う必要がある。 及 び 改 改

【(会計)01一般会計(款)07商工費(項)01商工費(月)03観光費(大事業)01観光振興経費

決算書頁 271

		【五司	/01	貝(八)	サ木/リー既儿	冰光性足	Į			
		コード	名称		事業期間		会計-	会計-款-項-目-大事業-中事業		
基	施策	311	観光客を呼び込み、もてなす	H1	6 年度~	R2 年度	0	1-07-01-03-01-05		
平	基本事業	2	地域全体で観光客を受け入れる態勢づくり		部	・課名 等		評価責任者·連絡先		
報	事務事	業名	着地型観光推進事業経費		産業振興部観光戦略			課長 川部 千佳 0595-22-9670		
								0393-22-9070		

ŦIX	事務事業名	看地型観光推進事業経費 	<b>部者</b>	産業振興部観光戦略課	0595-22-9670					
	対 象	地域資源、観光商品化、観光客を受け入れようとする市民	(団体)							
	目 的	地域資源の観光商品化、観光客を受け入れる組織の育成								
事務事業		コロナ禍により伊賀ぶらり体験博覧会いがぶらが中止にない、生活様式に沿ったいがぶらの体験型観光サービスを提*いがぶら「おとどけ部」第1弾(9月7日~10月6日) プログラム数:7個 参加者数:68人*いがぶら「おとどけ部」第2弾(12月3日~12月31日) プログラム数8個 参加者数:46人*桃の節句のスイーツ巡り(2月15日~3月21日) プログラム数:10個 参加者数:260人			·ラインや宅配等による新					

事業に要した 主な経費 など

			項目		R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	出金	6,067	2,650	1,824	2,650	【国庫支出金】
		接	地方債	ŧ					地方創生推進交付金 1,824,000円
全体コス		接事	その他	þ					
		業費	一般財源		6,066	2,650	1,825	2,650	
		貝	合計(A)		12,133	5,300	3,649	5,300	
	事業費		正規職員	業務量	0.80 人	0.68 人	0.57 人	1.98 人	
7				人件費	6,237	5,312	4,453	15,373	
<b>+</b>	費	人	再任用職員	業務量	人	人	人	人	
H		件		人件費	0	0	0	0	
)		費	会計年度任	業務量	0.65 人	0.65 人	0.65 人	0.65 人	
			用職員	人件費	1,240	1,240	1,240	1,038	
			小計(B	)	7,477	6,552	5,693	16,411	
			合計(A+B)	)	19,610	11,852	9,342	21,711	
	市月	旲1人	、当たりのコス	ト(円)	214	131	104	244	

	指標名	指標の説明	単位	/	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	地域姿質の発展供数	体験プログラムとして掲載し	件	目標		120	120	20
標	地域資源の発掘件数	た件数	1+	実績	149	127	164	33
		いがぶら」をきっかけにリピーターと 数及び売上	なった顧	達成		105.8%	136.7%	165.0%

方 継続 向 課 新たなコンテンツやサービスを観光商品として提供ならびに情報発信するツールとして、これまで実施してきた着地型観 題 光おもてなし体験プログラム「伊賀ぶらり体験博覧会 いがぶら」をバージョンアップし、地域プレイヤーが年間を通じて高 及 い集客力・収益力が見込める新たな事業・サービスをより多く創出する環境をつくり、稼げる観光地経営を目指します。 び 伊賀ならではの体験メニューの造成を行い、観光・物産振興を図るとともに、プラットフォーム化を進めます。また、地域 の生活に溶け込んだ体験コンテンツを「学び」の視点から掘り起こし、SDGsを意識した体験価値の提供を行っていきま す。

(会計)01一般会計(款)07商工費(項)01商工費(目)03観光費(大事業)01観光振興経費

決算書頁 271

		\ <del>D</del> HI	701 版公司(旅行)67尚上夏(吳/67尚上夏(日/66)院/6	スソハナ	7K / O · E/C/C	カスノマイエン	•		
		니	名称	事業期間 会計-款-項-目-大事業					
基	施策	311	観光客を呼び込み、もてなす	H16	年度~	R2 年度	0	1-07-01-03-01-06	
平信	基本事業	1	地域ぐるみの観光誘客と情報発信	担当	部	・課名 等		評価責任者·連絡先	
報	事務事	業名	外国人観光客誘客事業		産業振興部観光戦略			課長 川部 千佳 0595-22-9670	

	対	象	5	<b>外国人観光客</b>		
	目	的	11	主に「忍者」をテーマにした情報発信を	行い、海外からの誘客を	図るとともに、看板設置など外国人観光客の受け入れ体制を整備する
	内	容	名 存 13	导者層の外国人旅行者を想定した 忍びの里伊賀創生プロジェクト会議 本制づくりに係る業務を委託し、忍 ました。	欧米豪の在日外国人 に伊賀ならではの本 者トレイルランニングし	ユニケーションズにインバウンドプロモーション業務を委託し、高所や観光専門家を対象としたモニターツアーを実施しました。また、物の忍びの「心・技・体」を体現できる体験プログラムや受け入れレースのコース整備やPR映像制作、体験プログラムの実施を行いし、だんじり会館に、公衆Wi-Fiを継続して設置し、利便性を図りまし
事務事業の概要						
概要				経費	金額	摘要
				通信運搬費	198,000円	Wi−Fi利用料
				委託料	3,698,000円	外国人観光客誘客促進事業委託料
		に要し に経費 よど				
				計	3,896,000円	

			項目		R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		古	国県支出	出金	2,435		1,849	-	【 国県支出金】
		直接	地方债	ŧ					·地方創生推進交付金 1,849,000円
		接事	その化	<u>t</u>					
全 体		業費	一般財	源	2,832	2,060	2,047	0	
体コ	事業費		合計(A	)	5,267	3,922	3,896	0	
コス		人	正規職員	業務量	0.62 人	0.88 人	0.20 人	0.00 人	
7				人件費	4,834	6,874	1,563	0	
<b>+</b>			再任用職員	業務量	人	人	人	人	
H		件	丹口川嶼貝	人件費	0	0	0	0	
)		費	会計年度任	業務量	人	人	人	人	
			用職員	人件費		0	0	0	
			小計(B	)	4,834	6,874	1,563	0	
			合計(A+B	)	10,101	10,796	5,459	0	
	市民1人当たりのコスト(円)				111	120	61	0	

	指標名	指標の説明	単位	/	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	外国人観光客入込客数	外国人観光客の施設(伊賀	ı	目標		29,000	29,000	_
標	外国人観兀各人还各数	流忍者博物館)の入館者		実績	29,000	28,686	22,372	628
	指標化できない成果 観	光関連の経済効果		達成		98.9%	77.0%	

<sub>方</sub> 統合 向

歴及び改革

コロナ禍により外国人観光客数は壊滅的な状況である。回復見込みも不透明な状況であるため、まずは、国内で需要の高い体験型観光に取り組み、将来のインバウンド獲得に向けた受入れ体制を整備していきます。そのため、地域の生活に溶け込んだ体験コンテンツを「学び」の視点から掘り起こし、外国人観光客のニーズに沿った体験価値の提供に繋げていきます。

(会計)01一般会計(款)07商工費(項)01商工費(目)03観光費(大事業)01観光振興経費

決算書頁 271

		\ \ \	701 版公司(旅行)67尚上夏(吳/67尚上夏(日/66)院/6	<b>JC 17</b>	,,,,	7177 - 1707 U	3/2/ / /	. 1 = 5		-	
		디	名称			事業期間			会計場	マー項-目-大事業-中事業 -07-01-03-01-07 評価責任者・連絡先 課長 川部 千佳	
基	施策	311	観光客を呼び込み、もてなす		H16	年度~	R2	年度	0	1-07-01-03-01-07	
<b>平</b>	基本事業	2	地域全体で観光客を受け入れる態勢づくり	10	N/	部•	課名	3 等		評価責任者·連絡先	
報	事務事業名		忍者市プロジェクト事業	担部		産業振興	虾細.	- 米	<b>咚</b> 鋰	課長 川部 千佳	
	<b> </b>	<b>ж</b> -п	心もロンコンエントサネ		_	注不派共	ע# יור.	/L+X	#I II/	0595-22-9670	

	対 象	市内、市外及び県外の観光客									
	目的	「忍者」を入り口・切り口として当市	の地域資源を効果的に	こプロモーションするとともに、受け入れ体制の充実を図る							
事務事業の関	内 容	・中心市街地のにぎわい創出に向けて、上野公園から城下町エリア(忍者体験施設周辺)を結ぶ導線を「にぎわい忍者回廊」と位置づけ、エリア内の公共施設や民間施設の一体的な利活用について民間活力を導入し、PFI方式による施設整備(忍者体験施設整備:周辺エリアを包括的に捉えたエリアマネジメントによるまちめぐり拠点及び観光まちづくり拠点の整備)推進しており、令和2年度は次の取組みを行いました。①忍者市プロジェクト民間活力導入支援業務を(株)テイコクに委託し、先行していた忍者体験施設のPFI実施方針をにぎわい忍者回廊プロジェクトに沿った実施方針に改訂し、以降、事業者との対話対応等、事業進捗を図りました。②(仮称)伊賀市忍者体験施設等整備事業として上野城跡発掘調査業務(13,545,400円)を橋本技術株式会社三重営業所に委託しました。③「伊賀忍者・甲賀忍者」の日本遺産認定を活用するため、伊賀市・甲賀市、両市の観光協会で構成する忍びの里伊賀甲賀忍者協議会に参画し、人材育成事業としてガイド育成講座の実施、普及啓発事業として忍びの里サイクリングコース設定事業に取り組みました。									
要		<b>経費</b>	金額	摘要							
		委託料	29,247,240円	忍者市プロジェクト民間活力導入支援業務委託 15,411,000円							
	事業に要した 主な経費 など	負担金、補助及び交付金	1,700,000円	上野城跡発掘調査業務委託 13,545,400円 ほか 忍びの里伊賀甲賀忍者協議会負担金 1,500,000円 日本忍者協議会負担金 200,000円							
		計	30,947,240円								

			項目		R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	出金	5,297	21,569	14,728	12,543	【国県支出金】
		接	地方債	責					·地方創生推進交付金 14,728,000円
		事	その化	<u>t</u>	2,400			9,542	
全 体		業費	一般財源		6,820	23,585	16,219	3,361	
体コ			合計(A	)	14,517	45,154	30,947	25,446	
コス	事業費	入	正規職員	業務量	1.23 人	0.69 人	1.83 人	0.99 人	
7			工列模员	人件費	9,590	5,390	14,295	7,687	
Ŧ			再任用職員	業務量	人	人	人	人	
H		件	丹口川嶼貝	人件費	0	0	0	0	
)		費	会計年度任	業務量	人	人	人	人	
			用職員	人件費		0	0	0	
			小計(B	()	9,590	5,390	14,295	7,687	
			合計(A+B	)	24,107	50,544	45,242	33,133	
	市民1人当たりのコスト(円)				263	559	500	372	

	指標名	指標の説明	単位	/	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	観光消費額	伊賀地域の観光客の消費単 価 (宿泊・日帰りの平均)(R	Ħ	目標		10,805	11,237	11,686
標	<b>能儿</b> /月复做	2からはDMO調査数値)	1 1	実績	10,390	11,304	12,169	12,680
	指標化できない成果			達成		104.6%	108.3%	108.5%

充実

課 観光客等の満足度の向上や周遊拡大、滞在時間増加による消費額拡大を図ることにより持続可能な観光まちづくりを 題 進める必要がある。このため、「忍者」を入り口・切り口として当市の地域資源を効果的にプロモーションするとともに、公 及 民連携による、にぎわい忍者回廊プロジェクト(忍者体験施設整備事業)を推進し、受け入れ体制の充実に取り組みま び す。また、関係する自治体等と連携し、忍者市宣言、日本遺産認定を活かした積極的な情報発信及び観光誘客事業を 改 実施します。 (会計)01一般会計(款)07商工費(項)01商工費(目)03観光費(大事業)02観光施設維持管理事業

決算書頁 273

		\ <del>                                     </del>	/01 股公司(款/07周工员(资/07周工员(日/00就允	<u> </u>	· •		700 117	· 4 π 1 ·	, <u>n</u> , <u>t</u> ,	<del></del>	
		コーデ	名称	事業期間 会計-					会計一	款−項−目−フ	大事業-中事業
基	施策	311	観光客を呼び込み、もてなす		H16	年度~	R2	年度	0	1-07-01-0	03-02-01
平槽	基本事業	2	地域全体で観光客を受け入れる態勢づくり	ı.	Mz.	部・	課名	3等		評価責任	壬者•連絡先
報	事務事	業名	観光施設維持管理事業		当 署	伊賀支所振興課				課長 前川 一幸 0595-45-9111	

					0000 10 0111
	対 象	観光客			
	目的	観光施設の維持管理により、観光	客が気持ちよく利用で	きる環境づくりを行う	
事務事業の場	内 容	観光施設の維持管理(草刈、休憩時観光施設維持管理(草刈、休憩時観光施設維持管理業務委託園管理業務委託園管理等務時間別施設の維持管理業務。近路電子の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の	訳  業務委託 (委託先: 要託 (委託先:霊山( 多委託 (委託先:白所 先:出後区、千戸区、 (委託先:上阿波区) (委託先:青山老人 任 (委託先:(公社)( 先:桜山公園管理委員 :高尾住民自治協議	<ul><li>民勝会)</li><li>藤滝保勝会)</li><li>畑村区)</li><li>クラブ連合会)</li><li>尹賀市シルバー人材センター)</li><li>員会)</li></ul>	
恢要		経費	金額	摘要	
^		需用費	1,317,295円	消耗品費(伊:25,896円 大:8,580円 青:22,157円)	56,633円
				燃料費(伊:25,411円 青:30,785円)	56,196円
				光熱水費(伊:339,823円、大:37,337円、青:281,035円)	658,195円
	事業に要した			修繕料(伊:180,587円、青:365,684円)	546,271円
	主な経費	役務費	, , ,	伊:43,890円、青:994,645円	
	など	委託料	, , ,	伊:5,469,360円 大:180,000円 青:3,878,940円 伊:110,000円 大:77,440円 青:21,120円	
		使用料及び賃借料			
		備品購入費	7,128円		
		計	12,099,818円		

			項目		R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	出金	2,469	2,469	2,469	2,469	【国県支出金】 県支出金 商工費委託金
		接	地方信	責				県支出金 商工費委託金 ふるさと公園維持管理委託金	
		事	その化	<u>t</u>					
全体		業費	一般財	源	9,960	9,674	9,631	9,659	
体コ			合計(A	)	12,429	12,143	12,100	12,128	
ス	事業費	人	正規職員	業務量	0.58 人	0.59 人	0.47 人	0.47 人	
7			正 / 似 帆 貝	人件費	4,522	4,609	3,672	3,650	
<b>+</b>			再任用職員	業務量	人	人	人	人	
H		件	丹口川嶼貝	人件費	0	0	0	0	
)		費	会計年度任	業務量	人	人	人	人	
			用職員	人件費		0	0	0	
			小計(B	()	4,522	4,609	3,672	3,650	
			合計(A+B	)	16,951	16,752	15,772	15,778	
	市民1人当たりのコスト(円)				185	185	175	177	

	指標名	指標の説明	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指		各施設において、委託者と施 設運営について協議を行った		目標		4	4	4
標	数	回数	Ш	実績	4	4	4	4
	指標化できない成果 É	記の環境整備		達成		100.0%	100.0%	100.0%

方 継続 向 現在以上に、住民主体の利活用を活発に高める必要がある。

整理番号
345 - (A-51) 04 - 60 A-51 (+5) 03 立 - 2 (-75) 04 立 - 2

(会計)01一般会計(款)07商工費(項)01商工費(目)03観光費(大事業)02観光施設維持管理事業

決算書頁 273

		\ A III	701 放公司、杨八07周上县、安701周上县、日700战力	スソハナ			, 11, 11	T-//	
		디	名称		事業期間		会計一	款-項-目-大事業-中事業	
基	施策	311	観光客を呼び込み、もてなす	H16	年度~	R2 年度	0	1-07-01-03-02-02	
平標	基本事業	2	地域全体で観光客を受け入れる態勢づくり		部・課名 等			評価責任者·連絡先	
報	事務事	業名	東海自然歩道管理経費		伊賀支所振興課			課長 前川 一幸 0595-45-9111	

報	事務事業名	東海自然歩道管理経費		部署伊賀支所振興語	議長 前川 一幸 0595-45-9111
	対 象	東海自然歩道			
	目的	東海自然歩道を保全する			
事務事業の概要	内 容	県から委託を受けた東海自然歩道・パトロール業務委託 委託区間53・清掃草刈業務委託 草刈実施区間・便所清掃業務 3箇所(浄化槽管:	.6km 4地区(2回×2人 聞25.2km×2巡(伊賀6.5	、) ikm、阿山3.7km、大山田6.9km	
要			金額		闹 <del>要</del>
	事業に要した 主な経費 など	委託料 手数料 その他事務経費	f: 	東海自然歩道維持管理業 伊賀地区 可山地区 大山田地区 青山地区 新大仏寺し尿汲取り業務等 肖耗品費、光熱水費、修繕	544,480円 120,120円 466,470円 351,190円
		計	2,010,862円		

			項目		R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	金出金	1,319	1,127	1,195	1,104	【国県支出金】
		接	地方債	Ę					県支出金 商工費委託金 東海自然歩道管理委託金
		接事	その他	<u> </u>					
全体		業費	一般財	源	768	757	816	746	
体コ		貝	合計(A)		2,087	1,884	2,011	1,850	
ス	事業費	入	正規職員	業務量	0.72 人	0.70 人	0.23 人	0.23 人	
7				人件費	5,614	5,468	1,797	1,786	
Ŷ Ŧ			再任用職員	業務量	人	人	人	人	
H		件		人件費	0	0	0	0	
)		費	会計年度任	業務量	人	人	人	人	
			用職員	人件費		0	0	0	
			小計(B	)	5,614	5,468	1,797	1,786	
			合計(A+B)	)	7,701	7,352	3,808	3,636	
	市国	旲1人	、当たりのコス	ト(円)	84	82	43	41	

	指標名	指標の説明	単位	/	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指		各地区において、巡回パト	件	目標		4	4	4
標	ハトロール回数	ロールを行った件数	IT	実績	4	4	4	4
	指標化できない成果事	事故防止措置により無事故となった作	牛数	達成		100.0%	100.0%	100.0%

方 改善 向 課題及び改善

パトロール、草刈業務などの業務委託は必要であるが、修繕など市が行えない業務についての改善策を県に要望する必要があります。

(会計)01一般会計(款)07商工費(項)01商工費(目)03観光費(大事業)02観光施設維持管理事業

決算書頁 273

コード 事業期間 会計-款-項-目-大事業-中事業 名称 施策 311 観光客を呼び込み、もてなす H16 年度~ R2 年度 01-07-01-03-02-03 部・課名 等 基本事業 2 地域全体で観光客を受け入れる態勢づくり 評価責任者•連絡先 担当 課長 吉岡 一 事務事業名 ふるさとの森公園管理費 部署 阿山支所振興課

	ナカナネン	<u>'</u>	かのことの林公園日本良			門田文川派共称	0595-43-1543
	対 象	,	ふるさとの森公園の利用者				
	目的	į	施設利用者のニーズに沿った施設	管理を行う			
事務事業の概要	内 容		業務 .支援業務委託 集による手法の検討及び調査 、測の日数を要したため、業系円)				
要			経費	金額		摘要	
			需用費	2,941,511円 🕈	管理用消	耗品、施設光熱水費等	
			役務費	229,749円 រ			
			委託料	, , ,		運営、設備保守等	
	車業に亜1・	+_	使用料及び賃借料				
	事業に要した 主な経費 など						
			計	12,615,355円			

			項目		R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)			
		直	国県支出	出金	4,400				・「その他」財源名称及び歳入金額			
		接	地方債	責					·公園施設使用料 ··· 3,843,610円 ·売上収入 ··· 62,729円			
		事	その化	<del>p</del>	5,959	7,374	4,496	25,630				
全体		業費	一般財源		5,590	11,836	8,119	6,062	合計 4,496,049円			
体コス	事業費		合計(A)		15,949	19,210	12,615	31,692				
		人	正規職員	業務量	0.35 人	0.35 人	0.85 人	0.85 人				
7				人件費	2,729	2,734	6,640	6,600				
<b>+</b>			再任用職員	業務量	人	人	人	人				
H		件		人件費	0	0	0	0				
)		費	会計年度任	業務量	人	人	人	人				
			用職員	人件費		0	0	0				
			小計(B	)	2,729	2,734	6,640	6,600				
			合計(A+B	)	18,678	21,944	19,255	38,292				
	市月	旲1人	、当たりのコス	ト(円)	204	243	213	429				

	指標名	指標の説明	単位	/	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	観光客入込数	施設を利用した観光客数		目標		7,000	6,000	5,000
標		肥設を利用した観光各数		実績	6,103	5,249	4,486	2,368
	指標化できない成果が			達成	<b>奎成</b> 74.9%		74.7%	47.3%

<sup>方</sup> 民間活 <sub>向</sub> 力導入

及び改

令和元年度に、増収と維持管理経費削減を図るため、公民連携による民間活力導入の可能性調査を行った。 その結果、可能性があることが判明したため、公民連携による整備運営手法の検討を進めている。

	整理番号  7 -	(会計 業	)01一般会計(款)07商工費(項)	01商工費(目)04新	型感染症対	村策費(大事業)01新	f型感	染症対策事	決算書 <sup>275</sup>
		オード	名称			事業期間	会計-	款-項-目-大事	業-中事
基	施策	_	観光客を呼び込み、もてなす		H16	年度~ R2 年度		1-07-01-04-	
基本情	基本事業	2	地域全体で観光客を受け入れる態	勢づくり	10 V	部・課名 等		評価責任者	↑•連絡先
報	事務事	業名	ふるさとの森公園管理費(新型感染	<b>毕症対策</b> )	担当部署	阿山支所振興課		課長 吉 0595-43	
	対	象	ふるさとの森公園の利用者						
	目	的	当該施設の新型コロナウイルス感	染対策のため					
事務事業の概要	内	容	利用者及び設備の消毒のため						
要			<u></u>	金額	M1 12 = 25	摘到	要		
			需用費	28,600円	消耗品費(	(消毒液の購入)			

 経費
 金額
 摘要

 需用費
 28,600円
 消耗品費(消毒液の購入)

			項目		R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	金			29		国庫支出金:新型コロナウイルス感染症 対応地方創生臨時交付金:29千円
		接	地方債	Ē					对心地方剧生临时交刊 壶: 29十円
		事	その他	p					
全		業費	一般財源						
全体コス	事業費		合計(A)		0	0	29	0	
			正規職員	業務量	人	人	0.01 人	人	
7				人件費	0	0	79	0	
( <del>I</del>	賀	人	再任用職員	業務量	人	人	人	人	
千円		件		人件費	0	0	0	0	
<b>)</b>		費	会計年度任	業務量	人	人	人	人	
			用職員	人件費		0	0	0	
			小計(B	)	0	0	79	0	
			合計(A+B)	)	0	0	108	0	
	市	市民1人当たりのコスト(円)			0	0	2	0	

	指標名	指標の説明	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	観光客入込数	施設を利用した観光客数	1	目標		7,000	6,000	5,000
標		他設を利用した観光各数	^	実績	6,103	5,249	4,486	2,368
	指標化できない成果			達成		74.9%	74.7%	47.3%

方 継続 向 課題及び改善

新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じて対応が必要。

整理番号 348 - (A=1)。

工事請負費

備品購入費

原材料費

(会計)01一般会計(款)08土木費(項)02道路橋りょう費(目)02道路維持費(大事業)01道路維持経費

決算書頁 279

8,955,656円

		コード	名称			事業期間					事業-中事業
基	施策	421	道路ネットワークによって移動がしやすい		H16	年度~	R2	年度	0	1-08-02-0	2-01-01
一件	基本事業	3	道路維持修繕事業	10.		部・課名 等				評価責任	E者·連絡先
報	事務事	業名	道路維持経費	担当部署		建設部道路河川課					公尾 卓哉 ·22-9725

報	事務事業名	道路維持経費		部署	建設部道路河川課	課長 松尾 卓哉 0595-22-9725
	対 象	本市が所管する道路				
	目的	道路舗装の異常または損傷を早期に発見	するとともに、計画的かつ効	南率的な舗装 かんかん かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいか	修繕を実施し、道路利用者の安全	かつ円滑な交通を確保する
事務事業の概要	内 容	道路を常時良好な状態に保つよう、す。また、路肩の除草、冬期には融管理延長 L=約2,300km 令和2年度は、344箇所の道路修綱また、市道の草刈業務委託及び雪	雪剤散布等により道路 等を行いました。	機能を維持		いて、修繕工事を行いま
概要		<b>経費</b>	金額		摘要	
					、燃料費、光熱水費	11,469,935円
					函小修繕等344件) ■動車借上料等	58,961,804円
		<b>大大大</b>			司 新年 恒 工 杯 守 管 理 業 務 委 託 79 件	12,643,551円
	事業に要した			草刈業務		57,190,900円
	主な経費 など		1	<b>封路樹管</b> 3	理業務委託18件	18,535,880円

			項目		R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)		
		直	国県支出	金出	0	0	0	0	環境保全基金繰入金等		
		接事	地方債	Ę	0	0	0	0			
		事	その他		23,725	64,396	6,846	37,277			
全 体		業費	一般財源		173,725	123,881	198,863	167,994			
体コ		貝	合計(A	)	197,450	188,277	205,709	205,271			
コス	事		正規職員	業務量	10.25 人	10.25 人	10.35 人	8.80 人			
7	事業費		正况顺只	人件費	79,909	80,063	80,844	68,324			
( <del>f</del>	費	人	再任用職員	業務量	人	人	人	人			
Ŧ		件	中口用喊貝	人件費	0	0	0	0			
. )		費	会計年度任	業務量	人	人	人	人			
			用職員	人件費		0	0	0			
			小計(B	)	79,909	80,063	80,844	68,324			
		合計(A+B)			277,359	268,340	286,553	273,595			
	市民1人当たりのコスト(円)				3,026	2,963	3,164	3,066			

205,708,516円

融雪剤散布等業務委託79件等

6,078,600円 舗装補修3件、側溝・横断管等補修2件等

26,405,932円 融雪剤1,800袋、生コン556.83㎡、切込砕石703.16㎡等

3,949,000円 凍結防止剤散布機2台

	指標名	指標の説明			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	予算に対する執行率	最終予算に対する執行率	%	目標		100	100	100
標	ア昇に刈りる拠11年	取称了昇に刈りる枞川平	90	実績	86.5	97	95.5	100
	指標化できない成果			達成		97.0%	95.5%	100.0%

継続

課題及び改

道路施設の経年劣化や地元要望の多様化に加えて労材経費の高騰などにより、前年度並みに維持管理業務を履行することが、今後も困難になることが懸念されるため、業務プロセスの改善や工夫を行う必要があります。

整理番号 (会計)01一般会計(款)08土木費(項)02道路橋りょう費(目)03道路新設改良費(大事業)01臨時地方道整 349 備事業

決算書頁 279

5,776,100円

5,496,700円

3,602,500円

		コード	名称		事業期間		会計一	款-項-目-大事業-中事業	
基	施策	421	道路ネットワークによって移動がしやすい	H16	年度~	R2 年度	0	1-08-02-03-01-01	
平信	基本事業	1	道路改良事業	担当	部	・課名 等		評価責任者·連絡先	
報	事務事	業名	臨時地方道整備事業		建設部道	路河川課		課長 松尾 卓哉 0595-22-9725	

	事務事業名	臨時地方道整備事業		部署	建設部道路河川課	課長 松尾 卓哉 0595-22-9725					
	対 象	本市が所管する道路									
	目的	生活道路を人や車が安全に移動す	ることが出来るよう整備	備する							
		道路を通行者が安全に安心して通	行できるよう、道路改良	や舗装修	繕等の工事を実施します。						
		   令和2年度は、道路改良1件と舗装	和2年度は、道路改良1件と舗装修繕10件を実施しました。								
	内 容										
	אל נא										
事											
務事											
業											
業の概											
事務事業の概要		<b>経費</b>	金額		摘要						
業の概要		需用費	825,293円 🤅		、燃料費						
業の概要			825,293円 ; 45,101,100円 ī	市道荒木	、燃料費 木興線他1線側溝改修工事						
業の概要		需用費	825,293円; 45,101,100円; ī	市道荒木; 市道外山;	、燃料費 木興線他1線側溝改修工事 波敷野線舗装修繕工事	3,985,300円					
業の概要	車業/−両/ +-	需用費 工事請負費	825,293円 ) 45,101,100円 ī ī	市道荒木; 市道外山; 市道西明	、燃料費 木興線他1線側溝改修工事 波敷野線舗装修繕工事 寺一之宮東條線舗装修繕J	3,985,300円 4,500,100円					
業の概要	事業に要した主な経費	需用費 工事請負費	825,293円 浏 45,101,100円 ī ī ī	市道荒木 市道外山 市道西明 市道諏訪	、燃料費 木興線他1線側溝改修工事 波敷野線舗装修繕工事	3,985,300円 C事 4,500,100円 4,841,100円					

			項目		R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			-	1.4	7九千皮从井	八乙午及三切了弃	八乙十尺八升		合併特例債、公共施設等適正管理推進事業
		直	国県支出		Ü	U	U	U	百川村内頂、公共地改守地正旨在112年来 債
		接	地方債	<b></b>	31,200	42,200	42,000	44,000	
全体		接事	その他	<u> </u>	0	0	0	32,913	
	事業費	業費	一般財	源	3,571	3,925	3,926	4,600	
体コ			合計(A	)	34,771	46,125	45,926	81,513	
コス			正規職員	業務量	0.55 人	0.55 人	0.55 人	1.10 人	
7			正况顺良	人件費	4,288	4,297	4,297	8,541	
(F	費	人	再任用職員	業務量	人	人	人	人	
H		件		人件費	0	0	0	0	
: )		費	会計年度任	業務量	人	人	人	人	
			用職員	人件費		0	0	0	
			小計(B	)	4,288	4,297	4,297	8,541	
			合計(A+B)	)	39,059	50,422	50,223	90,054	
	市	<b>叉1人</b>	、当たりのコス	ト(円)	427	557	555	1,009	

45,926,393円

	指標名	指標の説明		/	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	予算に対する執行率			目標		100	100	100
標	ア昇に刈りる挑1]半	最終予算に対する執行率	%	実績	26.6	128.5	98.8	100
	指標化できない成果	い成果		達成		128.5%	98.8%	99.6%

方 継続 向

など

計

本市の道路については、アスファルト舗装の劣化が進行しているため、交通量や通学路等の現場条件を基に、緊急度や 課題及び改善 優先順位を付けて整備を図る必要があります。

市道千戸大沢線舗装修繕工事

その他舗装修繕工事4件

市道花之木古山神戸線舗装修繕工事

		一帯ロン	(1) 立尹未							
		コード	名称	事業期間会計					款−項−目−大事業−中事	業
基	施策	421	道路ネットワークによって移動がしやすい	H16	年度~	R2	年度	01	1-08-02-03-02-02	
平標	基本事業	1	道路改良事業	担当	部•	課名	等		評価責任者・連絡を	t
報	事務事	業夕	名 ゆめが丘摺見線道路改良事業		建設部道路河川課				課長 松尾 卓哉	
	デカチ	*1							0595-22-9725	

報	事務事業名	ゆめが丘摺見線道路改良事業		担当部署	建設部道路河川課	課長 松尾 卓哉 0595-22-9725						
	対 象	ゆめが丘摺見線道路										
	目的	通行がスムーズになり、地域住民の	D生活道路として利用し	しやすくなる	よう整備する							
		市道四十九ゆめが丘線を起点とし、 を結ぶ幹線道路を新設整備します。		原線(広域	ば農道)につながり、ゆめが丘	住宅地と摺見、青山地区						
		事業概要 延長L=1,400m、幅員W=12.0m										
		令和2年度は、歩道舗装工事L=307mを実施しました。										
	内 容	内 容										
車												
務車												
事務事業の概要												
概		/n #	A 47			1						
要		<b>程費</b>	金額 183,298円 2	当其口弗	摘要							
		工事請負費			新設工事2件	6,649,500円						
		工于明庆庆		その他工具		162,174円						
	事業に要した											
	主な経費など											
	,60											

			項目		R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	出金	4,755	3,781	3,403	5,000	社会資本整備総合交付金50%
		接	地方債	į	4,500	2,600	2,100	5,000	合併特例債
		接事	その他		0	0	0	0	
全体コ		業費	一般財	源	264	1,562	1,492	300	
	事		合計(A	)	9,519	7,943	6,995	10,300	
コス			正規職員	業務量	0.49 人	0.49 人	0.49 人	0.55 人	
7	事業費		止戍嶼貝	人件費	3,821	3,828	3,828	4,271	
Ŧ	費	人	再任用職員	業務量	人	人	人	人	
H		件	丹口川嶼貝	人件費	0	0	0	0	
)		費	会計年度任	業務量	人	人	人	人	
			用職員	人件費		0	0	0	
			小計(B	)	3,821	3,828	3,828	4,271	
			合計(A+B	)	13,340	11,771	10,823	14,571	
	市	民1人	、当たりのコス	ト(円)	146	130	120	164	

6,994,972円

	指標名	指標の説明	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	事業の進捗率	道路整備による作業進捗	%	目標		97	98	99
標	争業の進抄卒	(執行事業費/総事業費)	90	実績	96	97.6	99	99
	指標化できない成果			達成		100.6%	101.0%	100.0%

方 継続 <sup>向</sup> 課題及び改善

沿道利用計画に基づき、関係課と調整の上、事業進捗を図る必要があります。

16,400,000円

9,770,200円

		i i	へ门エチボ					
		コード	名称	3.称    事			会計-	款-項-目-大事業-中事業
基	施策	421	道路ネットワークによって移動がしやすい	H16 年度~ R2 年度		0	1-08-02-03-02-04	
平標	基本事業	1	道路改良事業	10 V	部	• 課名 等		評価責任者·連絡先
報	事務事業名		西明寺緑ヶ丘線道路改良事業	担当部署	建设部道	悠河 川賀	l	課長 松尾 卓哉
			四明寺禄ゲ丘禄追路以及事業		医双叩迫	建設部道路河川課		0595-22-9725
	対	 象	西明寺緑ヶ丘線道路					

ŦX	事務事業名	西明寺緑ヶ丘線道路改良事業			建設部道路河川課 	0595-22-9725						
	対 象	西明寺緑ヶ丘線道路										
	目的	通行がスムーズになり、地域住民の	D生活道路及び物流の	輸送道路。	として利用しやすくなるよう整	備する						
		国道163号線と市道荒木木興線(緑ケ丘地内)を接続する重要な幹線道路であり、上野東部地域の南北を連絡する幹線 路として機能の整備を図ります。										
		事業概要 延長L=1,100m、幅員W=12.0m 令和2年度は、道路改良工事L=120m、橋梁下部工事N=1橋を実施しました。										
内容												
==												
務												
事務事業の概要												
の概												
要		経費	金額		摘要							
		需用費、原材料費	· ·		、燃料費、資材費							
		役務費	102,334円	通信運搬	費、手数料							
		委託料	586,300円	測量設計	業務委託2件							
	古光に正した	使用料及び賃借料	698,400円:	土地建物的	借上料2件							
	事業に要した主な経費		4,882,815円 1	仮設橋借.	上料							
	エな社員	工事請負費	55,500,300円	道路改良	工事	13,356,200円						
	.6.			旧橋上部	工撤去工事	15,973,900円						

							, •		
			項目		R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	金出	34,968	62,000	30,678	121,202	社会資本整備総合交付金50%
		接	地方侵	Ė	31,500	59,820	30,700	119,900	合併特例債
		接事	その他	<u>þ</u>	0	0	0	0	
全 体		業	一般財	源	6,623	3,305	849	7,336	
体コ		費	合計(A	)	73,091	125,125	62,227	248,438	
コス	事		正規職員	業務量	0.63 人	0.63 人	0.53 人	1.00 人	
۲	事業費		止况삓貝	人件費	4,912	4,921	4,140	7,764	
(F	費	人	再任用職員	業務量	人	人	人	人	
一円		件	中江川嶼貝	人件費	0	0	0	0	
. )		費	会計年度任	業務量	人	人	人	人	
			用職員	人件費		0	0	0	
			小計(B	)	4,912	4,921	4,140	7,764	
			合計(A+B	)	78,003	130,046	66,367	256,202	
	市民1人当たりのコスト(円)				851	1,436	733	2,871	

62,227,346円

計

橋梁下部工事

その他工事4件

	指標名	指標の説明	単位	/	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	事業の進捗率	道路整備による作業進捗	%	目標		77	89	88
標	争未の進抄卒	(執行事業費/総事業費)	70	実績	63	78.6	80	84.9
	指標化できない成果	とできない成果		達成		102.1%	90.0%	96.5%

継続向

課 重要な幹線道路であるうえに、消防署の緊急出動ルートとしても早期完成が望まれているため、コスト縮減に努め計画 題 的に事業進捗を図る必要があります。 及 び 改 改

決算書頁 279

	コード	名称			事業期間		会計一	款-項-目-大事業-中事業
施策	421	道路ネットワークによって移動がしやすい		H16	年度~	R2 年度	0	1-08-02-03-02-05
基本事業	1	道路改良事業	±	I.	部。	課名 等		評価責任者·連絡先
事務事業名		依那古友生線他1線道路改良事業			建設部道路河川課			課長 松尾 卓哉 0595-22-9725
								0000 12 0720
	基本事業事務事	基本事業 ① 事務事業名	施策       421       道路ネットワークによって移動がしやすい         基本事業       ①       道路改良事業         事務事業名       依那古友生線他1線道路改良事業	施策       421       道路ネットワークによって移動がしやすい         基本事業       ①       道路改良事業         事務事業名       依那古友生線他1線道路改良事業	施策       421       道路ネットワークによって移動がしやすい       H16         基本事業       ①       道路改良事業       担当         事務事業名       依那古友生線他1線道路改良事業       超当	施策       421       道路ネットワークによって移動がしやすい       H16       年度~         基本事業       ①       道路改良事業       担当         事務事業名       依那古友生線他1線道路改良事業       建設部道	施策       421       道路ネットワークによって移動がしやすい       H16       年度~ R2 年度         基本事業       ①       道路改良事業       部・課名等         事務事業名       依那古友生線他1線道路改良事業       建設部道路河川課	施策       421       道路ネットワークによって移動がしやすい       H16       年度 R2 年度       0         基本事業       ①       道路改良事業       部・課名等         事務事業名       依那古友生線他1線道路改良事業       建設部道路河川課

報	事務事業名	依那古友生線他1線道路改良事業		部署	建設部道路河川課	0595-22-9725					
	対 象	依那古友生線他1線道路									
	目的	通行がスムーズになり、地域住民の生活道路及び物流の輸送道路として利用しやすくなるよう整備する									
		農免道路からゆめが丘住宅地南西端へ通じる舗装幅員3mの見通しの悪い狭小な道路であるため危険であり、車両の対向に苦慮しています。対面通行が出来るよう整備を行い、安全・安心に通行出来るよう整備します。									
		事業概要 延長L=780m、幅員W=7.0m									
		令和2年度は、道路改良工事L=1	令和2年度は、道路改良工事L=151m、用地取得N=8筆、立竹木補償N=4筆を実施しました。								
	内 容										
==											
務											
務事業の概要											
の概											
要		経費 経費	金額		摘要						
		旅費、需用費	459,166円	消耗品費、	、燃料費						
		役務費	1,754円	通信運搬第	費						
		委託料	1,067,000円	用地測量	業務委託						
	古米11	使用料及び賃借料	10,960円	有料道路边	通行料						
	事業に要した主な経費	工事請負費	56,906,410円	道路改良	工事	56,325,500円					
	エは柱負など		-	その他工事	事2件	580,910円					
	ý	公有財産購入費	1,256,800円	用地取得到	費6件						
		補償、補填及び賠償金	23,232円	立竹木補作	賞2件						

			項目		R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	
		直	国県支出	出金	20,947	25,000	29,627	25,000	社会資本整備総合交付金50%
		接	地方債	責	20,500	24,400	28,500	25,200	合併特例債
全体		接事	その他		0	0	0	0	
		業	一般財	源	1,132	1,383	1,598	1,750	
体コ		費	合計(A	)	42,579	50,783	59,725	51,950	
コス	事業費	人	正規職員	業務量	0.55 人	0.55 人	0.65 人	0.60 人	
7			止况삓貝	人件費	4,288	4,297	5,078	4,659	
<b>1 1</b>	費		再任用職員	業務量	人	人	人	人	
一円		件	中江川嶼貝	人件費	0	0	0	0	
. )		費	会計年度任	業務量	人	人	人	人	
			用職員	人件費		0	0	0	
			小計(B	)	4,288	4,297	5,078	4,659	
			合計(A+B	)	46,867	55,080	64,803	56,609	
	市民1人当たりのコスト(円)				512	609	716	635	

59,725,322円

	指標名	指標の説明	単位	/	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	事業の進捗率	道路整備による作業進捗	%	目標		51	60	72
標	争未の進抄卒	(執行事業費/総事業費)	70	実績	30	46	60	72
	指標化できない成果	とできない成果		達成		90.2%	100.0%	100.0%

发 継続 向 課題及び改善

用地買収が必要となることから、事業計画に合わせ地権者交渉を円滑に進め、計画的に事業推進を図る必要がありま

 決算書頁

 279

		1 T	へけ並す木						
	//	コード	名称			事業期間		会計一	款-項-目-大事業-中事業
基	施策	421	道路ネットワークによって移動がしやすい		H16	年度~	R2 年度	0	1-08-02-03-02-07
平信	基本事業	3	道路維持修繕事業	10	N/z	部。	·課名等		評価責任者•連絡先
1E 報	事務事	<b>坐</b> 夕	舗装修繕事業		当 署	建设 如 治 !	改订川钾	ı	課長 松尾 卓哉
	尹仍尹	未石	研衣	пра		建設部道路河川課			0595-22-9725
			T						
	44	<b>多</b>	一亩缐道路及7、「一車線道路						

	<b>学</b> 协学未石	<b>매衣</b> 修 信 步 未		HPTH	医双印色的 川林	0595-22-9725
	対 象	二車線道路及び緊急輸送道路				
	目的	管理する道路舗装の実態を把握し、異常または	損傷を早期に発見するとともに	こ計画的かつ効	率的な舗装修繕を実施し道路利用者の	D安全かつ円滑な交通を確保する
		市が管理する市道の中で、交通量( 画的に舗装修繕を行います。 事業概要 延長L=2,500m 令和2年度は、舗装補修工事3路総			量が多く、舗装の損傷が著し	い幹線道路について、計
事務事業の概要	内 容					
概要		経費	金額		摘要	
		需用費	346,065円			
		委託料	326,700円			
		工事請負費	13,799,500円	舗装修繕.	工事4件	
	事業に要した					

接費 金額 摘要 需用費 346,065円 消耗品費、燃料費 委託料 326,700円 地質調査業務委託 工事請負費 13,799,500円 舗装修繕工事4件 計 14,472,265円

			項目		R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	金出	22,195	17,901	3,064	55,000	社会資本整備総合交付金50%
		接	地方債	Ę	18,400	7,200	0	56,900	環境保全基金繰入金
		事	その他		0	8,000	7,995	0	
全		業費	一般財	源	4,037	3,659	3,413	600	
体コ		貝	合計(A	)	44,632	36,760	14,472	112,500	
コス	事		正規職員	業務量	1.06 人	1.06 人	0.52 人	1.37 人	
7	事業費		止炕帜只	人件費	8,264	8,280	4,062	10,637	
<b>1</b>	費	人	再任用職員	業務量	人	人	人	人	
Ä			冉仕用職員	人件費	0	0	0	0	
)		費	会計年度任	業務量	人	人	人	人	
			用職員	人件費		0	0	0	
			小計(B	)	8,264	8,280	4,062	10,637	
			合計(A+B	)	52,896	45,040	18,534	123,137	
	市月	民1人	、当たりのコス	ト(円)	577	498	205	1,380	

	指標名	指標の説明	単位	/	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	事業の進捗率	道路整備による作業進捗	%	目標		40	45	48
標	争未の進抄卒	(執行事業費/総事業費)	70	実績	35	40	47	48
	指標化できない成果	化できない成果		達成		100.0%	104.0%	100.0%

方 継続 向 課 管内の幹線道路については、舗装路面の荒廃が著しく通行に支障をきたす箇所が数多く見られます。緊急性が高く交通 題 量の多い主要道路から修繕工事を実施し、安全に通行出来る様進捗を図る必要があります。 及 び 改 善

**決算書頁** 備 279

			2.17 亚 事 未						
	/	コード	名称		事業期間		会計一	款-項-目-大事業-中事業	
基	施策	421	道路ネットワークによって移動がしやすい	H16	年度~	E~ R2 年度		1-08-02-03-02-09	
个信	基本事業	1	道路改良事業	10 V/	部	・課名 等		評価責任者·連絡先	
報	事務事業名		  茅町駅四十九新池線道路改良事業	担当 部署	建設部道路河川課			課長 松尾 卓哉	
	争務争耒名		矛町駅四十九利池脉追路以及事業	117-11	医双叩坦!	哈州川林		0595-22-9725	
	対	<del></del> 象	茅町駅四十九新池線道路						
	ν.1	<b>外</b>	<b>プロ</b> 乳臼 1 九利心脉迫臼						
	目的		通行がスムーズになり、地域住民の生活道路として利用しやすくなるよう整備する						
			市道茅町駅四十九新池線は伊賀市市街地の南東部に位置す。市庁舎前の交差点をラウンドアバウトにすることにより、 す。						

内容

W=5.0m

令和2年度は、測量設計業務N=2件、用地買収N=2筆、道路改良工事L=220mを実施しました。

事業に要した 主な経費 など

経費	金額	摘要	
需用費	110,386円	消耗品費	
委託料	8,400,706円	測量設計業務委託2件	7,848,500円
		その他業務委託2件	552,206円
使用料及び賃借料	5,230円	有料道路通行料	
工事請負費	21,146,000円	道路改良工事	20,860,000円
		その他工事	286,000円
原材料費	176,000円	資材費	
公有財産購入費	1,359,000円	用地取得費2件	
補償、補填及び賠償金	776,100円	電柱移転補償	
計	31,973,422円		

事業概要 延長:南北方向にL=140m、東西方向にL=80m、中央島直径D1=11.0m、外円の直径D2=27.0m、環道幅員

			項目		R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	金出		23,000	15,648	10,035	社会資本整備総合交付金50%
		接	地方債	AUT AUT		22,500	15,500	7,700	合併特例債
全体コスト		事	その他	F G		0	0	0	
		業費	一般財源			1,237	825	3,244	
			合計(A	)	0	46,737	31,973	20,979	
	事業費		正規職員	業務量	人	人	0.48 人	0.46 人	
				人件費	0	0	3,750	3,572	
<u> </u>	費	人	再任用職員	業務量	人	人	人	人	
千円		件		人件費	0	0	0	0	
		費	会計年度任	業務量	人	人	人	人	
			用職員	人件費		0	0	0	
			小計(B	)	0	0	3,750	3,572	
			合計(A+B)	)	0	46,737	35,723	24,551	
	市民1人当たりのコスト(円)				0	517	395	276	

	指標名	指標の説明	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	事業の進捗率	道路整備による作業進捗	%	目標				50
標	争未の進捗学	(執行事業費/総事業費)	%0	実績				50
	指標化できない成果			達成				100.0%

方 継続 向 題及び改

交通量が多く、交差点付近に市庁舎への出入り口があり、通行止めによる施工が非常に困難であるため、工法や工程 の調整が課題となりますが、安全性向上や交通円滑化、災害時の対応力向上のため、短期間で事業の推進を図る必要 があります。

名称

計

決算書頁 279

会計-款-項-目-大事業-中事業

事業期間

季	施策 421	道路ネットワークによって移動がし	やすい	H16	年度~ R2 年度	01-08-02-03-02-10			
个 情	基本事業 ①	道路改良事業		10 M	部・課名 等	評価責任者·連絡先			
報	事務事業名	西明寺一之宮東條線道路改良工事	耳(繰越事業)	担当部署	建設部道路河川課	課長 松尾 卓哉 0595-22-9725			
	対 象	西明寺一之宮東條線道路							
	目的	通行がスムーズになり、地域住民の	<b>を備する</b>						
		国道25号との交差点付近には、運 多く、朝夕のラッシュ時には右折待 を図ります。							
事業概要 延長L=220m、幅員W=13.0m									
		令和2年度は、道路改良工事L=240m、舗装工事L=240m、電柱支障移転N=2本を実施し、工事を完了し							
	内 容								
事									
務									
務事業の									
の概									
要		経費	金額		摘要				
		需用費	250,280円	消耗品費					
		工事請負費	38,264,600円		□事	19,296,200円			
				舗装工事		18,968,400円			
	事業に要した	補償、補填及び賠償金	776,100円	電柱移転袖	甫償				
	主な経費								
	など								

									-
			項目		R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
全:		直	国県支出	金比	815	19,500	19,500		社会資本整備総合交付金50%
		接	地方侵	F	0	19,700	19,700		補正予算債
		事業費	その他	<u>p</u>	0	0	0		
			一般財源		964	91	91		
全体コス	事業費		合計(A	)	1,779	39,291	39,291	0	
コス			正規職員	業務量	0.50 人	0.50 人	0.71 人	人	
۲				人件費	3,898	3,906	5,546	0	
<u>+</u>	費	人	再任用職員	業務量	人	人	人	人	
千円		件	中江川県貝	人件費	0	0	0	0	
· ·		費	会計年度任	業務量	人	人	人	人	
			用職員	人件費		0	0	0	
			小計(B	)	3,898	3,906	5,546	0	
			合計(A+B)	)	5,677	43,197	44,837	0	
	市	民1人	、当たりのコス	ト(円)	62	477	496	0	

39,290,980円

	指標名	指標の説明	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	事業の進捗率	道路整備による作業進捗	04	目標			12	100
標	争未の進抄卒	(執行事業費/総事業費)	%	実績			12	100
	指標化できない成果			達成			100.0%	100.0%

<sup>方</sup> 完了 向 <u>整理番号</u> (会計)01一般会計(款)08土木費(項)02道路橋りょう費(目)04橋りょう維持費(大事業)01社会資本整備総合交付金事業

**決算書頁** 備総 281

		コード	名称		事業期間		会計-	款-項-目-大事業-中事業
基	施策	421	道路ネットワークによって移動がしやすい	Ι	16 年度~	R2 年度	0	1-08-02-04-01-02
平標	基本事業	2	<b>橋梁維持修繕事業</b>	10 V	部	・課名 等		評価責任者•連絡先
報			橋梁塗膜補修事業	担当部署	建設部道	路河川課	į	課長 松尾 卓哉 0595-22-9725

<b>中初</b> 中 木 石	间不主庆而炒于不		<b>建</b> 成即追 <b>加</b> 为71杯	0595-22-9725				
対 象	昭和41年から昭和49年に建設された市道に架かる橋梁							
目的	橋梁の塗膜に使用される低濃度ポリ塩化ビフェニル汚染物(PCB)の含有調査を行い、期限までに処分を行う							
	国からの通達により低濃度ポリ塩化ビフェニル汚染物の処 昭和49年に建設された市道に架かる橋梁が調査対象となり							
	事業概要 対象橋梁数N=118橋							
	令和2年度は、N=35橋の塗膜調査を行い、調査業務を完	了しましナ	Ξ.					

内容

事業に要した 主な経費 など

務事業の概要

経費	金額	摘要
需用費	299,893円	消耗品費
委託料	6,620,900円	橋梁塗膜調査業務委託
計	6,920,793円	

			項目		R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	金	7,515	6,000	3,310		社会資本整備総合交付金50%
		接	地方債	Ė	0	0	0		
		事	その他	p	0	0	0		
全		業費	一般財源		7,514	6,700	3,611		
全体コス	事業費	負	合計(A	)	15,029	12,700	6,921	0	
ス			正規職員	業務量	人	人	0.25 人	人	
7				人件費	0	0	1,953	0	
( <del>I</del>	賀	人	再任用職員	業務量	人	人	人	人	
(千円		件	竹江川帆貝	人件費	0	0	0	0	
)		費	会計年度任	業務量	人	人	人	人	
			用職員	人件費		0	0	0	
			小計(B	)	0	0	1,953	0	
			合計(A+B)		15,029	12,700	8,874	0	
	市	旲1人	、当たりのコス	ト(円)	164	141	98	0	

	指標名	指標の説明	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	事業の進捗率	調査橋梁数	箇所	目標			86	34
標	事業の進捗学	<b>顽宜</b> 倘采奴	回別	実績			83	35
	指標化できない成果			達成			97.0%	103.0%

方 完了 向 課題及び改善

全対象橋梁について、塗膜調査が完了しましたが、PCBの処分期限までに、国庫補助事業により処理を行う計画を策定し、処分を行う必要があります。該当橋梁の修繕計画に合わせて処分を行うよう計画します。

<u>整理番号</u> (会計)01一般会計(款)08土木費(項)02道路橋りょう費(目)04橋りょう維持費(大事業)04道路メンテナンス 東業

		- F						
	/	コード	名称		事業期間		会計一	款-項-目-大事業-中事
基	施策	421	道路ネットワークによって移動がしやすい	H16	年度~	R2 年度	0	1-08-02-04-04-01
个情	基本事業	2	橋梁維持修繕事業	10 V	部	・課名 等		評価責任者·連絡先
報	事務事	サク	橋梁長寿命化修繕事業	担当 部署	建設部道	吸流山锤	ı	課長 松尾 卓哉
	争伤争	未有	<b>信采文券叩礼修禮争未</b>	HP 78	建設即進	岭州川林	:	0595-22-9725

決算書頁

283

報	事務事業名	橋梁長寿命化修繕事業		部署	建設部道路河川課	課長 松尾 早成 0595-22-9725			
	対 象	市道に架かる全橋梁							
	目的	今後老朽化する道路橋の急速な増大に対	対応するため、橋梁長寿命	化修繕計画	に基づき、道路ネットワークの安全	全性・信頼性の確保に努める			
事務事業の概要	内 容	び安全・安心な道路空間の整備を図	8繕が必要な橋梁につし 図ります。 80橋、橋梁補修詳細設	が必要な橋梁について、損傷、劣化等が見受けられる箇所を修繕し、コスト縮源					
要			金額		摘要				
		需用費			、燃料費、修繕料	_			
		委託料			设計業務委託4件	26,518,800円			
	事業に要した 主な経費 など	工事請負費	왕 91,643,120円 급 구 구	レステム係 市道蓮池比 市道余野様 市道印代 その他橋	診断業務委託4件 R守業務委託 自岐下川原線ーノ井橋橋梁修繕 境地野線河原谷橋橋梁修繕: 土橋線土橋橋橋梁修繕エ 梁修繕工事22件	工事 9,498,500円			
		原材料費	125,400円 🖠	資材費					
		計	168,155,363円						

			項目		R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	金出	62,199	97,491	92,042	94,233	道路メンテナンス事業補助金55%
		接	地方債	Ę	33,800	58,322	51,700	48,300	合併特例債、補正予算債
	事業費	事	その他	<u>þ</u>	7,265	18,900	0	26,100	
全体		業費	一般財	源	14,982	3,762	24,413	2,057	
体コ		貝	合計(A	)	118,246	178,475	168,155	170,690	
コス			正規職員	業務量	0.77 人	0.77 人	1.09 人	1.02 人	
7		人	止炕帜只	人件費	6,003	6,015	8,514	7,920	
( F			再任用職員	業務量	人	人	人	人	
H		件	中口用喊貝	人件費	0	0	0	0	
)		費	会計年度任	業務量	人	人	人	人	
			用職員	人件費		0	0	0	
			小計(B	)	6,003	6,015	8,514	7,920	
			合計(A+B)	)	124,249	184,490	176,669	178,610	
	市民1人当たりのコスト(円)				1,356	2,037	1,951	2,001	

	指標名	指標の説明	単位	平成29年原		平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	事業の進捗率	橋梁修繕による作業進捗(執	%	目標			59	64
標	争来の進抄卒	行事業費/総事業費)	90	実績			59	64
	指標化できない成果			達成		102.1%	100.0%	100.0%

継続向

課題及び改善

今後、老朽化する橋梁が急速に増加するため、安全・安心な道路空間を確保するため橋梁長寿命化修繕計画に基づ き、橋梁点検及び修繕工事を計画的に実施する必要があります。 <u>整理番号</u> 358 - (会計)01一般会計(款)08土木費(項)02道路橋りょう費(目)04橋りょう維持費(大事業)04道路メンテナンス 事業

決算書頁 シス 283

		コード	名称		事業期間		会計一	款-項-目-大事業-中事業
基	施策	421	道路ネットワークによって移動がしやすい	H16	年度~	R2 年度	0	1-08-02-04-04-02
平	基本事業	2	橋梁維持修繕事業	担当	部	・課名 等		評価責任者·連絡先
報			印代山神線(山神橋)橋梁架替事業		建設部道路河川課			課長 松尾 卓哉 0595-22-9725

						0595-22-9725					
	対	象	市道印代山神線(山神橋)								
	目	的	山神橋の橋脚基礎部が洗堀により	沈下し通行止めとなっ	ており、修繕は不可能なため、架け替え	を行う					
					喬後60年以上が経過し、橋脚の基礎部か と朽橋であり、修繕による機能回復は困						
			事業概要 延長L=157m、新橋幅員W=10.5m								
	内	容	令和2年度は、橋梁撤去設計業務 1式を実施しました。	美務N=1橋、橋梁予備設計業務N=1橋、橋梁撤去工事(2径間)L=24m、地質							
事											
務事											
務事業の概											
概要			経費	金額	摘要						
			需用費	185,415円	消耗品費						
			<b></b>	· ·	通信運搬費						
			<b>大大大学</b> 委託料		設計業務委託2件	17,037,900円					
	車業に	要した			橋梁撤去工事設計業務委託2件	10,539,100円					
		·安した 経費			地質調査業務委託	3,263,700円					
	エな		工事請負費		山神橋橋梁撤去工事						
			資材費	418,000円							
			補償、補填及び賠償金		物件移転補償	7,910,112円					
					電柱移転補償	2,328,300円					
			計	53,715,375円							

			項目		R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算		
		直	国県支出	出金		27,500	18,044	49,372	道路メンテナンス事業補助金55%
		接	地方債	Ę		22,100	16,700	35,700	公共事業等債
	事業費	事	その化	F		30,000	0	0	
全		業費	一般財源			1,203	18,971	11,043	
全体コス		貝	合計(A)		0	80,803	53,715	96,115	
ス			正規職員	業務量	人	人	0.44 人	0.54 人	
7				人件費	0	0	3,437	4,193	
( <del>I</del>		人	再任用職員	業務量	人	人	人	人	
千円		件	竹口川柳貝	人件費	0	0	0	0	
<b>)</b>		費	会計年度任	業務量	人	人	人	人	
			用職員	人件費		0	0	0	
			小計(B	)	0	0	3,437	4,193	
			合計(A+B	)	0	80,803	57,152	100,308	
	市	旲1人	、当たりのコス	ト(円)	0	893	632	1,124	

	指標名	指標の説明	単位	/	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	事業の進捗率	橋梁架け替えによる事業進 捗率	%	目標				6
標	争未の進抄卒	(執行事業費/総事業費)	70	実績				6
	指標化できない成果			達成				100.0%

方 終続 向 課題及び改善

橋梁の架け替えには、膨大な時間と費用を必要とするため、関係機関等と綿密な調整の上、国庫補助金等を活用し、計 画的に事業を推進する必要があります。

整理番号 (会計)01一般会計(款)08土木費(項)02道路橋りょう費(目)05交通安全施設整備事業費(大事業)01交通 359 安全施設維持修繕経費

決算書頁 283

		コード	名称		事業期間		会計一	款-項-目-大事業-中事業
基	施策	421	道路ネットワークによって移動がしやすい	H16	年度~	R2 年度	0	1-08-02-05-01-01
平信	基本事業 ③ 道路維持修繕事業 事務事業名 交通安全施設維持修繕経費		道路維持修繕事業	担当	部・課名 等			評価責任者·連絡先
報					建設部道路河川課			課長 松尾 卓哉 0595-22-9725

			——————————————————————————————————————		
事務事業名	交通安全施設維持修繕経費		担当部署	建設部道路河川課	課長 松尾 卓哉 0595-22-9725
対 象	交通安全施設				
目的	市民を交通事故から守り、また、安全	全かつ円滑な交通の確	保に資する	ことを目的とした各種交通安全	全施設の維持管理を行う
	カーブミラー及びガードレール、区區	国線等の交通安全施設	の新設及で	び修繕を行います。	
	令和2年度は、交通安全施設(カー	-ブミラー・ガードレール	•区画線等	)の設置工事及び修繕工事を	84件実施しました。
内 容					
	経費	金額			
	<u>                                    </u>	並領 10,479,040円:	当		90.540
				ī護柵8件、道路反射鏡19d	89,540円 件、 10,389,500円
				3件、区画線等38件)	10,000,000
事業に要した	工事請負費			井、道路反射鏡5件、	
サ木に女した			区画線等9	9件	

31,900円 資材費

						•	•		
			項目		R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	出金	0	0	0	0	
		接	地方侵	責	0	0	0	0	
		事	その他	<u> </u>	0	0	0	0	
全 体		業費	一般財	源	14,878	14,785	14,784	14,046	
体コ		貝	合計(A	)	14,878	14,785	14,784	14,046	
コス	事業費		正規職員	業務量	1.16 人	1.16 人	1.11 人	0.90 人	
7		人	止况戦只	人件費	9,044	9,061	8,671	6,988	
<b>1 1</b>			再任用職員	業務量	人	人	人	人	
一円		件	中江川嶼貝	人件費	0	0	0	0	
· ·		費	会計年度任	業務量	人	人	人	人	
			用職員	人件費		0	0	0	
			小計(B	)	9,044	9,061	8,671	6,988	
			合計(A+B	)	23,922	23,846	23,455	21,034	
	市民1人当たりのコスト(円				261	264	259	236	

14,784,220円

	指標名	指標の説明	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	予算に対する執行率	最終予算に対する執行率	%	100		100	100	100
標	ア昇に刈りの執行卒	取於「存に対する執行」年	70	実績	83.9	100	100	100
	指標化できない成果			達成		100.0%	100.0%	100.0%

方 継続 向

主な経費

など

原材料費

計

交通安全と道路利用者の多様なニーズに対応するため、公安委員会等に助言と指導を仰ぎ、道路事故の抑止を図る必 課題及び改善 要があります。今後の交通安全施設修繕については、緊急度や優先順位の判断のもと効率的な整備を図る必要があります。

		_									
整	理番号	<b>/ ∧ =</b> 1	<b>)。4、4、4、4、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1</b>	. <i>/-/</i> TIII **	<del>.</del>	1761674155	- <del>-</del>	- 曲 /.	┸╪╨	+\ o.4	決算書頁
36	0 –	(会計 理経費	)01一般会計(款)08土木費(項)03河川費(目)02直轄 費	官埋》	미기	改修对策	争弟	(資(	<b>大</b> 事兼	E)01事務官	285
		コード	名称			事業期間			会計-	款-項-目-大事	業-中事業
基	施策	211	災害などの危機に強くなる	F	116	年度~	R2	年度	0	1-08-03-02-	01-01
本	<b>其</b> 太 車 業	<u>(5)</u>	河川維持,改修事業			並 7	・ 理る	z 笙		証価害 任ま	*** 油级牛

	// NE/K		スロらこの心臓に強いるの			十尺 1亿 1次	
本 樗	基本事業	5	河川維持·改修事業		10 M	部・課名 等	評価責任者•連絡先
本情報	古沙古	坐力	<b>声效体评权</b> 弗		担当部署	<b>建筑如人面色田</b> 钿	課長 福田 康彦
TIA	事務事	耒名	事務管理経費		即有	建設部企画管理課	0595-22-9722
		_			•		
	対	象 ——	内水による浸水被害箇所				
	目	的	内水が起因する浸水被害の軽減				
			内水による浸水被害を軽減するため	かに排水機や樋門、また	こ、排水ポ	ンプや排水ポンプ車を操作、	点検します。
			。 令和2年度は、大戸川小田排水機 ・	外5件点検操作業務委託	託(点検:名	ら施設月1回、台風に伴う操作	作:各施設1回)、排水ポン
			プ車操作及び点検業務(豪雨・台風				
			電気工作物保守点検業務を行いま	した。大戸川小田排水	機場亚ひに	こ、排水ホンフ車の機械設備	iの修繕を実施しました。
	内	容					
	rs	ъ.					
車							
務							
事							
事務事業の概要							
の無							
<b>似</b> 要			経費	金額		摘要	
			需用費	2,390,842円 洋	<b>其耗品費、</b>	、燃料費、光熱水費、修繕	料
			委託料	1,978,020円 排	ᆙ水機∙樋	<b>們等点検操作委託料</b>	1,204,500円
				扫	非水ポンフ	プ車操作・点検業務委託料	
	事業に	<b>亜</b> Ι +-		É	国家用電気	瓦工作物保守点検業務委詞	<b>託料</b> 485,760円
	主な組織						
	エなん						
		_					
			計	4,368,862円			
			āl	4,300,002円			

			項目		R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等				
		直	国県支出	出金	0	0							
		接	地方債	責	0	0							
		接事	その化	<u> </u>	0	0							
全体コス		業典	一般財	源	8,825	6,447	4,369	5,621					
		費	合計(A	)	8,825	6,447	4,369	5,621					
	事		正規職員	業務量	1.17 人	1.04 人	1.04 人	1.04 人					
۲	事業費		正况聊貝	人件費	9,122	8,124	8,124	8,075					
Ŧ	費	人	再任用職員	業務量	人	0.10 人	0.10 人	0.10 人					
H		件		人件費	0	385	385	354					
)		費	会計年度任	業務量	人	人	人	人					
			用職員	人件費		0	0	0					
			小計(B	)	9,122	8,509	8,509	8,429					
			合計(A+B)		17,947	14,956	12,878	14,050					
	市民1人当たりのコスト(円)				196	166	143	158					

	指標名	指標の説明	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指				目標				
標				実績				
		水被害対策のための施設の運転及維持管理経費のため	ひ日常	達成				

継続

今後、各施設において、経年劣化等によりポンプ施設の大規模な更新作業が発生してくることが考えられるが、適切な 点検や修繕を行い、施設の長寿命化を図っていく。

整理番号 (会計)01一般会計(款)08土木費(項)03河川費(目)02直轄管理河川改修対策事業費(大事業)03直轄管理河川改修事業 361

決算書頁 285

		コード	名称		事業期間		会計一	会計-款-項-目-大事業-中事業		
基	施策	211	災害などの危機に強くなる	H16	年度~	R2 年度	0	1-08-03-02-03-01		
平槽	基本事業	5	河川維持·改修事業	TD 717	部・課名 等			評価責任者•連絡先		
報	事務事	業名	直轄管理河川改修事業	担当部署	建設部企	画管理課	ļ.	課長 福田 康彦 0595-22-9722		

情	<b>基</b> 本事果	(5)	河川維持· <b>以</b> 修争耒		+0.1/	部・誄名 寺	評価頁任有"連給先					
報	事務事	業名	直轄管理河川改修事業		担当部署	建設部企画管理課	課長 福田 康彦 0595-22-9722					
	対:	象	大戸川小田排水機場									
	目:	的	内水排水対策施設である大戸川小	田排水機場の改修								
事務事業の概要	内:	- 容	マア 川小田排水機場の改修事業に伴う基本構想策定業務並びに、内水排水ポンプ場周辺の河床掘削(堆積土除去)工事 で実施。 マア 川小田排水機場基本構想検討業務委託=1式 マスト はままま では できまる できまる できまる できまる できまる できまる できまる できまる									
概要			経費	金額		摘要						
			委託料	8,239,000円	大戸川小田	排水機場基本構想検討業務	委託					
			工事請負費	2,157,100円	野間川排え	水機場周辺改修工事	1,563,100円					
				<u> </u>	朝屋排水7	ポンプ土砂浚渫工事	297,000円					
	事業に 主な なと	¥費			岩倉排水フ	ポンプ土砂浚渫工事	297,000円					

			項目		R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算					
		直	国県支出	出金					【特定財源】 80名点然災害吐止社签惠業/集				
		接	地方信	ŧ				59,800	緊急自然災害防止対策事業債 				
		接事	その化	<del>p</del>									
全体		業費	一般財	源		13,747	10,396	86					
体コスト		貝	合計(A	)	0	13,747	10,396	59,886					
	事		正規職員	業務量	人	0.64 人	0.64 人	0.64 人					
	事業費	人	正况啾貝	人件費	0	5,000	5,000	4,969					
Ŧ	費		再任用職員	業務量	人	人	人	人					
円		件		人件費	0	0	0	0					
)		費	会計年度任	業務量	人	人	人	人					
			用職員	人件費		0	0	0					
			小計(B	)	0	5,000	5,000	4,969					
			合計(A+B)		0	18,747	15,396	64,855					
	市民1人当たりのコスト(円)				0	207	170	727					

10,396,100円

計

	指標名	指標の説明	単位	/	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	車業保証率	大戸川小田排水機場改修事	04	目標				2
標	事業進捗率	業に係る進捗率	%	実績				1.9
	指標化できない成果			達成				100.0%

継続 向

当該施設改修事業費は高額となるため、令和2年度の基本構想検討業務で得た安価な改修手法を参考に、令和3年度で実施予定の改修工事実施設計業務において、詳細事項まで精査を行う必要がある。 課題及び改善

	理番号 2 -	(会計 費	01一般会計(款)08土木費(項)	03河川費(目)03準	用河川改修	多対策費(	大事業)0	1準用決	可川管理経	決算書 285		
		コード	名称			事業期間		会計一	会計-款-項-目-大事業-中			
基	施策	211	災害などの危機に強くなる		H16	年度~	R2 年度	0	1-08-03-03-	-01-02		
一作	基本事業	5	河川維持·改修事業		+0.714	部	・課名 等		評価責任者	∮•連絡先		
報	事務事	業名	矢田川分流堰操作業務経費		担当部署	建設部企	设部企画管理課		課長 福I 0595-22			
	対	象	矢田川分流堰									
	目	的	河川氾濫による浸水被害の軽減									
			一級河川矢田川の河川氾濫による	浸水被害を軽減を行	うべく、矢田	川分流堰の	)操作並び	に点検	を行う。			
			一級河川矢田川分流堰の操作・点	検業務(豪雨・台風に	よる操作8回	回、各月1回	1)を行った	0				
	内	容										
-												
争終												
事												
事務事業の概要												
概要			経費	金額			摘要	更				
X			需用費	157,000円	消耗品費、	光熱水費						
			委託料	179,000円	矢田川分:	<b>流堰維持</b> 管	<b>管理業務</b>	委託料				

<b>t</b>	<b>経費</b>	金額	摘要
	需用費		消耗品費、光熱水費
	委託料	179,000円	矢田川分流堰維持管理業務委託料
事業に要した 主な経費 など			
	<del>ā†</del>	336,000円	

			項目		R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	金	331	321	336	336	【特定財源(県支出金)】
		接	地方債	Ē					矢田川分流堰維持管理及び操作業務委託金
		事	その他	p D					
全		業費	一般財源						
体		貧	合計(A	)	331	321	336	336	
全体コス	事		正規職員	業務量	0.18 人	0.18 人	0.18 人	0.18 人	
7	· 業 費		正况职員	人件費	1,404	1,406	1,406	1,398	
( <del>+</del>	費	人	再任用職員	業務量	人	人	人	人	
千円		件	竹江川帆貝	人件費	0	0	0	0	
)		費	会計年度任	業務量	人	人	人	人	
			用職員	人件費		0	0	0	
			小計(B	)	1,404	1,406	1,406	1,398	
			合計(A+B)		1,735	1,727	1,742	1,734	
	市民1人当たりのコスト(円)				19	20	20	20	

	指標名	指標の説明	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指				目標				
標				実績				
		水被害対策のための施設の運転及 維持管理経費のため。	及び日常	達成				

方 継続 <sup>向</sup> 施設は県の施設であるため、県が直接、当該維持管理業務を行うことの検討や協議が今後必要となる。

<u>整理番号</u> (会計)01一般会計(款)08土木費(項)03河川費(目)03準用河川改修対策費(大事業)01準用河川管理経 <sub>要</sub>

<u>決算書頁</u> 285

		コード	名称	事			会計一	款-項-目-大事業-中事業	
基	施策 211 災害		災害などの危機に強くなる		年度~	R2 年度	0	1-08-03-03-01-03	
个信	基本事業 ⑤		河川維持·改修事業	10 V/	部	・課名 等		評価責任者•連絡先	
報	事務事業名		青山工業団地調整池管理業務経費	担当部署	青山支所	振興課		課長 稲森 真一 0595-52-1112	

育報	事務事業名	青山工業団地調整池管理業務経費	Ş	担当部署	青山支所振興課	課長 稲森 真一 0595-52-1112
	対 象	青山工業団地調整池				
	目的	調整池を保全し、機能を十分に発揮	<b>重させる</b>			
		青山工業団地調整池の周囲に設置	置してあるフェンスが倒れ	により破る	損していたため修繕しました。	>
	内 容					
事務						
事						
事務事業の概要						
概要		経費	金額		摘要	
		需用費(修繕費)			団地調整池フェンス修繕	L A
		積立金	46,583円 1	可出工業的	団地調整池等管理基金積፯	<b>五金</b>
	=*:-=: L					
	事業に要した 主な経費					
	など					

			項目		R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			国県支出	H. <del>c.</del>	100 112009	NE   (X = 10) }	NE TXXX		青山工業団地調整池管理基金
		直按	地方債						
		接事業	その化		77	113	146	113	
全			一般財源						
全体。		費	合計(A)		77	113	146	113	
コス	事業費	人	正規職員	業務量	0.02 人	0.02 人	0.02 人	0.02 人	
7				人件費	156	157	157	156	
<b>1</b>			再任用職員	業務量	人	人	人	人	
H		件		人件費	0	0	0	0	
. )		費	会計年度任	業務量	人	人	人	人	
			用職員	人件費		0	0	0	
	-		小計(B	)	156	157	157	156	
			合計(A+B	)	233	270	303	269	
	市民1人当たりのコスト(円)				3	3	4	4	

145,583円

	指標名	指標の説明	単位	/	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	苦情件数	調整池の雑草に関する苦情	件	目標		0	0	0
標	古侗什奴	件数	IT	実績	0	0	0	1
	指標化できない成果			達成		100.0%	100.0%	0.0%

縮小

施設設置から、30年以上の期間が経過していることから、老朽化による多額の修繕費等が必要となる。調整池の機能維 持が保たれるよう、周辺の草刈りを実施していく。 整理番号 (会計)01一般会計(款)08土木費(項)03河川費(目)03準用河川改修対策費(大事業)01準用河川管理経費

名称 事業期間 会計-款-項-目-大事業-中事業 ٦-施策 211 災害などの危機に強くなる H16 年度~ R2 年度 01-08-03-03-01-04 基本事業 (5) 河川維持·改修事業 部・課名 等 評価責任者•連絡先 担当 課長 前川 一幸 部署 事務事業名 河川維持経費 伊賀支所振興課

決算書頁

285

0595-45-9111 対 象 伊賀支所管内の準用河川 目 的 準用河川を維持管理し、環境を保全する 伊賀支所管内の準用河川において、河川環境を守り、自然災害や万が一の事故に備えるため、河川周辺の草刈りを地域 集落へ委託しました。また、草刈りの燃料を支給しました。 内容 経費 金額 摘要 燃料費 15,291円 準用河川谷田川草刈燃料費支給(支給先:山出区) 他 委託料 82.200円 準用河川井戸川草刈業務委託(委託先:川東区) 2,000㎡ 事業に要した 主な経費 など

			項目		R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	出金					
		接	地方債	責					
		接事業費	その化	पि					
全体			一般財源		700	101	97	101	
	事業費		合計(A	)	700	101	97	101	
コス		人	正規職員	業務量	0.10 人	0.10 人	0.02 人	0.02 人	
7				人件費	780	782	157	156	
<b>+</b>			五仟田職員	業務量	人	人	人	人	
占		件	再任用職員	人件費	0	0	0	0	
)		費	会計年度任	業務量	人	人	人	人	
			用職員	人件費		0	0	0	
	-		小計(B	)	780	782	157	156	
			合計(A+B	)	1,480	883	254	257	
	市民1人当たりのコスト(円)				17	10	3	3	

97,491円

計

	指標名	指標の説明	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	実施率	実施面積/必要面積	%	目標	$\setminus$	100	100	100
標	<b>天</b> 他平	夫 <b>旭</b> 国	%0	実績	100	100	100	100
	指標化できない成果			達成		100.0%	100.0%	100.0%

方 継続 向

及び

定期的な草刈りを実施することが河川の環境を守るためには不可欠であり、今後も地域集落で草刈りを継続いただける かが課題です。 整理番号 365 - (会計)01一般会計(款)08土木費(項)03河川費(目)03準用河川改修対策費(大事業)02準用河川改修事

**決算書頁** 285

		コード	名称		事業期間		会計一	款-項-目-大事業-中事業	
基	施策	211	災害などの危機に強くなる	H26	年度~	R2 年度	0	1-08-03-03-02-01	
	基本事業	5	河川維持·改修事業	担当	部	・課名 等		評価責任者·連絡先	
報	事務事	業名			建設部道路河川課		;	課長 松尾 卓哉 0595-22-9725	

対 象	本市が所管する河川
目的	降雨時における浸水被害を解消する
	洪水による氾濫防止や河川環境の保全を図ります。

令和2年度は、河川改修工事1件と河川浚渫工事5件を実施しました。

内容

w 要

> 事業に要した 主な経費 など

経費	金額	摘要	
需用費	151,075円	燃料費 15地区	
委託料	202,400円	高砂川樹木伐採業務委託	
工事請負費	25,104,200円	河内谷川浚渫工事	7,319,400円
		古野川浚渫工事	8,703,200円
		大谷川浚渫工事	3,669,600円
		八升田川浚渫工事	294,800円
		白土川浚渫工事	792,000円
		長谷川河川改修工事	4,325,200円
補償、補填及び賠償金	902,986円	電柱移転補償2件	
計	26,360,661円		

			項目		R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			-		八九千尺八开	八乙午及三切了弃	172千及从并		合併特例債、緊急浚渫推進事業債等
		直	国県支出		0	0	0	0	口价付例俱、系心及保证进争未俱守
		接	地方債	責	0	3,400	23,000	43,000	
		接事	その他	<del>p</del>	0	1,000	1,000	0	
全体		業費	一般財源		7,124	9,961	2,361	68	
体コ			合計(A	)	7,124	14,361	26,361	43,068	
コス	事		正規職員	業務量	0.62 人	0.62 人	0.72 人	1.17 人	
7	業費		正观视员	人件費	4,834	4,843	5,624	9,084	
Ŧ	費	人	再任用職員	業務量	人	人	人	人	
H		件		人件費	0	0	0	0	
: )		費	会計年度任	業務量	人	人	人	人	
			用職員	人件費		0	0	0	
			小計(B	)	4,834	4,843	5,624	9,084	
			合計(A+B)	)	11,958	19,204	31,985	52,152	
	市民1人当たりのコスト(円) 131					213	354	585	

	指標名	指標の説明	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	<b>子等に対する</b> 執行変	最終予算に対する執行率	箇所	目標		100	100	100
標	予算に対する執行率	取於了昇(->) 9 0 判1] 华	固別	実績	5	96.8	92.2	100
	指標化できない成果			達成		96.8%	92.2%	100.0%

方 継続 向 課 準用河川や普通河川は、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下(流下断面が阻害)されている 題 河川が増加しているため、今後は国の起債事業などを活用し、早期の流下能力(断面)確保に努めるとともに、定期的な 及 維持管理を行う必要があります。 び 改善

(会計)01一般会計(款)08土木費(項)03河川費(目)04ダム関連整備費(大事業)02ダム周辺整備事業

決算書頁 287

649,000円

会計-款-項-目-大事業-中事業 コード 名称 事業期間 施策 森林や里山を大切にし、林業を元気にする 年度~ 322 H22 R2 年度 01-08-03-04-02-01 基本事業 (1) 間伐等の森林施業の促進 部・課名 等 評価責任者•連絡先 扣业

· 事	事務事業名	生産管理用道路整備事業		担当 部署	産業振興部農村整備課	課長 岩野 庄司 0595-22-9718							
	対 象	川上ダム湖面周辺の残地森林の所	 f有者		_	_							
	目的	ずム水没地周辺の山林管理用道路を開設する											
	内 容	当道路は、川上ダムの周辺整備事 おり事業を推進するため測量設計 生産管理用道路 全長L=3,063r ・計画変更概略設計業務委託 L ・R1(繰) 線形修正に伴う測量、 ・立木伐採業務を実施。 ・生産管理用道路開設工事(ឃ期 ・生産管理用道路附帯工事 L=3 ・立竹木補償 3件を実施。	業務委託、開設工事、3 n W=4.0m =1.47kmを実施。 詳細設計、用地測量、 l) L=241.4mを実施「	立竹木補償 地質調査、 中。	愛を行いました。 立木調査を実施。	-なる山間部に開設して							
			金額		摘要								
		委託料											
	生產管理用道路測量設計業務委託料 3,054												
		宫理用道路測量業務委託料 業務委託網											
事	業に要した	  工事請負費	業務委託料 用道路整備工事費	845,900円 21,889,000円									
3	主な経費	一	21,000,000[]		而但时至哺工事員 里用道路開設工事(哑期)	21,240,000円							
	など			<u></u> /	-/1/~-PH  //1HA ( 1-/V) /	, ,							

生産管理用道路附帯工事

360,921円 生産管理用道路開設工事に伴う立竹木補償 3件

4,211,030円 川上ダム周辺整備事業基金積立金

	/		項目		R元年度決算	R2年度当初予算	R2年度決算	R3年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	出金	0	0	0	0	川上ダム周辺整備事業基金繰入金
		接	地方債	責	0	0	0	0	川上ダム周辺整備事業基金運用収入 川上ダム周辺整備事業基金利子
		接事業	その化	<u> </u>	66,648	79,720	38,323		
全 体			一般財	源	0	0	0	0	
体コ		費	合計(A	)	66,648	79,720	38,323	52,500	
コス	事業費	人	正規職員	業務量	0.35 人	0.35 人	0.35 人	0.35 人	
7			止炕啾貝	人件費	2,729	2,734	2,734	2,718	
<b>1 1</b>			再任用職員	業務量	人	人	人	人	
H		件	<b>节</b> 11710000000000000000000000000000000000	人件費	0	0	0	0	
)		費	会計年度任	業務量	人	人	人	人	
			用職員	人件費		0	0	0	
			小計(B	)	2,729	2,734	2,734	2,718	
			合計(A+B	)	69,377	82,454	41,057	55,218	
	市	民1人	、当たりのコス	ト(円)	757	911	454	619	

38,322,581円

	指標名	指標の説明	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指	整備進捗率	供用開始する林道の延長	%	目標	$\setminus$	53	51	52
標	<b>登</b> 佣進抄 <del>举</del>	供用開始する林垣の延安	70	実績	49	51	52	52
	指標化できない成果			達成		96.0%	102.0%	100.0%

方 継続 向

など

補償、補填及び賠償金

計

積立金

ダム本体着工が行われ、当該林道の整備、進捗を図る必要があるが、現地の地形や地質状況、用地交渉といった懸案 事項があること。又基金の限られた予算となっていることから、計画のとおりの進捗が図れない事が懸念され計画路線 超及び改 の検討が必要となる。